

# 教育委員会の点検・評価に関する報告書

(対象年度：平成27年度)

平成 28 年 11 月  
藤井寺市教育委員会

# 目 次

はじめに .....	ページ 2
1. 点検・評価の方法 .....	3 ~ 5
(1) 対象施策の考え方	
(2) 平成 27 年度施策一覧	
(3) 実施方法	
(4) 学識経験者の知見の活用	
2. 教育委員会の活動状況 .....	6 ~ 8
(1) 教育委員名簿	
(2) 教育委員会会議等の開催状況	
3. 平成 27 年度施策の点検・評価 .....	9 ~ 84
(1) より安全な学校園づくり(点検・評価シート)	
(2) 豊かな心と「確かな学力」の育成(点検・評価シート)	
(3) 行政活動への市民参加の拡大(点検・評価シート)	
(4) スポーツを通じたコミュニティの活性化(点検・評価シート)	
(5) 生活課題に対応した生涯学習環境の充実(点検・評価シート)	
(6) 青少年の健全育成(点検・評価シート)	
(7) 歴史が感じられるまちづくり(点検・評価シート)	
4. 学識経験者の総括意見 .....	85

## 《はじめに》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理・執行状況についての点検・評価を行い、その結果に関する報告書をまとめ、議会に提出するとともに公表することが定められました。

藤井寺市教育委員会ではこのような法の趣旨に則り、効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすために、平成27年度における教育委員会事務局所管の施策について報告書を取りまとめ、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 1. 点検・評価の方法

## (1) 対象施策の考え方

平成 27 年度に教育委員会において執行された事務事業を施策ごとに集約し、各施策についての点検・評価を行った。

施策については、第四次藤井寺市総合計画における節、主要施策を基に分類し、36 施策とした。

## (2) 平成 27 年度施策一覧表

第四次藤井寺市総合計画		施策名	所管課
節名称	主要施策		
(1) より安全な 学校園づくり	1) 耐震性の強化	1 耐震化事業の推進	教育総務課
	2) 施設の充実	2 学校施設・設備の整備	教育総務課
	3) 学校・通学路等における子ども の安全確保	3 児童の安全見守り活動の推進	学校教育課・ 生涯学習課
(2) 豊かな心と 「確かな学力」の 育成	1) 学力向上に向けた取組みの推 進	4 食育教育の充実	学校教育課
		5 学びの機会の充実	学校教育課
		6 確かな学力の育成	学校教育課
		7 心の教育の充実	学校教育課
		8 幼児教育の充実	学校教育課
	2) 不登校児童・生徒への対応	9 不登校児童・生徒の支援	学校教育課
	3) 情報教育の充実	10 教育の情報化	学校教育課
	4) 国際理解教育の充実	11 国際化への対応	学校教育課
	5) 「藤井寺」を誇りに思う教育 の推進	12 世界遺産学習の推進	学校教育課・ 文化財保護課
(3) 行政活動への 市民参加の拡大	1) 市民活動への支援の充実	13 成人教育団体の育成	生涯学習課
		14 図書館ボランティアの育成	市立図書館
		15 地域青少年教育の推進	生涯学習課
	2) 市民主体による行政活動の仕 組みの整備	16 地域教育推進連絡会の活動	学校教育課

(4) スポーツを通じたコミュニティの活性化	1) 時代ニーズに対応したスポーツ施設の整備	17 施設の適切な維持補修	スポーツ振興課	
	2) 総合型地域スポーツクラブの育成	18 スポーツ推進委員会との協働	スポーツ振興課	
		19 小・中学校体育施設の開放	スポーツ振興課	
		20 各種スポーツ事業の展開	スポーツ振興課	
		21 スポーツを通じた交流事業	スポーツ振興課	
3) ニュースポーツの普及	22 ニュースポーツの普及・振興	スポーツ振興課		
(5) 生活課題に対応した生涯学習環境の充実	1) 社会教育関係団体の指導・育成	23 青少年指導委員会の活性化	生涯学習課	
	2) 自主学習グループへの支援	24 生涯学習センター機能の充実	生涯学習課	
	3) ライフステージに対応した生涯学習事業の充実	25 地域における成人教育の充実	生涯学習課	
		26 公民館事業の活性化	生涯学習課	
	4) 市立図書館を中心とした読書環境の整備・充実	27 大阪女子短期大学との連携強化	学校教育課・文化財保護課・生涯学習課・スポーツ振興課・市立図書館	
		28 図書館資料の整備充実	市立図書館	
		29 利用者サービスの向上	市立図書館	
		30 サービス網の強化	市立図書館	
			31 読書推進事業の展開	市立図書館
	(6) 青少年の健全育成	1) 指導体制の充実とネットワークの構築	32 青少年健全育成環境の整備	生涯学習課
2) 放課後児童の健全育成		33 放課後児童対策の充実	生涯学習課	
(7) 歴史が感じられるまちづくり	1) 文化財情報の整備と発信	34 文化財の普及啓発	文化財保護課	
	2) 文化財保護の充実	35 埋蔵文化財の調査・保全の推進	文化財保護課	
	3) 史跡等の環境整備	36 文化財用地・施設の適正管理	文化財保護課	

### (3) 実施方法

点検・評価の実施にあたっては、施策ごとの点検・評価シートにより平成27年度実績を記載し、その実績に対する自己点検・自己評価を行った。

施策の達成状況を把握する目的で、施策ごとに成果指標を設け、目標値を定めることにより目指すべき成果を明確にしている。目標年度としては第四次藤井寺市総合計画の最終年度にあたる平成27年度に設定している。

### (4) 学識経験者の知見の活用

施策ごとの自己点検・評価に加え、評価の客観性を確保する観点から、第四次藤井寺市総合計画の各節、および総括で教育に関し学識経験を有する方のご意見をいただいた。

(学識経験者)

役 職 名	氏 名
関西外国語大学教授	岡澤 潤次

## 2. 教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	藤 本 英 生
委員長職務代理者	杉 本 優 子
委 員	糸 野 聡 史
委 員	福 村 尚 子
教 育 長	多 田 実

### (2) 教育委員会会議の開催状況

区 分	日 時	付 議 案 件
4月定例会	4月22日	平成28年度使用教科書採択事務について、(報告) 5件
5月定例会	5月27日	藤井寺市柏原市学校給食組合規約の一部変更について(報告) 他3件
5月臨時会	5月27日	藤井寺市教育委員会委員長の選任について
6月定例会	6月17日	平成27年度藤井寺市教育フォーラムの開催について(報告) 他1件
7月臨時会	7月29日	教科用図書採択について
7月定例会	7月31日	教育委員会の後援右等使用について(報告) 他5件
9月定例会	9月30日	平成27年度全国学力・学習状況調査の概要について他2件、(報告) 8件
10月定例会	10月15日	史跡古市古墳群城山古墳整備工事進捗状況について(報告) 他4件
11月定例会	11月25日	藤井寺市教育委員会の点検・評価に関する報告書の承認について、(報告) 5件
12月定例会	12月16日	平成28年度全国学力・学習状況調査への参加について、(報告) 7件、
12月臨時会	12月24日	藤井寺市立中学校で生じた事案について
12月臨時会	12月25日	藤井寺市立中学校で生じた事案について(継続)
1月定例会	1月22日	藤井寺市立幼稚園条例の一部を改正する条例について他3件、(報告) 4件
2月定例会	2月17日	藤井寺市教育振興基本計画(素案)の策定について(報告) 他6件
2月臨時会	2月17日	管理職人事について(協議)
3月定例会	3月23日	藤井寺市奨学基金運用規則の一部改正について他6件、(報告) 6件
3月臨時会	3月23日	藤井寺市教育委員会委員長職務代理者の選任について、(報告) 1件

## (教育委員会会議以外での活動状況)

日 時	内 容	場 所
4月3日	大阪府市町村教育委員会委員長・教育長会議	ホテルアウィーナ大阪
4月6日	市立小・中学校入学式	市立各小中学校
4月7日	市立幼稚園入園式	市立各幼稚園
4月16日	大阪府都市教育長協議会総会・定例会	ホテルアウィーナ大阪
4月20日	第1回南河内地区市町村教育長連絡協議会	南河内府民センター
4月23・24日	近畿都市教育長協議会定期総会	京都府京都市・城陽市
5月10日	F u j i りんびっく2015	市立スポーツセンター
5月19日	大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会	ホテルアウィーナ大阪
5月21・22日	第67回全国都市教育長協議会定期総会	神奈川県厚木市
6月7日	市立小学校運動会（藤井寺小学校は除く）	市立各小学校
6月15日	第1回藤井寺市総合教育会議	藤井寺市役所
7月3日	大阪府都市教育長協議会定例会	ホテルアウィーナ大阪
7月6日	第2回南河内地区市町村教育長連絡協議会	南河内府民センター
7月10日	藤井寺青少年育成しゅら基金運営委員会	市民総合会館
7月24日	大阪府都市教育長協議会夏季研修会	ホテルアウィーナ大阪
8月5日	南河内地区市町村教育長連絡協議会教育長研修会	三重県伊勢市方面
8月28日	大阪府都市教育長協議会夏季研修会及び定例会	ホテルアウィーナ大阪
9月6日	第35回藤井寺市民総合体育大会開会式	市民総合体育館
9月20日	第36回藤井寺市民まつり	市立スポーツセンター
9月26日	市立中学校体育大会	市立各中学校
10月1日	大阪府都市教育長協議会定例会	ホテルアウィーナ大阪
10月1日	藤井寺市立小学校連合運動会	市立スポーツセンター
10月13日	近畿市町村教育委員会研修大会	京都市
10月17日	市立幼稚園運動会	市立各幼稚園
10月25日	市立藤井寺小学校運動会	市立藤井寺小学校
10月29日	近畿都市教育長協議会研究協議会	京都府宮津市
11月3日	市民表彰・感謝状贈呈式	市民総合会館
11月6日	大阪府市町村教育委員会研修会	ホテルアウィーナ大阪
11月9日	南河内市町村教育委員研修会	河内長野市
11月10日	大阪府都市教育長協議会秋季研修会	岸和田市
11月12日	第2回藤井寺市総合教育会議	藤井寺市役所
11月18日	藤井寺市立小学校連合音楽会	市民総合会館
11月20日	羽曳野市・藤井寺市被害者支援協議会総会	羽曳野警察署
12月25日	第3回藤井寺市総合教育会議	藤井寺市役所



1月8日	大阪府都市教育長協議会定例会	ホテルアウリーナ大阪
1月11日	成人式	市民総合会館
1月17日	2016 藤井寺市民マラソン大会	舟橋河川敷野球場他
1月28日	大阪府都市教育委員会代表者研修会	ホテルアウリーナ大阪
1月29日	第3回南河内地区市町村教育長連絡協議会	南河内府民センター
2月7日	第59回南大阪駅伝競走大会	PL教団本庁内
2月18日	第4回南河内地区市町村教育長連絡協議会	南河内府民センター
3月13日	公民館まつり	市立生涯学習センター
3月14日	市立中学校卒業式	市立各中学校
3月16日	市立幼稚園卒園式	市立各幼稚園
3月17日	市立小学校卒業式	市立各小学校
3月28日	第4回藤井寺市総合教育会議	藤井寺市役所

### 3. 平成 27 年度施策の点検・評価

施 策 名	1 耐震化事業の推進		
-------	------------	--	--

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(1) より安全な学校園づくり	所 管 課	教育総務課
	主要施策	1) 耐震性の強化		

平成 27 年度実績	<p>●改築及び耐震補強工事 「学校施設改修（早期耐震化）計画」に基づいて、平成 27 年度に道明寺小学校で建て替えの為、3号棟の取り壊し工事を実施した。</p> <p>●改築及び耐震補強工事に伴う設計業務 翌年度に耐震工事を行うため、藤井寺南小学校 4号棟改築及び1号棟耐震補強工事に伴う設計業務、市立藤井寺西小学校地震補強工事の設計業務、市立道明寺小学校 3・4号棟改築工事（Ⅱ期）に伴う設計図書修正業務を実施した。 H28年度より建替え及び耐震補強工事を行う為、藤井寺中学校の実施設計を行なった。</p> <p style="text-align: right;">単位：㎡</p>																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>改築工事に伴う取り壊し</td> <td>道明寺小学校</td> <td>校舎</td> <td>3号棟</td> <td>568</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">耐震工事に係る設計業務</td> <td>藤井寺南小学校</td> <td>校舎</td> <td>1号棟</td> <td>1,967</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">藤井寺西小学校</td> <td>校舎</td> <td>1号棟</td> <td>2,719</td> </tr> <tr> <td>校舎</td> <td>2号棟</td> <td>1,088</td> </tr> <tr> <td>校舎</td> <td>8号棟</td> <td>428</td> </tr> <tr> <td>藤井寺中学校</td> <td>校舎</td> <td>5号棟</td> <td>669</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">改築にかかる設計業務</td> <td>藤井寺南小学校</td> <td>校舎</td> <td>4号棟</td> <td>564</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">道明寺小学校</td> <td>屋内運動場</td> <td>4号棟</td> <td>685</td> </tr> <tr> <td>校舎</td> <td>3号棟</td> <td>568</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">藤井寺中学校</td> <td>校舎</td> <td>1号棟</td> <td>1,862</td> </tr> <tr> <td>校舎</td> <td>3号棟</td> <td>2,497</td> </tr> <tr> <td>校舎</td> <td>6号棟</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>校舎</td> <td>12号棟</td> <td>140</td> </tr> </table>	改築工事に伴う取り壊し	道明寺小学校	校舎	3号棟	568	耐震工事に係る設計業務	藤井寺南小学校	校舎	1号棟	1,967	藤井寺西小学校	校舎	1号棟	2,719	校舎	2号棟	1,088	校舎	8号棟	428	藤井寺中学校	校舎	5号棟	669	改築にかかる設計業務	藤井寺南小学校	校舎	4号棟	564	道明寺小学校	屋内運動場	4号棟	685	校舎	3号棟	568	藤井寺中学校	校舎	1号棟	1,862	校舎	3号棟	2,497	校舎	6号棟	900	校舎	12号棟
改築工事に伴う取り壊し	道明寺小学校	校舎	3号棟	568																																													
耐震工事に係る設計業務	藤井寺南小学校	校舎	1号棟	1,967																																													
	藤井寺西小学校	校舎	1号棟	2,719																																													
		校舎	2号棟	1,088																																													
		校舎	8号棟	428																																													
藤井寺中学校	校舎	5号棟	669																																														
改築にかかる設計業務	藤井寺南小学校	校舎	4号棟	564																																													
	道明寺小学校	屋内運動場	4号棟	685																																													
		校舎	3号棟	568																																													
	藤井寺中学校	校舎	1号棟	1,862																																													
		校舎	3号棟	2,497																																													
		校舎	6号棟	900																																													
		校舎	12号棟	140																																													

点 検 及 び 評 価	<p>●耐震補強工事 「学校施設改修(早期耐震化)計画」に沿って、今年度1つの学校で実施し、耐震化率は、77.1%となった。 今後とも、より安全な学校施設確保のため、平成 29 年度末の耐震化率 100%に向けて、計画的に耐震補強工事を推進していく必要がある。</p>																													
	<p style="text-align: center;"><b>耐震化率</b></p> <table border="1" style="margin: auto;"> <caption>耐震化率推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>耐震化率 (%)</th> <th>早期耐震化計画での耐震化率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成22年</td><td>25</td><td></td></tr> <tr><td>平成23年</td><td>28</td><td></td></tr> <tr><td>平成24年</td><td>48</td><td></td></tr> <tr><td>平成25年</td><td>62</td><td></td></tr> <tr><td>平成26年</td><td>70</td><td></td></tr> <tr><td>平成27年</td><td>77.1</td><td></td></tr> <tr><td>平成28年</td><td>88</td><td>88</td></tr> <tr><td>平成29年</td><td>100</td><td>100</td></tr> </tbody> </table>				年度	耐震化率 (%)	早期耐震化計画での耐震化率 (%)	平成22年	25		平成23年	28		平成24年	48		平成25年	62		平成26年	70		平成27年	77.1		平成28年	88	88	平成29年	100
年度	耐震化率 (%)	早期耐震化計画での耐震化率 (%)																												
平成22年	25																													
平成23年	28																													
平成24年	48																													
平成25年	62																													
平成26年	70																													
平成27年	77.1																													
平成28年	88	88																												
平成29年	100	100																												

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
小・中学校の耐震化率	75.5%	77.1%	77.1%

施 策 名		2 学校施設・設備の整備	
総合計画 における 位置付け	節 名 称	(1) より安全な学校園づくり	所 管 課 教育総務課
	主要施策	2) 施設の充実	
平成 27 年度実績	<p>●藤井寺市学校施設等整備実行計画に基づく改修 学校施設・設備の老朽化対策や、学校施設として望まれる新たなニーズへの対応のため、平成 25 年 10 月に『藤井寺市立学校施設等整備実行計画』として優先度の高い事業を対象とし、空調設備、トイレの洋式化など具体的な整備の年次計画を策定した。しかしながら平成 26 年 9 月に行財政管理課が示した本市の厳しい財政状況の実態の公表を受け、平成 27 年 1 月に計画期間などの見直しを行った。</p> <p>前期実行計画 平成 25 年度から平成 29 年度 中期実行計画 平成 30 年度から平成 34 年度 後期実行計画 平成 35 年度から平成 40 年度</p> <p>○トイレ改修 藤井寺北小学校トイレ改修工事 道明寺小学校トイレ改修工事 市立藤井寺北小学校トイレ改修工事（2 期）に伴う設計図書修正業務</p> <p>○プール防水改修 道明寺小学校プール防水改修</p> <p>○屋上防水改修 藤井寺小学校 2・4 号棟屋上防水改修 道明寺小学校 7 号棟屋上防水改修</p> <p>○経年ガス管改修 藤井寺南小学校経年ガス管改修 道明寺南小学校経年ガス管改修</p> <p>●施設の改修等 学校施設の営繕工事 ・各小中学校図書室エアコン設置（(株)松屋寄贈） ・道明寺中学校職員室電話改修 ・藤井寺南小学校職員室電話改修 ・藤井寺西小学校職員室電話改修 ・藤井寺北小学校職員室消防用制御盤交換（落雷被害）</p>		
点 検 及 び 評 価	<p>●藤井寺市立学校施設等整備実行計画の実行 子どもたちのより良い教育環境の実現を目指すため、藤井寺市立学校施設等整備基本計画に基づき、年次計画として藤井寺市立学校施設等整備実行計画を策定した。その実行計画を実現するべく、トイレ改修や屋上防水など計画通り進めている。今後は平成 30 年度まで耐震関係工事が中心になるが、その後の整備実行計画に向け財源確保も含めて準備するとともに、緊急修繕があれば迅速に対応していく。</p>		

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
学校施設等整備実行計画の実施	実施	実施	実施

施 策 名	3 児童の安全見守り活動の推進
-------	-----------------

総合計画における位置付け	節 名 称	(1) より安全な学校園づくり	所 管 課	学校教育課 生涯学習課
	主要施策	3) 学校・通学路等における子どもの安全確保		

平成 27 年度実績	<p>〈学校教育課〉</p> <p>●学校安全監視員 各小学校において、午前8時から午後5時までの間、学校安全監視員を1名配置し、学校の安全確保および不審者の侵入防止のため、校門にて来校者の確認をしている。また、児童の登下校時には、見守り活動にも取り組んだ。</p>																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学 校</th> <th>藤小</th> <th>藤南小</th> <th>藤西小</th> <th>藤北小</th> <th>道小</th> <th>道東小</th> <th>道南小</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日平均来校者数(名)</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>8.4</td> </tr> </tbody> </table>	学 校	藤小	藤南小	藤西小	藤北小	道小	道東小	道南小	平均	1日平均来校者数(名)	15	12	6	7	5	6	8	8.4	
	学 校	藤小	藤南小	藤西小	藤北小	道小	道東小	道南小	平均											
	1日平均来校者数(名)	15	12	6	7	5	6	8	8.4											
	<p>※ 来校者証持参の保護者は除く。 来校者の大半は、関係する業者であった。</p>																			
	<p>●子ども安全見守り隊 各小学校区に地域ボランティアやPTAによる子ども安全見守り隊を組織し、通学路の各所において児童の登下校時の見守り活動を行った。</p>																			
	<p>●スクールガードリーダー活用事業 地域学校安全指導員が市内の全小学校区を巡回指導する中で、各校における学校安全に取り組む体制作りを支援するとともに、安全で安心できる学校を確立するよう、スクールガードにかかわる指導を行った。</p>																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校区</th> <th>藤小</th> <th>藤南</th> <th>藤西</th> <th>藤北</th> <th>道小</th> <th>道東</th> <th>道南</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回回数</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	小学校区	藤小	藤南	藤西	藤北	道小	道東	道南	合計	巡回回数	15	14	14	14	15	14	14	100	
	小学校区	藤小	藤南	藤西	藤北	道小	道東	道南	合計											
	巡回回数	15	14	14	14	15	14	14	100											
<p>●子どもの安全確保推進会議 日 時 平成27年6月22日(月) 場所：市役所3階 305会議室 参加者 各幼稚園長代理、各小・中学校長・教頭、学校安全担当教職員 区長・防犯委員・民生委員・児童委員・安全見守り隊ボランティア計37名 羽曳野警察署生活安全課少年係長が「藤井寺の子どもたちを守るために」の講演を行い、スクールガードリーダーが巡回時の状況報告をし、区長・防犯委員・民生委員・児童委員・安全見守り隊ボランティア等から、地域の取組みの現状と今後の方向性について、各学校の状況報告、意見交換を行った。</p>																				
<p>●子どもへの暴力防止教室(CAP)【平成17年度より実施】 本市独自の取組みとして、全小学校の1年生(541名)を対象に実施した。児童が自分自身の大切さを自覚するとともに、虐待や暴力行為など危機的状況を自分で切り抜けるための知識や方法、人権侵害などについて学んだ。 実施期間 平成27年11月2日から平成28年1月27日 各小学校3日間</p>																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>実施日</th> <th>学校名</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藤井寺小学校</td> <td>1/18・19・20</td> <td>藤井寺南小学校</td> <td>1/22・25・27</td> </tr> <tr> <td>藤井寺西小学校</td> <td>11/9・10・11</td> <td>藤井寺北小学校</td> <td>11/17・18・19</td> </tr> <tr> <td>道明寺小学校</td> <td>12/15・18・21</td> <td>道明寺東小学校</td> <td>11/2・4・6</td> </tr> <tr> <td>道明寺南小学校</td> <td>12/9・10・11</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学校名	実施日	学校名	実施日	藤井寺小学校	1/18・19・20	藤井寺南小学校	1/22・25・27	藤井寺西小学校	11/9・10・11	藤井寺北小学校	11/17・18・19	道明寺小学校	12/15・18・21	道明寺東小学校	11/2・4・6	道明寺南小学校	12/9・10・11		
学校名	実施日	学校名	実施日																	
藤井寺小学校	1/18・19・20	藤井寺南小学校	1/22・25・27																	
藤井寺西小学校	11/9・10・11	藤井寺北小学校	11/17・18・19																	
道明寺小学校	12/15・18・21	道明寺東小学校	11/2・4・6																	
道明寺南小学校	12/9・10・11																			
<p>●青色防犯パトロール車事業 実施状況 平成27年4月第2週から平成28年3月第5週まで3課1週間毎 学校教育課・環境政策課・生涯学習課の3課により、藤井寺市「青色防犯パトロール車」事業を行った。年間64回、青色防犯パトロール車での巡回活動を実施し、下校時に、児童・生徒への安全見守り活動を行った。 また、10月20日には、羽曳野警察署生活安全課署員を講師として招聘し、青色防犯パトロール担当職員を対象に、実施に関わる内容についての講習会を実施した。</p>																				
<p>〈生涯学習課〉</p> <p>●通学路の安全総点検 ・市内全校園が市連Pによる対市要望で危険箇所をあげている。特に藤井寺南小学校、道明寺東小学校の2校については、それぞれ8月4日(火)、3月11日(金)に通学路の点検を学校、PTA、地区、教育委員会、道路水路課、羽曳野警察署と合同で実施した。 ・危険箇所として藤南小校区では藤ヶ丘4丁目路面標示の再標示等9ヶ所、道東小校区では惣社1丁目カーブミラー取替え等8ヶ所についての要望が出された。 ・藤ヶ丘4丁目にて新規で路面標示が設置された。 ・惣社1丁目11-24付近のカーブミラーの取替え工事が行われた。</p>																				

点 検 及 び 評 価

学校教育課

●学校安全監視員

各小学校において、マンパワーの利点を生かした学校安全確保を進め、平成 27 年度においては、不審者侵入事案は起こらなかった。今後も、子どもの安全を確保するために、学校安全監視員を継続配置することが必要である。

●子ども安全見守り隊

各小学校区において、学校が主体となって地域の多大なる支援をいただき、学校、保護者（PTA）、地域が連携し、子どもの安全見守り体制を毎年確認し、充実した見守り活動を展開する中で、登下校時の児童の安全が確保されている。今後も信頼関係をさらに強化し、安全確保の体制を充実させる。

学 校	藤小	藤南小	藤西小	藤北小	道小	道東小	道南小	合計
人 数 (人)	30	80	35	80	75	100	200	600

●スクールガードリーダー活用事業

各小学校区の子ども安全見守り隊の活動に加え、スクールガードリーダーが巡回指導を行い、学校・市教育委員会と連絡を密に取り合える協力体制が確立されている。危険個所へのカーブミラーの設置等、危険個所の早期発見や不審者情報等の緊急巡視を警察および地域と連携して行うことができた。今後も、万が一の緊急事態発生時に学校と地域、教育委員会が一体となった迅速な対応を図ることができるよう、さらなる連携の強化に努める。

●子どもの安全確保推進会議

各学校が、校区の区長・防犯委員・民生委員・児童委員・子ども安全見守り隊・スクールガードリーダー・警察署との連携を深め、現状の共通認識を持つことができた。今後は、各校における不審者対応および交通安全に関する取組みについての情報交換・共通理解をさらに深め、各地域からの報告をもとに、学校と地域が一体となった安全確保の体制の確立・市内全域にわたるネットワーク化を強化し、事故防止や犯罪を抑止する一助とするため、継続して行っていく。

●子どもへの暴力防止教室(CAP)

市内全小学校の1年生を対象に実施した。ロールプレイを通して、暴力を受けそうになった時、あるいは受けた時に、自分の身を守るために何ができるかを考える機会となり、理解につながっていった。誘拐や不審者の出没等の事案が発生する現状において、引き続き実施していきたい。

●青色防犯パトロール車事業

地域の犯罪の発生を抑制し、市民が安心して暮らすことができるようパトロールを実施しているが、巡回回数はまだ少ない状況にあり、さらに地域への啓発を行うことが必要である。今後も、3課を軸に協働して、安全なまちづくりをさらに進め、青色防犯パトロール車での巡回回数を増やすとともに、市内において不審者情報等があった場合には、緊急パトロールを実施し迅速に対応していきたい。

生涯学習課

●通学路の安全総点検

学校、PTA、地域、教育委員会、関係機関間で要望していた、藤ヶ丘4丁目路面標示の再標示、惣社1丁目カーブミラー取替え等、14ヶ所で対策が施されたことにより、児童の通学上の環境が大幅に改善され、学校・PTAの了解を得た。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
子ども安全見守り隊登録者数	567 名	600 名	600 名

## (1) より安全な学校園づくり【学識経験者の意見】

- 市内の全公立小中学校の耐震化が当初の計画通り順調に進捗し、平成 29 年度の完了が予定できる見通しが立ち、本市として安堵するところである。今後は子どもたちのためのより安心安全な教育環境の実現をめざす方向へ進むこととなる。藤井寺市学校施設等整備実行計画に基づき、年次計画の通り取り組むために、特定財源の確保に努め、計画の進捗状況を踏まえ、その時々状況により計画内容や期間等を常に見直しながら、トイレ改修や屋上防水など計画通り進められ、より良い教育環境の充実をめざして計画的な整備の実施に努めていることは大いに評価したい。
- 各小学校において、校門での来校者の確認を行う学校安全監視員を配置し、不審者侵入を防ぎ、安全の確保が保障されている。児童・保護者・教職員が守られているという安心感を持つことは、教育活動上重要であり、継続配置を願う。

また、児童の登下校時の見守り活動は、学校・保護者・地域が連携し、充実した活動が展開されており、安全が確保されているものと思われる。

平成25年度より、「藤井寺市子どもの安全確保推進会議」を開催し、スクールガードリーダーが、コーディネーター役として、各校区の子ども安全見守り活動の取組状況等を確認し、市内全体で学校安全体制について具体的な情報共有をしていることは評価できる。この機会を持つことにより、学校・保護者・地域が共通理解を深め、三者の信頼関係をさらに強め、ネットワーク化を強化し、市内全域の子どもの安全確保に今後ますますつなげていただきたい。
- 市内全小学校の 1 年生を対象に子どもへの暴力防止教室(“CAP” Child Assault Prevention 子どもへの暴力防止プログラム)を実施している。これは、暴力を受けそうになった時、あるいは受けた時、自分の身を守るためにどのようにするのかを、ロールプレイを通して身に付けていく学習であり、継続して取り組んでいることは意義深いことである。誘拐や不審者出没等の事案が発生する現状において、子どもを大人が守るだけでなく、子ども自身が、自分自身の大切さや、万が一、危機的状況に置かれた場合にも、自分の身を守るためにできる方法を学び、身につけることは、安全確保の重要な観点である。引き続きこの取り組みの充実を図ることを望む。

施 策 名	4 食育教育の充実
-------	-----------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(2) 豊かな心と「確かな学力」の育成	所 管 課	学校教育課・ 教育総務課
	主要施策	1) 学力向上に向けた取組みの推進		

平成 27 年度実績	<p>●小中学校における食育の取組み</p> <p>全小中学校で食育全体計画を作成し、課題・取組みを共有しながら推進している。また市内小学校に栄養教諭2名を配置し、担任が中心となり栄養教諭を活用して指導に当たっている。さらに平成26年度より藤井寺中学校に栄養教諭を1名配置し、市内の全中学校を訪問指導して、生徒への食育啓発ができた。中でも特色ある取組みは以下の通りである。</p>						
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">全小学 5年生</td> <td>朝ごはんの喫食率を調べ、生活への影響から、その大切さを学んだ。</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td> <p>●大阪女子短期大学と連携した食育学習 (藤井寺中、道明寺中、第三中合同学習)</p> <p>実施日 平成28年1月16日(土)</p> <p>テーマ 「食育クッキング」</p> <p>参加者 藤井寺中 12名 道明寺中 13名 第三中 5名</p> <p>●栄養教諭による指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝ごはんの大切さ</li> <li>・栄養バランスを考えた食事の摂り方</li> <li>・週に1回給食時に学校放送を活用して指導</li> <li>・生徒及び保護者への食育啓発のため「食育だより」を配布。</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>●食物アレルギー対応のための教職員研修</p> <p>「学校におけるアレルギー疾患への対応」に係る研修会の実施</p> <p>日 時 平成27年8月3日(月)14時から16時</p> <p>場 所 藤井寺市役所 研修室</p> <p>講 師 高岡 有理 氏 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター</p> <p>内 容 &lt;講話&gt; 学校におけるアレルギー疾患への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の対応(特にエピペンの使用について)</li> <li>・学校としての予防的な対応</li> </ul> <p>&lt;実習&gt; エピペントレーナーを使用した実習</p> <p>参加人数 43名</p>				全小学 5年生	朝ごはんの喫食率を調べ、生活への影響から、その大切さを学んだ。	中学校
全小学 5年生	朝ごはんの喫食率を調べ、生活への影響から、その大切さを学んだ。						
中学校	<p>●大阪女子短期大学と連携した食育学習 (藤井寺中、道明寺中、第三中合同学習)</p> <p>実施日 平成28年1月16日(土)</p> <p>テーマ 「食育クッキング」</p> <p>参加者 藤井寺中 12名 道明寺中 13名 第三中 5名</p> <p>●栄養教諭による指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝ごはんの大切さ</li> <li>・栄養バランスを考えた食事の摂り方</li> <li>・週に1回給食時に学校放送を活用して指導</li> <li>・生徒及び保護者への食育啓発のため「食育だより」を配布。</li> </ul>						

点 検 及 び 評 価

●小中学校における食育の取組み

中学校での栄養教諭1名の配置により、全中学校を訪問指導し、給食時間における献立や食材に関する情報の提供や食に関する資料の配布等、小学校と同じように中学校でも食育の指導の充実が図られた。また、小学校栄養教諭2名も全小学校を訪問指導し、市内すべての児童生徒に均質な食育指導を行った。

今後も、指導内容の工夫・家庭との連携を進め、児童生徒の朝食喫食率の向上・健康的な食生活の充実をめざす。

●食物アレルギー対応のための教職員研修

研修受講者が、研修内容を各校のアレルギー対応研修において伝達し、全教職員が、誤食の未然防止や緊急時の対応、エピペン接種等についての共通理解をすることができている。園児・児童・生徒が、教育活動中において食べ物を口にする際の安全確保、また安全安心な給食の実現、適切な緊急対応が行われるよう、今後も継続して研修を実施していく必要がある。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
5 年児童の朝食喫食率	96.6%	100%	95.0%



施 策 名	5 学びの機会の充実
-------	------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(2) 豊かな心と「確かな学力」の育成	所 管 課	学校教育課	
	主要施策	1) 学力向上に向けた取組みの推進			
平成 27 年度実績	<p>●学校図書館支援事業</p> <p>学校図書館の活性化や市立図書館との連携をめざすとともに、藤井寺市内の児童・生徒の「読書力」を育み高めるための読書センターとして、また情報活用能力の向上をはかる情報センターとしての取組みを進めることを目的として実施した。</p> <p>平成 25 年度から各校 1 名配置されている学校司書を、平成 27 年度は、週に 5 日間の配置とし、児童生徒の学校図書館の活用がさらに進むよう取り組んだ。また、教職員・学校司書・学校図書館支援ボランティアが協力して、発達段階に応じた児童・生徒への読み聞かせや本の紹介を行うとともに、図書の整理や修理を行うことで、図書の使い方・検索の方法についても指導し、学校図書館教育の充実を図った。</p>				
	学校名 (学校司書数)	ブックママ 参加者数	ブックママ 活動日	時間帯	取組み状況
	藤 小 (1)	38 名	火・木	朝学習 昼休み	・貸し出し、自由図書による開放 ・読み聞かせ、環境整備、広報誌等
	藤南小 (1)	9 名	月・火・ 木・金	朝学習 昼休み	・貸し出し、環境整備 ・本の紹介、読み聞かせ 等
	藤西小 (1)	14 名	月・水・金	昼休み	・環境整備、本の紹介、読み聞かせ ・書架の整理・図書の修理 等
	藤北小 (1)	13 名	月・水・木	昼休み 休み時間	・貸し出し、読み聞かせ、環境整備 ・小学生新聞の切り抜き 等
	道 小 (1)	15 名	火・木・金	昼休み	・貸し出し、図書委員会活動の支援 ・本の紹介と読み聞かせ・環境整備
	道東小 (1)	6 名	火・木	昼休み	・貸し出し、読み聞かせ ・環境整備 等
	道南小 (1)	15 名	火・木	休み時間	・本の貸し出し、書架の整理 ・読み聞かせ、図書修理 等
	藤 中 (1)	8 名	月～金	昼休み	・貸し出し、委員会活動の支援、 ・書架整理、図書修理 等
	道 中 (1)	23 名	月～金	昼休み	・本の貸し出し、環境整備 ・発注図書選定、 ・市立図書館との連携 等
	三 中 (1)	7 名	火・木	昼休み	・本の貸し出し、書架整理 ・読み聞かせ、図書修理 等
	<p>●放課後「ゆめ」教室</p> <p>全ての生徒が基礎学力を確実に身に付けることができるよう、個に応じて学習のつまずきに対応できる環境作りを行った。年間を通して、中学校 3 校が放課後に地域人材「学習アドバイザー」を活用し、教員も可能な限り参加するなかで支援を行い、学力向上と学習習慣の定着を図った。</p>				

平成 27 年度実績

学校名	人材数	実施回数	人材種別	時間帯	のべ参加人数
藤井寺中	2名	29回	大学生 大学生	16:00~17:00	228人
道明寺中	1名	45回	退職教員	16:00~17:00	158人
第三中	3名	30回	地域人材 地域人材 大学生	16:00~17:00	91人

●学校支援社会人等指導者活用事業

【社会人等指導者活用事業：239回】

外部指導者を市内全幼稚園、小・中学校へ招き、各教科や総合的な学習、道徳などの授業やクラブ活動において専門的な指導を行った。

校種	指導者数	回数	活用内容
幼稚園	66	66	・体操・ダンスの指導・補助 ・伝承遊び・昔遊びの指導・補助 ・人形劇・読み聞かせ
小学校	42	116	・伝承遊び・昔遊びの指導・補助 ・クラブ活動の指導・補助 ・支援学級エアロビクスの指導 など
中学校	4	57	・家庭科（被服・調理実習など）の補助 ・部活動の指導・補助
合計	112	239	

【スクールフレンド活用事業】

大学生を各小・中学校へ延べ49名派遣し、809回実施した。各教科や総合的な学習、道徳の授業やクラブ活動など、様々な教育活動の場面で補助を行った。また、不登校傾向にある児童・生徒や特別な支援を必要とする児童・生徒に関わったりした。

校種	人数	回数	内容
小学校	35名	544	授業中の学習支援・クラブ活動補助
中学校	14名	265	授業中の学習支援
合計	49名	809	

●学校インターンシップ

学校インターンシップとして、各幼稚園、小・中学校に74名の学生を受け入れ、教育活動の一部を体験・支援することで、各大学との連携を進めた。

大学名	幼稚園	小学校	中学校
四天王寺大学	21	31	14
大阪総合保育大学		3	
大阪大谷大学		5	
合計	21	39	14

●学校図書館支援事業

読書に親しむ時間が増え、本を借りに来る人数も確実に増えている。学校図書館や読書活動が、児童・生徒にとって、とても身近なものとなってきている。

「学校司書」については、平成 25 年度より各校に 1 名配置し、平成 26 年度は週 3 日、平成 27 年度は週 5 日と勤務日数を増やし、教職員・ブックママと協働して学校図書館のさらなる活性化に努めた。今後は、学校図書館蔵書管理の電算化を進めることで、児童・生徒の読書活動・様々な教科における主体的な調べ学習を充実させるとともに、市立図書館をキーステーションとした全小中学校の図書館のネットワークシステムづくりを進めていく。

学 校 名	学校図書館来館者数	貸し出し図書冊数
藤 井 寺小学校	23,992	26,117
藤井寺南小学校	13,500	9,539
藤井寺西小学校	9,301	7,403
藤井寺北小学校	11,030	24,178
道 明 寺小学校	3,903	15,794
道明寺東小学校	1,754	11,803
道明寺南小学校	3,996	6,643
藤 井 寺中学校	4,834	2,502
道 明 寺中学校	7,378	2,528
第 三 中学校	1,741	883

●放課後「ゆめ」教室

個別に学習できる場が保障された。定期テスト前に集中的に実施している学校では、テストで成果を出せた生徒も多く、生徒の学習意欲向上につながった。藤井寺中学校においては、テスト前の「ゆめ」教室をやめ、日頃から「火・木曜日」の開催をコンスタントに実施する形に変更したため、実施回数が減少し、参加者も減少した。各校では、生徒が自分で選んだ教材を持ち込んで学習し、分からないところを熱心に支援アドバイザーや教職員に質問しながら学習する姿が見られた。教職員は、継続して参加している生徒は、学習習慣と自学自習力が身についてきたのではないかと感じている。今後さらに、学習教材の工夫やICT機器の活用等、各学校が課題に応じて工夫、活用し、生徒個々の悩みや課題に応じた学力向上と学習習慣の定着につなげ、取組みの充実を図っていくことが大切である。

学校名	平成 26 年度		平成 27 年度	
	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数
藤井寺中学校	37	577	29	228
道明寺中学校	51	295	45	158
第 三 中学校	48	635	30	91

●学校支援社会人等指導者活用事業

【社会人等指導者活用事業】

「開かれた学校づくり」の一環として、地域の人々に支援協力していただくことにより、地域に根ざした専門的な指導が可能となり、地域と園児・児童・生徒の結びつきを生み出した。幼稚園、小学校では、歌唱指導・ダンス指導・茶道体験・伝承遊びなど専門的な技術を有する指導者を招き、本物の芸術等に触れるなど、子どもの感性や情操面の耕しを目的とする教育を進めた。中学校では、授業中の実技指導補助・部活動の支援など、教育活動の支援を受けた。

学校現場では、本事業に対してのニーズも多く、今後も、専門的な知識を持ち、様々な経験をされた地域の方々をはじめ外部人材を活用し、体験活動も含めた学習活動を進め、子どもたちの自尊感情・自己肯定感を育てていく。

点 検 及 び 評 価

【スクールフレンド活用事業】

大学生ボランティアの協力により、児童・生徒に寄り添った支援や細やかな指導ができた。具体的には、学生が授業・休み時間・給食・掃除の時間等日常の活動を通じて子どもたちと関わることで、児童・生徒にとって身近な安心できる存在となっている。

また、参加する学生には教職をめざしている学生も多く、学生にとっても貴重な経験となっている。

今後も、子どもたち一人ひとりに応じた支援を展開できるよう、関係大学と連携を図り、事業の充実を進めていく。

●学校インターンシップ

インターンシップ実習を通じて、学生の資質の向上につながり、各大学との連携が図れている。また、実習生が各幼稚園、小・中学校で園児・児童・生徒とかわることで、園児・児童・生徒も毎日の生活を楽しく過ごすことができている。

来年度以降も、各大学と継続した連携を図り、受け入れ態勢の整備・活用効果の向上を進めていきたい。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
学校支援社会人等指導者活用例	1,128 回	1,200 回	1,064 回

施 策 名	6 確かな学力の育成
-------	------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(2) 豊かな心と「確かな学力」の育成	所 管 課	学校教育課
	主要施策	1) 学力向上に向けた取組みの推進		

平成 27 年度実績	<p>●藤井寺市学力向上推進支援事業</p> <p>基礎基本となる学力だけではなく、社会で活用できる力の育成が、社会的課題となる中、市独自で学力向上に取り組む事業である。市内全小中学校を指定し、平成 26 年度～平成 29 年度までの 4 カ年間で事業実施期間とする「藤井寺市学力向上推進支援事業」に取り組んだ。中学校区ごとに小中学校教職員が一同に会して研究に積極的に取り組み、平成 27 年度は、3 中学校において、公開授業・研究発表を行った。また、学力向上推進委員会を 2 回実施し、各校における学力向上の取組みを全校が共通理解した。</p>			
		学校名	教科	主 題
	第三 中 学 校 区	藤井寺 小学校	道徳	「夢や志をもち、実現に向けて力強く生きる子どもの育成」 ～キャリア教育の視点を活かした授業づくりの推進と創造～
		藤井寺北 小学校	算数	自ら学び、ともに考える学習活動をめざして
		第三中学校	複数 教科	『ユニバーサルデザインによる授業』 ～すべての生徒にとってわかりやすい授業づくり～ 公開授業・研究発表 12月3日(木) 2年生各教科
	藤 井 寺 中 学 校 区	藤井寺南 小学校	算数	『伝える つながる 学び合う』 ～子どもが自ら課題を見つけ解決したくなる授業の提案～
		藤井寺西 小学校	国語	「伝え合い、学びあい、生き生きと学習に取り組む子どもの育成」 ～自然に親しみ、自分の考えをもち、進んで学習する 理科・生活科の授業づくり～
		藤井寺 中学校	複数 教科	「基礎・基本の定着及び活用する力の育成と その指導方法の研究」 公開授業・研究発表 10月30日(金) 1年生英語科
	道 明 寺 中 学 校 区	道明寺 小学校	国語	《キャリア教育の視点を生かして》 友だちや地域とつながり、自らの生き方を考える子どもを育てる ～自分に自信、友に安心、大好きわたしのまち・学校～
		道明寺東 小学校	算数	算数的活動を通して、一人ひとりが主体的に取り組む 学習をめざす ～自分の考えを持ち、伝える授業づくりⅡ～
		道明寺南 小学校	算数	「みんなと学び考える楽しい算数」 ～確かな学力を身につけ、活用力を育てる算数科学習～
		道明寺 中学校	複数 教科	「わかる授業」の確立 ～みんなが興味をもって取り組める授業～ 公開授業・研究発表 10月27日(火) 3年生各教科

平成 27 年度実績

●教職員研修

学習指導要領の重点事項や、学力学習状況調査等の課題、さらに子どもたちを取り巻く教育課題を踏まえ、主に以下の研修に重点をおいて実施した。

研 修 名	対 象	人 数	内 容
夏季研修	幼・小・中教職員	414名	人権教育、道徳教育、生徒指導、外国語活動（指導案の作成）、理科アレルギー疾患への対応、情報教育、人権フィールドワーク
初任者研修	採用1年目教員	幼稚園2名 小学校8名 中学校8名	授業研究・訪問指導（教科1回、他1回）理科実技、人権教育、授業参観・訪問指導（随時）児童生徒理解について
10年経験者研修	採用10年目教員	小学校11名 中学校7名	授業研究（教科2回、他1回）、夏季選択研修（1回）
2年目研修	採用2年目教員	16名	指導教諭模範授業研修 2月18日（木）6時間目特別活動（5年生） 「集団づくりについて」
ミドルリーダー研修	採用11～24年目教員 首席・指導教諭を含む	46名	人材育成について リーダーシップについて
幼稚園研修	幼稚園教員		保育研修会（6回）、 保育連続講座（2回） 公開保育、教材研究

夏季研修参加人数内訳

研 修 名	参 加 人 数
外国語活動・英語教育	47名
小学校初任者の授業づくり研修（理科）	12名
情報教育	56名
道徳教育研修	67名
人権教育研修	40名
人権フィールドワーク	26名
生徒指導研修（Ⅰ）＋（Ⅱ）	123名（72名＋51名）
アレルギー疾患対応研修	43名
合 計	414名

●平成27年度 藤井寺市教育フォーラム

日 時 平成27年8月31日（月）  
 会 場 藤井寺市立市民総合会館 大ホール  
 講 師 絵本作家 長谷川 義史 氏  
 内 容 公開授業 第4学年道徳 「かけがえのない家族」  
 授業者：藤井寺市立道明寺東小学校 平西 哲也 首席  
 市内中学校生徒会の取組み発表  
 講 演 テーマ 「絵本を通して、豊かな心の育みを」  
 参 加 者 藤井寺市立幼稚園、小・中学校教職員、保護者、地域の方々  
 参加者数 382名

点 検 及 び 評 価

●藤井寺市学力向上推進支援事業

各中学校区とも4年間を見通した研究目標（授業力向上、特色ある取り組み）を立て校内研究を推進し、本年度は、各中学校において公開授業・研究発表を行い、ICT機器を有効に活用した指導方法や子どもたちの活発な学習活動が行われ、中学校区ごとに研究内容の共有化ができた。今後は、各小学校で公開授業・研究発表を行い、指導方法の改善・学習形態の工夫やICT機器の活用等、各校の研究成果を市内全校に発信し、各校の研究をさらに深めていく。

●教職員研修

それぞれの課題に応じた研修に教職員が参加し、各課題についての認識・対応への資質向上が図れた。今後は、新たな教育課題に対応するため、教職員の園児、児童、生徒、保護者との接し方や生徒指導のあり方、人権意識の向上・授業改善のための具体的な研修がさらに必要と考える。また、初任者を含めた経験の少ない教職員の資質向上のための年間を通した研修にも取り組んでいきたい。特に、生徒指導研修は、「いじめ」「保護者対応」「課題のある子どもへの対応」などのテーマについて、SSWの具体的実践例をもとに行う年間を通した継続的な研修を実施する。さらに、各学校園に在籍するアレルギー対応を必要とする子どもたちへの対応に万全を期するため、食育や食物アレルギーへの対応研修を継続実施していく。

●平成27年度 藤井寺市教育フォーラム

本年度実施した教育フォーラムには、382名の教職員および保護者・地域の方々が参加し、道徳の授業づくりについて理解を深め、子どもたちの豊かな心を育むため、参加者が一体となってともに考えることができた。

今後は、多様な教育課題の中から、授業づくり・指導方法をさらに工夫改善できるよう、別の観点からもテーマを設定し、教育フォーラムを実施するよう検討していく。

成 果 指 標	平成26年度実績	平成27年度目標値	平成27年度実績
授業内容がわかる子どもの割合（全国学力・学習調査）	73%	76%	75%

施 策 名	7 心の教育の充実
-------	-----------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(2) 豊かな心と「確かな学力」の育成	所 管 課	学校教育課
	主要施策	1) 学力向上に向けた取組みの推進		

平成 27 年度実績	<p>●<b>道徳教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校いきいきスクールによる道徳教育の連携を行うことで小学校と中学校双方の教師が連携し、小学校教諭が中学校で、中学校教諭が小学校で1回ずつ校種をこえ道徳の授業を行った。また、授業に向けた教材研究や打合せを複数回もち、小学校、中学校での授業なあり方などについて協議することができた。 藤井寺中学校と藤井寺西小学校 道明寺中学校と道明寺東小学校 第三中学校と藤井寺北小学校</li> <li>小中学校教員が教材研究等を協働し児童生徒の道徳心を高めた。</li> <li>授業参観等で道徳の授業を保護者に公開するよう推進した。 ※授業参観やフリー参観に全クラスが道徳の授業を公開した学校 藤井寺小学校、藤井寺南小学校、藤井寺西小学校、道明寺南小学校 藤井寺中学校、道明寺中学校、</li> </ul> <p>●<b>さわやかあいさつ運動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園、小・中学校が主体となって、子どもたちの豊かな心や規範意識をはぐくむ素地を養い、学校園の中での子どもたちどうしの良好な関係づくり、地域における人と人とのつながりを深め、よりよい地域社会づくりと明るく健やかな子どもたちを育成するため、5月・10月・2月を集中強化月間とし、教育委員会6課をあげてあいさつ運動を実施した。 強化月間では、各校園は校門等で幟、手旗を掲げ、あいさつ運動を行い、教育委員会職員が各校園に出向き、あいさつ運動に参加した。</li> <li>平成26年度に幟を200本購入し、平成27年度末までに123本配付した。</li> </ul> <p>●<b>夢・志をはぐくむ小・中学生のための「藤井寺『ゆめ』セミナー」</b></p> <p>地域の大学の協力により、子どもたちの興味・関心に即した講座を開講し、小学5・6年生、中学1年生を対象にセミナーを実施した。 国際理解分野…四天王寺大学『国際理解』(27名) 芸 術 分 野…大阪芸術大学『楽しいやきものづくり』(20名) 食 育 分 野…大阪女子短期大学『クッキングを通して、食育や食文化について学ぼう!』(24名) 合計71名が参加した。</p> <p>●<b>夢・志をはぐくむ小学生のための「ゆめ・心のプロジェクト ドリーム・プレゼンター学校派遣事業」</b></p> <p>市内全小学校5年生の児童に対して、夢を持つことの素晴らしさを伝え、挫折や苦労を通して自身の夢を実現、又は、夢に向かって進まれている方の体験談などを聞くなかで、子どもたちが夢や希望を持ち、学ぶことへの関心を高め、豊かな人間性や社会性を身に付けるとともに、自ら未来を切り開く力を養えるよう実施した。</p>																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学 校 名</th> <th style="text-align: center;">職 業</th> <th style="text-align: center;">名 前</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">藤 井 寺小学校</td> <td style="text-align: center;">絵 本 作 家</td> <td style="text-align: center;">長谷川 義史</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">藤井寺南小学校</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">マラソンランナー</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">吉住 友里</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">藤井寺西小学校</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">藤井寺北小学校</td> <td style="text-align: center;">バトンの指導者</td> <td style="text-align: center;">河津 修一</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">道 明 寺小学校</td> <td style="text-align: center;">プ ロ 野 球 選 手</td> <td style="text-align: center;">金森 敬之</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">道明寺東小学校</td> <td style="text-align: center;">マラソンランナー</td> <td style="text-align: center;">吉住 友里</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">道明寺南小学校</td> <td style="text-align: center;">シンガーソングライター</td> <td style="text-align: center;">作田 雅弥</td> </tr> </tbody> </table>					学 校 名	職 業	名 前	藤 井 寺小学校	絵 本 作 家	長谷川 義史	藤井寺南小学校	マラソンランナー	吉住 友里	藤井寺西小学校	藤井寺北小学校	バトンの指導者	河津 修一	道 明 寺小学校	プ ロ 野 球 選 手	金森 敬之	道明寺東小学校	マラソンランナー	吉住 友里	道明寺南小学校	シンガーソングライター
学 校 名	職 業	名 前																								
藤 井 寺小学校	絵 本 作 家	長谷川 義史																								
藤井寺南小学校	マラソンランナー	吉住 友里																								
藤井寺西小学校																										
藤井寺北小学校	バトンの指導者	河津 修一																								
道 明 寺小学校	プ ロ 野 球 選 手	金森 敬之																								
道明寺東小学校	マラソンランナー	吉住 友里																								
道明寺南小学校	シンガーソングライター	作田 雅弥																								



平成 27 年度実績

●藤井寺ジュニア防災リーダー育成事業

- ・講義や訓練等の体験学習を主とした育成講座を受講した中学生が、防災に関する知識や技能を習得し、災害対応能力を身に付け、「自分の命は自分で守る」という責任感・自尊感情を高めるとともに、他者を思いやる心や郷土を守る気持ち（郷土愛）を育むため、8月26日・27日の2日間、養成講座を実施した。
- ・柏原羽曳野藤井寺消防組合および危機管理課の協力を得、市内3中学校より40名の受講者があり、養成講座修了後、「認定書」を授与した。
- ・実施プログラム  
地震災害の実際についての講和、救命救急講習、テント設営、炊き出し訓練  
無線通信訓練、初期消火、煙霧体験、放水体験

●藤井寺市・山添村の小・中学校交流事業

藤井寺市と山添村の児童・生徒が、学びの場・活動の場を共有することにより、我が町、我が村に誇りを持ち、またお互いの郷土を理解し合い、友好都市提携を締結している藤井寺市と山添村の将来における交流の担い手を育成するために実施した。

中学校間交流…平成28年度に実施予定

小学校間交流…藤井寺北小学校6年生児童がやまぞえ小学校を訪問

6月26日（金）

児童会交流、郷土の紹介、交流活動、給食交流、なべくら溪谷の見学

点 検 及 び 評 価

●道徳教育の推進

小学校、中学校教職員が連携し、校種を超え授業を行った。副読本を使い、パワーポイントなども活用しながら道徳の授業を行った。教師にとってそれぞれの校種の児童・生徒の学びの様子を知ることができ、今後は、小中学校それぞれの授業のあり方について研究していく必要がある。

●さわやかあいさつ運動

幼稚園・小中学校はもとより教育委員会をあげて4月よりあいさつ運動に取り組んでいるが、今後も引き続き、各校の特色を出しながら、学校・家庭・地域が一体となって、あいさつを交わす習慣が定着するよう、園児・児童・生徒の主体的な活動を取り入れた「さわやかあいさつ運動」を進めていかなければならない。

●夢・志をはぐくむ小・中学生のための「藤井寺『ゆめ』セミナー」

国際理解、芸術、食育の3講座で実施した。中学生に関しては、大阪府下全体を対象とした「大阪中学生サマー・セミナー」に多くの生徒が参加しており、小学生に関しては、後述する、「ゆめ・心のプロジェクト ドリーム・プレゼンター学校派遣事業」がキャリア教育の観点からも効果的に実施されている。次年度以降は、「大阪中学生サマー・セミナー」に積極的に生徒が参加するよう勧めるとともに、「ゆめ・心のプロジェクト ドリーム・プレゼンター学校派遣事業」を充実・推進していきたい。

●夢・志をはぐくむ小学生のための「ゆめ・心のプロジェクト ドリーム・プレゼンター学校派遣事業」

小学校の5年生の児童に対して、「今、学校で学んでいることの意義」を理解させるとともに、「自らの将来の夢、志を抱き、その夢に向かって努力することの大切さを感じさせる」ことを目的に実施し、自分の夢・志を追い求めて努力することの大切さをメッセージとして伝えることができた。次年度も継続して、5年生の児童に対し、事業を実施していきたい。

●藤井寺ジュニア防災リーダー育成事業

講座を受講した中学生は、防災に関する知識や技能を習得するとともに、万一の災害発生時には講習内容を生かして、防災リーダーとしての役割を果たしたいという自尊感情が芽生えている。「学校生活では、もしもの時に友達を助けられるようになりたいです。」との感想もあり、避難訓練の機会等において校内にも広く伝えようという意識が育った。

●藤井寺市・山添村の小・中学校交流事業

- ・交流を行った児童は、お互いの学校や郷土について理解を深めるとともに、自分たちの学校や町・村について誇りを持つ契機とすることができた。
- ・今後も、市内各小・中学校が交流事業に取り組むことで、児童・生徒の「我が学校」「我が町」に対する誇りの気持ちを育てていく。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
校種をこえた道徳教育の連携実施回数	52 回	60 回	22 回

施 策 名	8 幼児教育の充実
-------	-----------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(2) 豊かな心と「確かな学力」の育成	所 管 課	学校教育課
	主要施策	1) 学力向上に向けた取組みの推進		

平成 27 年度実績	<p>●特色ある幼稚園づくり</p> <p>幼稚園は、学校教育法に定められた教育機関で、「幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長する。」ことを目的とする。その目的達成のために市内7園が下記の研究主題を設定し、特色ある園づくりに取り組んだ。また、併設する小学校とは、給食や水遊びの交流、体験入学など、年間を通じて連携を深めている。</p>																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>幼稚園名</th> <th>研究主題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藤 幼</td> <td>自分で考え、行動し、認め合える仲間づくりをめざして ～決める力につながる教師の役割～</td> </tr> <tr> <td>藤南幼</td> <td>子どもの育ちと食育 ～食育の重要性をふまえた確かな育ちとは・・・～</td> </tr> <tr> <td>藤西幼</td> <td>豊かな心と体の育成をめざして ～「科学する心を育てる」～</td> </tr> <tr> <td>藤北幼</td> <td>ひらく つなげる 輝く ～豊かな感性を育むために～</td> </tr> <tr> <td>道 幼</td> <td>絵本と生活 ～共に学び、共に育つために～</td> </tr> <tr> <td>道東幼</td> <td>豊かなコミュニケーション力を育む ～わくわくドキドキ 心弾む造形活動を通して～</td> </tr> <tr> <td>道南幼</td> <td>豊かな出会い 感じる心 ～食育を通して 子どもの成長を育む～</td> </tr> </tbody> </table>	幼稚園名	研究主題	藤 幼	自分で考え、行動し、認め合える仲間づくりをめざして ～決める力につながる教師の役割～	藤南幼	子どもの育ちと食育 ～食育の重要性をふまえた確かな育ちとは・・・～	藤西幼	豊かな心と体の育成をめざして ～「科学する心を育てる」～	藤北幼	ひらく つなげる 輝く ～豊かな感性を育むために～	道 幼	絵本と生活 ～共に学び、共に育つために～	道東幼	豊かなコミュニケーション力を育む ～わくわくドキドキ 心弾む造形活動を通して～	道南幼	豊かな出会い 感じる心 ～食育を通して 子どもの成長を育む～
	幼稚園名	研究主題															
	藤 幼	自分で考え、行動し、認め合える仲間づくりをめざして ～決める力につながる教師の役割～															
	藤南幼	子どもの育ちと食育 ～食育の重要性をふまえた確かな育ちとは・・・～															
	藤西幼	豊かな心と体の育成をめざして ～「科学する心を育てる」～															
	藤北幼	ひらく つなげる 輝く ～豊かな感性を育むために～															
	道 幼	絵本と生活 ～共に学び、共に育つために～															
	道東幼	豊かなコミュニケーション力を育む ～わくわくドキドキ 心弾む造形活動を通して～															
	道南幼	豊かな出会い 感じる心 ～食育を通して 子どもの成長を育む～															

点 検 及 び 評 価	<p>●特色ある幼稚園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「絵本」「地域とのつながり」「食育」「音楽活動」「人間関係（コミュニケーション）」「運動遊び」等をテーマに「特色ある幼稚園づくり」に取り組んだ。</li> <li>・テーマと成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>「絵本」：多くの絵本を読む機会の提供、保護者への啓発、表現力の育成</li> <li>「地域とのつながり」「人間関係」：周りの大人や友達と関係を築いていく力の育成</li> <li>「食育」：野菜の栽培や親子クッキングを通して、苦手な食べ物を克服していく力を育てるとともに、食べ物を作ってくださった方々への感謝の気持ちを育む。</li> <li>「音楽活動」：豊かな感性と表現力を育む。</li> <li>「運動遊び」：運動の仕方や運動能力の基礎を培い、好奇心・探究心を育む。</li> </ul> </li> <li>・幼稚園が地域や園児の特徴・現状にあった教育（保育）を進める「特色ある幼稚園づくり」に、地域の素材や人材を活用して取り組むことにより、保育内容が豊かになり、今まで以上に園児の個性の伸長が見られた。今後は、各幼稚園の取組みを地域や保護者にさらに広く発信し、幼稚園と保護者・地域が一体となって、幼児教育の充実を進め、就園率の向上に向けた取組みを進めていく。</li> <li>・今後も本事業を通じて各幼稚園の教職員が自分の幼稚園の教育（保育）の在り方を検証し、創意工夫を凝らした実践力を身に付けることができるよう指導し、幼稚園教育の活性化を進め、教育（保育）の質を向上させていく。</li> <li>・こども園開設に向け、質の高い幼稚園教育を維持・向上するため、幼稚園・保育所・関係部署との協議を深め、教育内容の維持・向上を図り、質の高い幼児教育を提供していく。</li> </ul>
-------------	--

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
就園率	33%	35%	34%

施 策 名	9 不登校児童・生徒の支援
-------	---------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(2) 豊かな心と「確かな学力」の育成	所 管 課	学校教育課
	主要施策	2) 不登校児童・生徒への対応		

平成 27 年度実績	<p>●スクールカウンセラー配置事業(府事業)</p> <p>臨床心理士の資格を持つ専門家をスクールカウンセラーとして、市内3中学校に配置し、不登校や問題行動に悩む児童・生徒やその保護者、教職員に対して、カウンセリング等による支援を行った。</p> <p>配置回数：各中学校へは週1回(6時間勤務) 年間35回(うち、市内各小学校へ6半日配置)</p>																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>相談対象</th> <th>児童・生徒</th> <th>保護者</th> <th>教職員</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>26</td> <td>83</td> <td>125</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>136</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>59</td> <td>116</td> <td>261</td> <td>436</td> </tr> </tbody> </table> <p>●スクールソーシャルワーカー活用事業</p> <p>社会福祉に関して専門的な知識、経験を有するスクールソーシャルワーカー(社会福祉士)を各小・中学校へ派遣し、児童・生徒が抱える問題に対して、福祉の観点から、見立て(アセスメント)とプランニングを行った。</p> <p>○市費によるSSWの派遣・・・年間72回 ○府から派遣されたSSWの派遣・・・年間35回</p> <p>また、学校生徒指導担当、スクールカウンセラーとも連携を図り、校内チーム支援体制を組織し、学校組織として、生徒指導の問題解決にあたった。</p> <p>また、学校のケース会議にスクールソーシャルワーカー、関係諸機関、保護司が参加し、広角的な支援を行うことができた。</p> <p>さらに本年度は、連続講座の研修を7回実施し、のべ、167名が出席した。今後も、教職員の児童理解・保護者支援を推進していくため継続的に実施していく。</p> <p>●適応指導教室(ウイング)</p> <p>市民総合会館別館で、月・火・木・金曜日に適応指導教室(ウイング)を開設し、指導員1名、指導協力員5名を配置し、心理的または情緒的な原因によって登校できない児童・生徒に対して、午前中は学習、午後はゲームや調理とう、集団への適応を促す活動を中心に活動し、学校生活への復帰を支援した。</p> <p>また、各学期に親の会を開催するなど、日常の活動の報告とともに、保護者の思いや意見などを聞き、家庭との連携を深めた。</p> <p>(平成28年3月31日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入室児童・生徒数</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>学校復帰者数</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>●藤井寺市いじめ問題対策連絡協議会の開催</p> <p>いじめ問題等に関係する機関及び団体の連携を図ることにに関して協議するとともに、藤井寺市いじめ防止基本方針に基づく取組みを効果的かつ円滑に推進していくための情報交換及び連絡調整を行うため開催した。</p> <p>平成27年7月15日(水) 委員：藤井寺市校長会、富田林こども家庭センター、府法務局富田林支局羽曳野警察署、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー市PTA連絡協議会、市民協働・人権推進課、いじめ防止対策指導員</p> <p>●藤井寺市立学校いじめ問題専門委員会の開催</p> <p>学校におけるいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針に関すること、重大事態に関すること等を調査審議するために、5回開催した。</p> <p>平成27年10月21日(水) 平成28年1月11日(月)、1月26日(火)、2月18日(木)、3月9日(水) 委員：藤井寺市校長会、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーいじめ防止対策指導員、弁護士</p>	相談対象	児童・生徒	保護者	教職員	合計	小学校	26	83	125	234	中学校	33	33	136	202	合 計	59	116	261	436		小学校	中学校	合 計	入室児童・生徒数	4	8	12	学校復帰者数	4	3
相談対象	児童・生徒	保護者	教職員	合計																												
小学校	26	83	125	234																												
中学校	33	33	136	202																												
合 計	59	116	261	436																												
	小学校	中学校	合 計																													
入室児童・生徒数	4	8	12																													
学校復帰者数	4	3	7																													

点 検 及 び 評 価

● スクールカウンセラー配置事業(府事業)

個別の児童・生徒や保護者、教職員への相談活動が定着し、自発的にカウンセリングを希望する人が増加している。中学校においては、校内適応指導教室へ通う生徒のニーズも増えている。また、中学校区の小学校へのカウンセラー派遣もニーズが高まり、定例日以外で臨時のカウンセリングも行った。

相談内容では、不登校等への指導や対応について、的確な判断と支援が図られ、その課題の解決につながった。

現状から、児童・生徒・保護者に対し、本事業についてさらなる周知を図るとともに、小学校でカウンセリングを受けていた児童が中学校へ入学してもスムーズにカウンセリングが実施できるよう、校種間連携の強化を進める。

● スクールソーシャルワーカー活用事業

各小・中学校において、継続してケース会議に参加し、見立て（アセスメント）とプランニングを行いながら、問題解決に努め、ほぼすべてのケースにおいて、学校と子ども家庭センター・市長部局等の関係諸機関との連携を図ることができた。

市内の生徒指導研修会を実施し、見立て（アセスメント）とプランニングにかかわって、配慮を必要とする園児・児童・生徒の見立てや対応の方法について教職員が学習した。

また、藤井寺市要保護児童等対策地域協議会にスクールソーシャルワーカーが構成員として参加し、各学校園における見立て（アセスメント）・プランニングの際の参考となっている。

今後は、スクールソーシャルワーカーの助言を参考に、学校が主体となり組織的対応ができるよう、校内体制を構築し、児童・生徒の環境改善を図っていく必要がある。

● 適応指導教室（ウイング）

学校復帰に向けて、不登校傾向にある児童・生徒に対して、学校生活への適応を促している。指導員・協力員が個別に関わりながら、児童・生徒との信頼関係を築いている。その中で児童・生徒が指導員・協力員に学習や進路について相談したり、悩みを打ち明けることができる安心した居場所となっている。また、適応指導教室の卒業生の来室が増え、現在入室している児童生徒との交流ができた。

また学校におけるケース会議にも指導員が参加し、校内適応指導教室への登校や短時間の登校等、学校復帰につながるようなケースもあった。

今後も、各校の生徒指導担当・担任等とつながる中で、適応指導教室と各学校の校内適応指導教室との連携を進め、児童・生徒の学校復帰等を含めた居場所作りに努めていきたい。

● 藤井寺市いじめ問題対策連絡協議会の開催

藤井寺市いじめ防止基本方針に基づく取組を効果的かつ円滑に推進していくため、幅広い視点から対策について協議が行われた。今後も、関係機関の連携強化を進めるため、開催していく。

● 藤井寺市立学校いじめ問題専門委員会の開催

学校におけるいじめの防止等のための対策の改善を継続的に行い、未然防止・早期発見・早期対応を進められるよう、様々な観点から審議が行われた。今後も、いじめ問題の未然防止のため開催していく。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
不登校児童・生徒の学校復帰率	75%	80 %	58%

施 策 名	10 教育の情報化
-------	-----------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(2) 豊かな心と「確かな学力」の育成	所 管 課	学校教育課
	主要施策	3) 情報教育の充実		

平成 27 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICT活用教育サポート事業 学習に対する興味関心を高めるためにコンピューターや提示装置等、情報機器活用推進のため以下のような取り組みを行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器の授業での活用</li> <li>・全小中学校で、デジタル教科書・問題データベースソフトの活用</li> <li>・各校で実施されたICTの活用事例を紹介</li> </ul> </li> <li>●タブレット活用によるICT教育推進モデル事業 市内2小学校を研究指定し、タブレットを各10台ずつ配備し、タブレットを活用した双方向型・協働型の授業を行い、主体的・探究的な学習活動の研究を始めた。 研究指定校 藤井寺西小学校・道明寺東小学校</li> </ul>
------------	--

点 検 及 び 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICT活用教育サポート事業 【デジタル教科書・問題データベースソフトの活用】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において大型液晶テレビを使用し、視覚に訴える指導方法を行い、児童の理解を深めることができている。</li> <li>・朝の学習の時間や授業の導入部分・習熟の部分等において、問題データベースソフトの問題を活用し、児童の学力向上を図っている。</li> </ul> </li> <li>【教職員ICT活用能力について】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・下記グラフは、学習に対する興味関心を高めるためコンピューターや提示装置等を活用して効果的に提示することができる本市の教職員の割合である。 (「できる」「わりとできる」と答えた教職員の割合・・・小学校約91% 中学校約74%) (平成27年度学校における教育の情報化に関する実態等に関する調査より)</li> </ul> </li> </ul> <div style="text-align: center;"> <table border="1"> <caption>授業にICTを活用して指導する力</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小学校 (%)</th> <th>中学校 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>h24</td> <td>82</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>h25</td> <td>87</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>h26</td> <td>88</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>h27</td> <td>91</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>・今回の数値は、特に中学校が8%向上し74%になっている。小学校の高い割合に近づきつつある。</p> <p>今後は、中学校の日常的に授業を行う教室には大型テレビ等がない等、環境が充実していない現状があるため、その環境整備が重要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●タブレット活用によるICT教育推進モデル事業 研究指定校において、児童が課題解決のために主体的・探究的に学習できるよう、タブレットの活用方法について研究を進め、その研究成果を市内全校に発信し、各校におけるICT機器の効果的活用が進むよう取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	年度	小学校 (%)	中学校 (%)	h24	82	55	h25	87	65	h26	88	66	h27	91	74
年度	小学校 (%)	中学校 (%)														
h24	82	55														
h25	87	65														
h26	88	66														
h27	91	74														

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
パソコンを活用した授業を実施した教職員	77%	100%	82.5%

施策名	11 国際化への対応
-----	------------

総合計画における位置付け	節名称	(2) 豊かな心と「確かな学力」の育成	所管課	学校教育課
	主要施策	4) 国際理解教育の充実		

平成 27 年度実績	<p>●外国人指導助手（ALT）の活用          外国語活動、英語教育を充実・推進するため、ALTを2名増員し、2小学校には1名ずつ常駐配置、各中学校区には1名ずつALTを配置することにより、各学校での指導の充実及び小・中学校の連携を進めてきた。常駐配置校においては、外国語活動をはじめとする授業時間だけでなく、休憩時間や給食時間・清掃時間等、様々な場面で英語を用いたコミュニケーションの場面があり、英語に対する抵抗感が薄れる効果が表れている。</p> <p style="text-align: center;">常駐配置小学校・・・・・藤井寺小学校、藤井寺南小学校</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>中学校</th> <th>小学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藤井寺中学校</td> <td>藤井寺西小学校、道明寺小学校</td> </tr> <tr> <td>道明寺中学校</td> <td>道明寺東小学校、道明寺南小学校</td> </tr> <tr> <td>第三中学校</td> <td>藤井寺北小学校、道明寺小学校</td> </tr> </tbody> </table> <p>●外国語活動推進サポーター          (藤井寺小学校・道明寺小学校に各2名 他の学校は、各校1名 計9名)</p> <p>小学校5・6年生の外国語活動のための地域ボランティアによる外国語活動推進サポーターを活用し、児童への学習効果を高めることを積極的に行った。</p> <p>●小・中学校連携の推進          ・各小・中学校代表者による英語教育推進委員会を組織し、話し合いを通して一定の方向性を導き出し、小学校における外国語活動のカリキュラムの作成や教職員対象の外国語活動研修などを行った。また、藤中校区・三中校区では、「指導方法の工夫改善定数を活用した小学校における専科指導の充実」の事業を活用して、事業実施のための加配の中学校英語教諭が小学校で授業を行い、小中間のギャップを無くす取り組みを実施し、その成果を市全体に広めている。</p>				中学校	小学校	藤井寺中学校	藤井寺西小学校、道明寺小学校	道明寺中学校	道明寺東小学校、道明寺南小学校	第三中学校	藤井寺北小学校、道明寺小学校
	中学校	小学校										
藤井寺中学校	藤井寺西小学校、道明寺小学校											
道明寺中学校	道明寺東小学校、道明寺南小学校											
第三中学校	藤井寺北小学校、道明寺小学校											

点 検 及 び 評 価

- 外国人指導助手（ALT）の活用
  - ・ALTを常駐配置した2小学校では、授業時間だけでなく、子どもたちは一年間を通してネイティブな英語を聞き、日常的に異文化にふれ、国際感覚を養うことができた。また、他の小学校においても、ALTとの関わりの中で、ネイティブの発音・音声を聞き、言語感覚を高め、コミュニケーションの素地を養うことができた。
  - ・ALTが増員されたことにより、各中学校にALTを毎週配置することができ、リスニングやスピーキングの機会を授業の中に設け、期末テストでは、リスニングやスピーキングのテストを実施し評価する事ができる等、英語教育の充実を推進することができた。今後は、外国語活動と中学英語のギャップ解消に向けて指導担当者とALTの授業での連携強化と小中一貫したカリキュラム作りを、会議を重ねて、さらに進めていく必要がある。

また、文部科学省が平成25年12月13日に公表した「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」の内容から、中学校の英語教育により積極的にALTを活用する必要がある。ただし、実施効果を検証するために、中学校での定期テストの点数の変化や、チャレンジテストの結果を指標にして定量的な評価をしていく必要がある。
- 外国語活動推進サポーター
  - ・小学校外国語活動でのコミュニケーション力の充実のため、地域ボランティアを各小学校へ配置して、一人ひとりを大切に、外国語活動の学習効果をより高めることができた。さらに効果的な支援方法を考えていく必要がある。
- 小・中学校連携の推進
  - ・小・中学校の教職員が連携し、外国語活動のカリキュラムの作成や評価等の意見交換を通して、校種を超えた理解を深めることができた。
  - ・英語教育推進委員会の中で、いきいきスクールでの成果を広め、小学校の「外国語活動」から中学校の「英語」への段差の解消につなげ、ALTを有効かつ適切に活用した担任中心の外国語活動にしていくように取り組んでいく必要がある。

成 果 指 標	平成26年度実績	平成27年度目標値	平成27年度実績
ALT事業実績時間数	1,995時間	3,325時間	3,325時間



施 策 名	1 2 世界遺産学習の推進
-------	---------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(2) 豊かな心と「確かな学力」の育成	所 管 課	学校教育課 文化財保護課
	主要施策	5) 「藤井寺」を誇りに思う教育の推進		

平成 27 年度実績	<p>●世界遺産学習の実施</p> <p>わが町藤井寺に誇りを持ち、文化財を大切に守ろうとする心を育むことを目的に、教育課程に位置付け実施した。市内の全ての小学校において6年生を対象に、10時間の授業を実施し、内1時間は文化財保護課専門職員による出張授業を行い、市内の発掘調査で出土した埴輪や土器に直接触れる機会を持つことができた。さらに藤井寺市観光ボランティアに協力してもらい、現地でのフィールドワークも取り入れている。</p> <p>また、平成25年度からは、世界遺産学習の展示会をシュラホールで実施し、市民の方々にも広く発信した。</p>											
	<p style="text-align: center;">(時間) <b>世界遺産学習授業延べ時数変遷</b></p> <table border="1"> <caption>世界遺産学習授業延べ時数変遷</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>授業時数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、中学校においては、各学校の判断により1~3年のうちいずれかの1学年を対象に、英語科の授業において、市教育委員会が作成した「百舌鳥・古市古墳群の英語版リーフレット」を活用し、郷土紹介が英語でできるよう学習活動を行った。</p>	年度	授業時数	H23	35	H24	56	H25	56	H26	70	H27
年度	授業時数											
H23	35											
H24	56											
H25	56											
H26	70											
H27	70											

点 検 及 び 評 価	<p>●世界遺産学習の実施</p> <p>文化財保護課専門職員による出張授業を通して、古代の埴輪や土器に興味関心を持ち、自分たちの身近な所に貴重な歴史資産が残されていることを知るきっかけとなった。</p> <p>平成24年度からはフィールドワークも取り入れている。歴史資産を実際に見て、その場で説明を聞くことで、児童は実感を持って理解し、身近なものとして受け止め、児童に地域を大切に思う心を育むことができた。</p> <p>さらに、この学習を通して児童が得たものを、新聞やホームページ、絵等にまとめ、展示会を開催し、市民に学習の様子を発信した。今後はさらに多くの市民に広く学習の様子を発信していく方法を考えていく必要がある。</p> <p>また、小学校での世界遺産学習の効果を中学校でも高めていく必要性があり、今後は中学校での世界遺産学習の効果的な実施方法を考え、中学校での取組みについて様々な方法を模索していく。</p>
-------------	---

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
授業延べ時数	70	70	70

## (2) 豊かな心と「確かな学力」の育成【学識経験者の意見】

- 小学校2名、中学校1名の栄養教諭の配置により、授業における食育指導と給食の食材の情報提供や食育だよりの配布等指導の充実が進められている。また、アレルギー疾患への適切な対応に関する研修の実施により、各学校における対応の共通理解を図り、さらに周知徹底の推進を願う。
- 学校図書館支援事業の一環として、各学校に1名の学校司書の配置を週3日から週5日に増やしたことにより、教職員・学校司書・学校図書館支援ボランティアが協力し、学校図書館が、読書センター・情報センターとしての機能を向上させ、学校図書館教育の充実が図られている。今後は、学校図書館の蔵書管理の電算化を進め、児童・生徒の読書活動や主体的な調べ学習の充実を推進されたい。
- 藤井寺市学力向上推進支援事業では、市内全小中学校を指定し、平成26～29年度の4年間にわたって、中学校区別に授業力向上、特色ある取組等を研究テーマに学力向上につながる教育活動に継続的に取り組んでいる。本年度は、各中学校区による研究授業・研究発表が行われ、中学校区ごとに小中学校の共通理解が図られている。今後、小学校の研究発表も実施され、長期間の研究成果を中学校別にまとめ、市内全幼稚園、小学校、中学校という11年間を見通した学力向上推進の研究成果を念ずる。また、児童・生徒の能動的、主体的な授業、適正な絶対評価、ICT機器の効果的な活用等、研究視点を明確にし、全教職員が一体となって推進する体制をつくり上げることを期待する。
- 教職員研修では、学習指導要領の重点事項や、全国学力・学習状況調査等から見られる今日的な課題、さらに学校だけでは解決できない子どもたちを取り巻く教育課題を踏まえ、夏季休業中に研修として9講座を実施し、のべ414名の教職員が参加している。また採用6年目までの教員に、基礎的資質に関する研修を行うとともに、2年目教員を対象とした「指導教諭模範授業研修」、初任者・10年経験者を対象とした合同授業研究を実施するなど、それぞれのキャリアに応じた課題をテーマに教職員の資質向上が図られている。教職員の授業力向上、資質向上は重要課題であり、今後さらに効果のある取組みを推進されたい。
- 市内の幼稚園、小学校、中学校の教職員をはじめ、保護者・地域の方々が一堂に会し、道徳の授業づくり、子どもたちの豊かな心の育成をテーマに藤井寺市教育フォーラムを開催したことは、大いに評価できる。研究授業では、家族の大切さについて、講演会では、絵本を通して、豊かな心を育むことについて、参加者が一体となつてともに考える機会となり、教職経験の少ない教職員が増えている中、有意義であったと思われる。今後も、子ども理解を進めながら、多様な教育課題がある中、授業づくり指導方法の改善をめざし、このような取組みを進め、市全体で教職員の指導力向上を図られたい。
- 全小学校の5年生を対象に、「ゆめ・心のプロジェクト ドリーム・プレゼンター学校派遣事業」を実施し3年目となる。自分の夢・志をかなえた人や自分の夢や志を追い求めて努力することの大切さを伝えることができる人を講師として招聘し、講演をいただく教育活動となっている。本物の学びを体感する機会となり、講師のメッセージが子どもたちに伝わり、夢や希望を持ち、学ぶことへの関心を高め、豊かな人間性や社会性を身に付けるとともに、未来を切り拓いていく素地を養える機会になるものと思われる。今後も継続し、子どもの夢を持つ心の育成の充実に努められたい。
- 藤井寺ジュニア防災リーダー育成事業では、市内中学生を対象に、講義や訓練等の体験学習を通して、防災に関する知識や技能を習得し、災害対応能力を身に付け、「自分の命は自分で守る」という責任感・自尊感情を高めるとともに、他者を思いやる心や郷土を守る気持ち（郷土愛）を育む取組みは、今年度で4年目となる。参加者が、学んだことを各学校で紹介し、学校生活の中で万が一の際、自ら行動を起こす意識が育まれているこの藤井寺ジュニア防災リーダーの育成事業実施の意義は大きい。

- 市内の幼稚園が併設されている小学校との間で、園児・児童、教職員が連携を深め、計画的に交流事業を実施することは、いわゆる小一プロブレムの防止につながり、また、小学校においても人間性や社会性の育成につながるものと思われる。道明寺こども園開園に向けて関係する幼稚園と保育所で、質の高い幼児教育に向けた取組みが進められたことは重要なことである。今後、取組みの成果と課題を市全体で確認し、市内幼稚園教育の活性化・教育の質の向上をめざした取組みを進めていただきたい。
- 学校がスクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーと連携し、不登校や様々な家庭環境に起因する課題、児童・生徒の人間関係作り等において、効果的に支援や対応をしなければならぬ状況が増加している。平成26年度より、市独自でスクールソーシャルワーカーを配置し、いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等、生徒指導上の課題に対して、児童・生徒の置かれた様々な環境に働きかけ、関係機関とも連携を図り、個別支援を継続的に行うことができたと聞いている。今後、ますます学校現場において、スクールソーシャルワーカーの必要性が高まることが十分に予想され、さらなる事業の拡充を図ることを望む。
- 藤井寺市いじめ問題対策連絡協議会および藤井寺市立学校いじめ問題専門委員会が本年度より開催された。各学校が、藤井寺市いじめ防止基本方針・学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を適切に行うよう幅広い視点から協議・審議が行われている。いじめは、どんなことがあっても許されないという意識を教職員や児童生徒をはじめ市民全体がもち、関係機関との連携も強化し、いじめの根絶に向けてねばり強く取り組まれるよう、今後も事業の充実を図りたい。
- 「アクティブ・ラーニング」の授業形態の推進が喧しく語られる中、2小学校を研究指定し、タブレットを活用した双方向型・協働型の授業研究に取り組まれている先行的な研究推進を図ることに敬意を表する。研究指定された学校においては、児童が課題解決のため、主体的な学習を行えるよう研究を進め、研究成果を市内全体で共有し、各学校におけるICT機器を効果的に活用した授業が行われ、児童・生徒の学力向上につながるよう取組みを進めていただきたい。中学校のICT活用授業の充実も大きな課題と考えられ、環境整備に取組む必要がある。
- 各小・中学校を代表する英語教育推進委員会を組織し、小・中学校が連携した系統的な授業づくりを進めたこと、外国人指導助手（ALT）を2名増員し、2小学校への常駐配置、中学校における活用の機会の増加による英語教育の充実に取り組んだこと、また、中学校英語教諭による小学校での外国語活動の授業による小・中学校間の段差の解消等に努め、その成果を市全体に広めたことは、藤井寺市の英語教育の充実に向けての効果的な取組みである。豊かな語学力、コミュニケーション能力、主体性、積極性、異文化理解の精神等を身に付け、様々な分野で活躍できるグローバルな人材育成が、今後重要となってくる。ぜひ、小・中学校段階で少しでも多くの児童生徒が英語に興味を持ち、また、英語教育を通し、国際理解が進展するよう、さらなる充実を図っていただきたい。
- 古市古墳群の世界遺産登録を推進している藤井寺市は、児童・生徒がわがまち藤井寺市の文化財に触れ、市独自で作成した「世界遺産学習ノート」を用いて、「郷土に誇りを持つ」「郷土を愛する心を育てる」ことをねらいとした参加体験型の世界遺産学習を進めている。文化財保護課学芸員による出張授業や、観光ボランティア協力による市内「古墳めぐりフィールドワーク」など、いわば専門家が取組みについて支援する学習は、大きな教育効果が期待でき、地域の活性化や子どものアイデンティティの醸成も期待できる取組みとなっている。中学校においても、小学校から継続した取組みとして、英語リーフレットを活用した学習活動を始められた。今後は、小学校での学習を基盤に、中学校における世界遺産学習の取組みが充実するよう期待する。

施 策 名	13 成人教育団体の育成
-------	--------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(3) 行政活動への市民参加の拡大	所 管 課	生涯学習課
	主要施策	1) 市民活動への支援の充実		
平成 27 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市立学校園PTA連絡協議会の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動の振興を図ることを目的として、藤井寺市立学校園PTA連絡協議会に238,000円の補助金を交付した。</li> <li>・市立学校園PTA連絡協議会の主催で、9月5日(土)の教育講演会「夢への旅路～一歩を踏み出す勇気～」を事務助成した。講師として、シンガーソングライター 作田 雅弥 氏を招き実施した。作田氏は、高校時代にバンド活動を始められ、その後、大学在学中に独学でピアノとコンピューター音楽を始められた。学業と音楽活動の両立など、保護者の方々にとって示唆に富んだ講演内容であった。保護者・教職員を含め134名の参加があった。</li> <li>・各部会では、講演会「こどもの自立を支えるための学校・保護者・地域の役割」、大阪市阿倍野防災センター施設見学、進路研修会等の取組みがあった。</li> </ul> </li> <li>●藤井寺市連合婦人会の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤井寺市連合婦人会の振興を図るために100,000円の補助金を交付した。</li> <li>・藤井寺市連合婦人会は年間を通じて編物及びりフォーム教室を実施し、毎回11～25名の参加があった。また、12月12日～13日に作品展示を行った。</li> <li>・11月にみそ作り講習会を実施し、57名の参加があった。事務局として企画運営に関する助言を行った。</li> </ul> </li> <li>●ふれあいカフェの運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>1階喫茶コーナーを有効活用し、市民が世代を問わず、集え、交流しあえる場としてボランティアの方々の運営による「ふれあいカフェ」を平成22年7月開設した。6年目を迎えた今年度は一日の利用者が100名を超える日が多く盛況であった。また、市内小中学校に総額98万円の備品を寄贈された。</li> </ul> </li> <li>●識字・日本語教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国籍等を問わず、文字の読み書きや日本語を学びたい人を対象に学ぶ機会を提供するため、「藤井寺市識字・日本語施策推進指針」に基づくマニュアルにより実施した。(24回：44名受講)</li> <li>・日本語学習者2名と識字学習者1名が参加した。</li> <li>・識字学習者に対しては、小学生用の漢字学習教材等を使用し、ボランティアによる学習指導を行った。また、日本語学習者に対しては、日本語学習教材等を使用し、ボランティアによる学習指導を行った。</li> </ul> </li> </ul>			

点 検 及 び 評 価

- 市立学校園PTA連絡協議会の活動
 

事業に補助金を交付することにより、家庭教育の充実と各地域での青少年健全育成活動を行うPTA活動の振興が図られ、子どもを取り巻く社会情勢、友だちとの関わり、子どもの自立に向けてのそれぞれの立場での役割、防災、進路等、子どもの教育について理解を深めることができ、活動に役立ったとの声があった。
- 藤井寺市連合婦人会への支援
  - ・女性対象教室事業に補助金を交付することにより、市内の女性の地位と教養を高め、明るい地域づくりのための活動を推進している藤井寺市連合婦人会の振興が図られた。
  - ・平成26年度まで行われていた、廃油を使用した石けんとホウ酸を使用したゴキブリ団子作りに代わる講座を考案し、今後の婦人会活動を活性化させていく。
- ふれあいカフェの運営
 

施設の利用者や市民の方々に大変好評を得ており、市民の交流の場、市民の憩いの場として開設目的を達成している。
- 識字・日本語教室
  - ・日本語学習者2名と識字学習者1名、熱心に取り組みました。ボランティアの方も、親身になって穏やかな態度で学習支援にあたっていただき、学習者の意欲は高まっている。
  - ・市民への周知については、市広報への掲載回数を増やしていきたい

成 果 指 標	平成26年度実績	平成27年度目標値	平成27年度実績
学校園PTA連絡協議会教育講演会参加者数	150名	200名	134名

施策名	14 図書館ボランティアの育成
-----	-----------------

総合計画における位置付け	節名称	(3) 行政活動への市民参加の拡大	所管課	市立図書館
	主要施策	1) 市民活動への支援の充実		

平成 27 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの読書推進のため、おはなし会の語り手を養成する講座を開催           <ul style="list-style-type: none"> <li>①ストーリーテリング入門講座（全4回）受講生 20名</li> <li>②ストーリーテリング指導者研修会（全3回）受講生 75名 （決算額：69,000円） 「藤井寺市ボランティアサークルおはなしころりん」人数 36名</li> </ul> </li> <li>●視覚障がい者への読書支援としての朗読ボランティア養成           <ul style="list-style-type: none"> <li>①朗読講習会（中級）（全10回）受講生 140名</li> <li>②朗読講習会（専門）（全10回）受講生 263名 （決算額：240,000円） 「藤井寺市朗読の会ひびき」人数 34名</li> </ul> </li> </ul>																	
	<p style="text-align: center;"><b>語り手派遣回数</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>語り手派遣回数</td> <td>185</td> <td>190</td> <td>218</td> <td>215</td> <td>194</td> <td>215</td> <td>229</td> <td>233</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 平成 27 年度 派遣先及び派遣件数の内訳 市内幼稚園 45 回・市内小学校 72 回・市内保育園（私立を含む）42 回・老人介護施設 23 回・子育て支援グループ 14 回・その他 37 回</p>	年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	語り手派遣回数	185	190	218	215	194	215	229
年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27										
語り手派遣回数	185	190	218	215	194	215	229	233										

点検及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの読書推進のため、おはなし会の語り手を養成する講座を開催 平成 27 年度は、新たな語り手ボランティアを養成するため入門講座を開講した。また、指導者研修会では、辻村千良子氏（児童読書活動指導講師）を招聘し、語り手に必要な知識を深める研修を行った。</li> <li>●視覚障がい者への読書支援としての朗読ボランティア養成 朗読ボランティアには、視覚障がい者を対象とした録音図書・雑誌製作や対面朗読をはじめとした障がい者サービスに協力をいただいているほか、「紙芝居と絵本の読み聞かせ」や図書館行事などの児童向けの事業にも協力いただき、市民への読書支援に大きく貢献していただいている。 しかし、主要メンバーの高齢化やデジタル録音環境への移行もあり、新しいメンバーを確保することが急務である。平成 27 年度の朗読講習会（中級）では、受講生 16 名中 14 名が修了し、うち 13 名が上級へ昇級する。3 年という長期にわたる研修では、それぞれの事情により継続をあきらめざるを得ないこともあるため、次サイクルからは講習会の密度を上げ、2 年で修了することができるようにする必要がある。今後はできるだけ職員がボランティア団体の総会に参加することで、団体の活性化を図り連携を深めていく。</li> </ul>
--------	---

成果指標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
語り手及び朗読ボランティア人数	73 名	80 名	70 名

施 策 名		1 5 地域青少年教育の推進		
総合計画 における 位置付け	節 名 称	(3) 行政活動への市民参加の拡大	所 管 課	生涯学習課
	主要施策	1) 市民活動への支援の充実		
平成 27 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>●藤井寺市こども会育成連絡協議会への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの健やかな成長と、青少年の健全育成を推進する団体として、藤井寺市こども会育成連絡協議会に補助金を交付するとともに、活動の充実に向けた支援を行った。</li> <li>・当該協議会には、未加入の子ども会も多く、協議会への理解を深めるため、広報紙を発行し、周知、勧誘活動に努めている。</li> <li>・また、市教育委員会と当該協議会で共催し、中学生リーダー養成事業（中学生クラブ）、及び小学生リーダー養成事業（小学 5～6 年生、小学生クラブ）を実施した。述べ参加人数は、前者 76 名、後 87 名となっており、年度末には合同で参加者ファイナルキャンプを実施した。（参加者 16 名）</li> <li>・その他、当該協議会が会議を行う際に、生涯学習センターの部屋や備品を提供するなど、協働により事業実施を行っている。</li> </ul> </li> <li>●藤井寺市青少年リーダー協議会への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該協議会は、市教育委員会や市こども会育成連絡協議会などが行う各種事業において、指導協力を行っている。その他、地域の子ども会（単位子ども会）事業に対しても指導者として参加協力を行うなど、多岐に渡り、本市の青少年教育に貢献している。</li> <li>・また、当該協議会は、青少年指導者養成講習会の修了者が実践活動をおこなう際の受け皿となっており、会議室や備品の提供等の事業協力を通じて連携しながら事業を進めている。</li> </ul> </li> </ul>			
点 検 及 び 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●藤井寺市こども会育成連絡協議会への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習塾やスポーツ活動への参加など、子ども達の学校外活動の変化、また、保護者も共働き世帯が多くなっており、育成会への協力が難しくなっていることから、地域の子ども会（単位子ども会）数の減少及び加入率の低下は大きな課題になっている。しかしながら、地域を基盤にした子ども達の自治、親睦活動も子ども達自身の成長に欠かせない要素であることから、市こども会育成連絡協議会と協働して、子ども会活動の魅力についてPRしていく必要がある。</li> <li>・市こども会育成連絡協議会（市こ連）は、地域の子ども会（単位子ども会）の活動支援が大きな目標であるので、このことを踏まえ、単位子ども会を起点とした子ども会活動の在り方を検討する必要がある。</li> <li>・市こ連に加盟する単位子ども会数の減少もあり、成果指標として掲げた目標値には達することが出来なかったが、これ以外にも市こ連として行った単位子ども会に対する各種支援が、充実した単位子ども会活動に寄与した側面があり、一定の成果が得られたものと評価できる。</li> </ul> </li> <li>●青少年リーダー協議会への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年リーダー協議会は、高校生から社会人の青少年活動の指導者で構成される協議会であるが、子ども達への指導を通じて青少年の健全育成活動に取り組んでいる。</li> <li>・同団体は、市と協働で各種事業に取り組んでいるが、独自事業を実施するなどの活動もしている。こうした団体の自立性を確保したうえで、良好なパートナーシップ関係を築いていく必要があると思われる。</li> </ul> </li> </ul>			
成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績	
市こ連全事業参加子ども数	141 名	200 名	163 名	

施 策 名	16 地域教育推進連絡会の活動
-------	-----------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(3) 行政活動への市民参加の拡大	所 管 課	学校教育課
	主要施策	2) 市民主体による行政活動の仕組みの整備		

平成 27 年度実績	<p>●地域教育推進連絡会の活動</p> <p>各小・中学校区で地域教育推進連絡会を組織し、地域と学校をつなぐ活動等を企画し、連携を深めるための事業を実施した。</p> <p>校区フェスティバル、緑化・美化活動、学校図書館の環境整備、見守り活動、学校施設の開放等、子どもたちのために地域・学校・保護者が力を結集し、児童・生徒が参加する活動を中心に三者協力のもと企画し実施した。</p>																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>主な活動事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藤井寺小学校</td> <td>緑化活動・見守り活動・学校図書館の開放 「わくわくランド」・土曜開放</td> </tr> <tr> <td>藤井寺南小学校</td> <td>にこにこタイム・「にこにこフェスティバル」 昔遊び教室・校庭の芝生化維持管理</td> </tr> <tr> <td>藤井寺西小学校</td> <td>運動場・図書室・学習室土曜開放(年間) 校庭の芝生化維持管理 「ディスクゴール大会」・「ドッチビー大会」</td> </tr> <tr> <td>藤井寺北小学校</td> <td>縄跳び指導・エアロビクス体験 お話会・「藤北フェスタ」</td> </tr> <tr> <td>道明寺小学校</td> <td>「道小フェスティバル」 昔遊び指導</td> </tr> <tr> <td>道明寺東小学校</td> <td>「子どもネットワークフェスティバル」 見守り活動・縦割り地域清掃活動</td> </tr> <tr> <td>道明寺南小学校</td> <td>日本文化を学ぶ授業 「道南っ子まつり」・土曜日学校開放</td> </tr> <tr> <td>藤井寺中学校</td> <td>「ふじねっとプラザ」・クリーンアップ大作戦 花いっぱいプロジェクト・学校図書館整備</td> </tr> <tr> <td>道明寺中学校</td> <td>美化活動・学習支援・見守り活動 学校図書館環境整備</td> </tr> <tr> <td>第三中学校</td> <td>「三中フェスタ」・緑化活動・清掃活動 学校図書館環境整備</td> </tr> </tbody> </table>				学校名	主な活動事業内容	藤井寺小学校	緑化活動・見守り活動・学校図書館の開放 「わくわくランド」・土曜開放	藤井寺南小学校	にこにこタイム・「にこにこフェスティバル」 昔遊び教室・校庭の芝生化維持管理	藤井寺西小学校	運動場・図書室・学習室土曜開放(年間) 校庭の芝生化維持管理 「ディスクゴール大会」・「ドッチビー大会」	藤井寺北小学校	縄跳び指導・エアロビクス体験 お話会・「藤北フェスタ」	道明寺小学校	「道小フェスティバル」 昔遊び指導	道明寺東小学校	「子どもネットワークフェスティバル」 見守り活動・縦割り地域清掃活動	道明寺南小学校	日本文化を学ぶ授業 「道南っ子まつり」・土曜日学校開放	藤井寺中学校	「ふじねっとプラザ」・クリーンアップ大作戦 花いっぱいプロジェクト・学校図書館整備	道明寺中学校	美化活動・学習支援・見守り活動 学校図書館環境整備	第三中学校	「三中フェスタ」・緑化活動・清掃活動 学校図書館環境整備
	学校名	主な活動事業内容																								
	藤井寺小学校	緑化活動・見守り活動・学校図書館の開放 「わくわくランド」・土曜開放																								
	藤井寺南小学校	にこにこタイム・「にこにこフェスティバル」 昔遊び教室・校庭の芝生化維持管理																								
	藤井寺西小学校	運動場・図書室・学習室土曜開放(年間) 校庭の芝生化維持管理 「ディスクゴール大会」・「ドッチビー大会」																								
	藤井寺北小学校	縄跳び指導・エアロビクス体験 お話会・「藤北フェスタ」																								
	道明寺小学校	「道小フェスティバル」 昔遊び指導																								
	道明寺東小学校	「子どもネットワークフェスティバル」 見守り活動・縦割り地域清掃活動																								
	道明寺南小学校	日本文化を学ぶ授業 「道南っ子まつり」・土曜日学校開放																								
	藤井寺中学校	「ふじねっとプラザ」・クリーンアップ大作戦 花いっぱいプロジェクト・学校図書館整備																								
道明寺中学校	美化活動・学習支援・見守り活動 学校図書館環境整備																									
第三中学校	「三中フェスタ」・緑化活動・清掃活動 学校図書館環境整備																									

点 検 及 び 評 価	<p>●地域教育推進連絡会の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は、さらに組織的な活動を実施し、これまで以上に学校・保護者・地域が一体となって、子どもたちの健全育成を図るための事業の拡充を進めることが重要である。</li> <li>・ 「学力向上、学力保障」・「生活指導」に関して、学校を軸にして『学校・家庭・地域』が連携を強め、子どもたちにどのような支援ができるのか、各学校の実態、主体性等を尊重した新たな活動を検討し、進めていくことが求められる。</li> </ul>			
-------------	--	--	--	--

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
校区フェスティバル参加人数地域	437 人	500 名	755 名



### (3) 行政活動への市民参加の拡大【学識経験者の意見】

- 図書館ボランティアの人数が前年に比べて減少しており、平成27年度目標値を達成していない。メンバーの高齢化の影響であると思われる。今後、魅力ある活動内容や、PRの工夫などボランティア団体への支援に努められたい。
- 「ふれあいカフェ」は、ボランティアによる喫茶サービスで、来館者に安価なコーヒー等を提供している。こうしたサービスコーナーは、来館者の憩いの場として、また、市民の交流の場としても大きな役割を果たしており、施設の魅力向上につながっているものと窺える。また、「ふれあいカフェ」は、市民有志による完全なボランティアで運営されているとのことで、ボランティアの皆様へ、心から敬意を表したい。平成27年度には、コーヒー等の売上金で備品を購入し、市内小・中学校に寄贈されたとある。シニア世代のボランティアが多いと聞くと、次代を担う子どもたちへのこうした奉仕の心情に深く感謝したい。
- 識字・日本語教室は、生活に必要な基礎的な学びの場として、また、文字の読み書きや日本語を学びたい人の学習の場として重要である。今は参加者数としては多くはないが、今後、グローバル化の進展とともに、増加することも考えられる。さらに工夫を重ねながら、こうした学習機会の充実を図られたい。
- 子ども会の加入率の減少や子ども会自体の組織数の減少は、少子化やライフスタイルの変化等、様々な要因が考えられ、これを向上させることは難しいと考えられる。しかし、こうした社会的状況の中にあっても、子ども会の意義や必要性を伝えていくことは大切である。子ども会の育成者を支援し、ニーズの調査や、魅力的な活動を考える等、継続した活動が展開できるようこれからも努められたい。
- 青少年リーダー協議会は、市の事業への協力のみならず、独自事業を展開しているということで、市の青少年健全育成に貢献していただいているものと考えられる。今後は補助金交付だけでなく、各青少年健全育成団体が自主的に活動を展開するなかで、市との共催、事業協力、情報交換といったスタイルで協働していくことが検討課題である。
- 各小・中学校において地域教育推進連絡会が組織され、地域と学校をつなぎ、連携を深めるために、校区フェスティバルや、緑化・美化活動、学校図書館の環境整備などの活動を実施していることは、非常に有意義である。学校を核とした地域力強化の仕組みづくりと地域の活性化につながる多様な取組みを進めることで、市全体で地域の将来を担う子どもたちの育成を図ることにつながっていると評価する。新たな課題も出てくると考えられるが、学校・家庭・地域がともに課題を共有し、課題解決に向け連携を強め、子どもたちへの支援が地域ぐるみで取り組まれるよう、体制を整え、主体的な活動の推進を今後も図っていくことが必要である。

施 策 名	17 施設の適切な維持補修
-------	---------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(4) スポーツを通じたコミュニティの活性化	所 管 課	スポーツ振興課
	主要施策	1) 時代ニーズに対応したスポーツ施設の整備		
平成 27 年度実績	<p>●施設の修繕</p> <p>本市が管理する各種スポーツ施設のうち、経年劣化の著しい部分について、順次修繕を行い、利用者のよりよいスポーツ活動の環境作りのための整備を行った。</p> <p><b>【屋外体育施設】</b></p> <p>①臨時駐車場地盤改良 (決算額： 216,000 円)</p> <p>②草刈機点検修理 (決算額： 301,805 円)</p> <p>③その他緊急修繕 (決算額： 376,208 円)</p> <p><b>【屋内体育施設】</b></p> <p>①競技場放送設備改修 (決算額： 1,603,562 円)</p> <p>②市民プール損傷部補修 (決算額： 151,200 円)</p> <p>③消防設備不良箇所改修 (決算額： 361,908 円)</p> <p>④トレーニング器具保守点検後修理 (決算額： 198,331 円)</p> <p>⑤その他緊急修繕 (決算額： 750,586 円)</p> <p>●施設の整備</p> <p>・体外式自動除細動器 (AED) 2 台 (決算額： 637,200 円) 川北市民スポーツ広場及び津堂市民野球場にAEDを設置</p> <p>・ニューステップマシン 2 台 (決算額： 1,934,280 円) 日本スポーツ振興センター振興くじ助成金を活用し、市民総合体育館トレーニングルーム内にニューステップマシン 2 台を購入 (助成額： 1,520,000 円)</p> <p>●藤井寺市公共施設マネジメントの推進</p> <p>藤井寺市公共施設マネジメント推進のため、市民総合体育館等、対象施設の現況調査と課題項目の整理を行った。</p> <p>また、同マネジメント推進担当課による庁内会議に出席し、公共施設総合管理計画及び公共施設保全計画の策定、並びに公共施設の自主点検項目に対する意見交換にも参画した。</p>			

点 検 及 び 評 価

●施設の修繕

各項目に関しては、平成 27 年度当初予算によるもの及び緊急修繕料により実施した。  
 今後ともあらゆる箇所で破損、故障が生じることが予想されるので、全スポーツ施設を再度点検し、優先順位を設けながら計画的な施設の整備を実施していく。

●施設の整備

川北市民スポーツ広場及び津堂市民野球場に体外式自動除細動器（AED）を設置した。  
 この 2 個所の施設は、いずれも硬式野球競技の練習や試合会場として使用しているグラウンドであり、使用球の性質上他の種目よりも事故発生率が高いと判断し、AEDを設置した。  
 今後にも必要に応じてAEDの設置を検討していく。

日本スポーツ振興センター振興くじ助成金を活用し、大型備品（ニューステップマシン 2 台）を購入した。  
 今後も継続してスポーツ施設・設備の改修や整備に向けて計画的に実施するとともに、その経費削減手段として特定財源の確保に努める。

●藤井寺市公共施設マネジメントの推進

藤井寺市公共施設マネジメントを推進していくにあたり、一元化管理の対象となっている施設と対象外の施設の双方に対し、改修や修繕の必要な施設並びに設備にかかる現状把握と今後の取り組み方法を継続協議するとともに、公共施設総合管理計画及び公共施設保全計画に基づき長期的に施設を維持管理していくための自主点検業務を行っていく。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
施設・設備整備計画書上の整備達成率 (%)	65.0	100	57.8

施 策 名		18 スポーツ推進委員会との協働		
総合計画 における 位置付け	節 名 称	(4) スポーツを通じたコミュニティの活性化	所 管 課	スポーツ振興課
	主要施策	2) 総合型地域スポーツクラブの育成		
平成 27 年度実績		<p>●各種事業における相互協力 スポーツ振興課が関連する事業について、年間を通じてスポーツ推進委員会等と相互協力を図りながら円滑な運営を行った。</p> <p>○スポーツ推進委員会主催事業</p> <p>①「Fujiりんぴっく2015」 開催日：平成27年5月10日(日) スポーツ推進委員会が主催する小学生を対象とした陸上競技記録会の開催に際し、その運営協力を行った。参加者：218名</p> <p>②「体力テスト」 開催日：平成27年10月18日(日) スポーツ推進委員会が主催する市民を対象とした「体力テスト」の開催に際し、その運営協力を行った。参加者：81名</p> <p>○スポーツ推進委員会運営協力事業</p> <p>①「ふじいでらノルディックウォーキング講習会」 開催日：平成27年4月18日・11月23日(祝)・28日(土)・29日(日) 市民を対象としたノルディックウォーキング講習会を開催し、スポーツ推進委員会の協力のもと、参加者の安全確保を含めた事業運営を行った。 4回開催 参加者：71名</p> <p>②「藤井寺市民ニュースポーツフェスタ」 開催日：平成27年11月8日(日) 藤井寺市民スポーツフェスティバル実行委員会が主催する市民ニュースポーツフェスタの開催に際し、スポーツ推進委員会と共にその運営協力を行った。参加者：311名</p> <p>③「藤北チャレンジクラブ」 開催日：平成27年10月26日(月)・11月30日(月)平成28年1月18日(月) 藤井寺北小学校が毎年開催している「藤北チャレンジクラブ」の開催に際し、スポーツ推進委員にニュースポーツの指導の講師として派遣依頼し、スポーツ推進委員とともに、藤井寺北小学校の児童30名に対し、ペタンク、キンボール、グラウンドゴルフの計3回のニュースポーツ指導を行った。</p> <p>④「南大阪駅伝競走大会」 開催日：平成28年2月7日(日) 南河内地区市町村教育委員会が主催する南大阪駅伝競走大会を開催し、スポーツ推進委員会の協力を得て、他市町村との連携を図りながら大会の式典全般及び総合的な運営を行った。</p> <p>⑤「2016 藤井寺市民マラソン大会」 開催日：平成28年1月17日(日) 市民マラソン大会の開催に際し、その後援団体であるスポーツ推進委員会と相互協力を図りながら参加者の安全確保を含めた事業運営を行った。 参加者：1,013名</p> <p>⑥その他委員の資質向上のため、各種研修会や実技講習会等の開催情報をスポーツ推進委員会に提供し、自主的に参加するよう促した。</p> <p>○藤井寺市スポーツ推進委員(定数：15名以内) 平成27年度の委員：15名(内、男性7名、女性8名)</p>		
点 検 及 び 評 価		<p>●各種事業における相互協力 生涯スポーツの普及・振興を目的として、スポーツ推進委員が年間を通じて従事している活動内容は多岐にわたり、各種事業における市との協働体制も充実している。 今後も事業を実施する際には、その事業の企画段階からスポーツ推進委員の積極的な参画を促し、スポーツ推進委員会のますますの充実を図るとともに、委員個々のリーダーとしての自覚を促す。</p>		

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
スポーツ推進委員会主催事業への参加者数(名)	241	280	299

施 策 名	19 小・中学校体育施設の開放
-------	-----------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(4) スポーツを通じたコミュニティの活性化	所 管 課	スポーツ振興課
	主要施策	2) 総合型地域スポーツクラブの育成		

平成 27 年度実績	<p>●学校体育施設の開放</p> <p>市内小・中学校の体育施設（運動場 10 校・屋内運動場 10 校）を開放し、市民で構成されたスポーツ・レクリエーション団体が、年間を通じて使用した。</p> <p>運動場：土、日、祝日を開放。36,114 名が使用。</p> <p>屋内運動場：平日の夜間及び土、日、祝日を開放。57,301 名が使用。</p>																							
	<p style="text-align: center;"><b>小・中学校体育施設年間利用者</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H.23</th> <th>H.24</th> <th>H.25</th> <th>H.26</th> <th>H.27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用者数 (名)</td> <td>112,678</td> <td>106,032</td> <td>102,413</td> <td>103,669</td> <td>93,415</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"><b>小・中学校体育施設開放登録団体</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H.23</th> <th>H.24</th> <th>H.25</th> <th>H.26</th> <th>H.27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録団体数</td> <td>88</td> <td>86</td> <td>86</td> <td>88</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table>		H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	年間利用者数 (名)	112,678	106,032	102,413	103,669	93,415		H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	登録団体数	88	86	86	88
	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27																			
年間利用者数 (名)	112,678	106,032	102,413	103,669	93,415																			
	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27																			
登録団体数	88	86	86	88	81																			

点 検 及 び 評 価	<p>●学校体育施設の開放</p> <p>市内の小・中学校の体育施設を有効利用し、地域のスポーツ愛好者（団体）が自主的にスポーツ活動を行う場を提供することができた。また、そのことにより、地域住民のスポーツの活性化と相互のコミュニケーションづくりに役立てることができた。</p> <p>平成 22 年度以降、耐震補強工事等により、一定期間開放使用ができない学校体育施設があったことに加え、既存の開放使用団体が解散したことにより、利用者数及び登録団体数も過年度と比較して減少しているものの、地域のスポーツ活動団体にとっては、学校体育施設がスポーツ活動の拠点となっていることに変わりはなく、以前そのニーズの高さがうかがえる。</p>
-------------	---

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
小・中学校体育施設年間利用者数 (名)	103,669	105,000	93,415

施 策 名	20 各種スポーツ事業の展開
-------	----------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(4) スポーツを通じたコミュニティの活性化	所 管 課	スポーツ振興課
	主要施策	2) 総合型地域スポーツクラブの育成		

平成 27 年度実績	<p>●トレーニング講習会の開催 腰痛、肩こり予防のためのトレーニング方法やメタボリック症候群予防、解消のためのトレーニング方法など専門トレーナーによる講習会を開催した。 (年3回開催 講習会参加者：43名)</p> <p>●トレーニング相談会の開催 市民総合体育館トレーニングルームを日常利用している市民を対象として、一定の時間専門トレーナーを常駐させ、トレーニング方法などの個人相談を受け付けた。(年4回開催 相談依頼者：11名)</p> <p>●ふじいでらノルディックウォーキング講習会の開催 年間4回にわたり、市民を対象としたノルディックウォーキング講習会を開催した。 日本ノルディックウォーキング協会専門トレーナーの指導により基本的な歩き方の練習の後、市内約4kmのコースを参加者全員でウォーキングを実施した。 (年4回開催 参加者：71名)</p> <p>●市民総合体育大会の開催 市民が気軽に参加することができるスポーツ事業の普及促進を目的として、9月6日～10月17日の間、バレーボール、野球などの17種目で市民総合体育大会を開催した。(主催：藤井寺市体育協会 後援：藤井寺市教育委員会、藤井寺市) (参加者：2,949名) また、総合閉会式後に、料理研究家の足立敦子氏を講師としてお招きし、「食べ方上手は生き方上手」というテーマによる特別講演を開催し、多くの参加者を得ることができた。</p> <p>●藤井寺市民マラソン大会の開催 市民の健康と体力の向上を図り市民相互の親睦を図ることを目的として、「2016藤井寺市民マラソン大会」を石川河川敷サイクルロードを利用して開催した。(主催：スポーツフェスティバル実行委員会、藤井寺市教育委員会、藤井寺市) (参加者：1,013名)</p>															
	<p style="text-align: center;"><b>市民総合体育大会参加者</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H.23</th> <th>H.24</th> <th>H.25</th> <th>H.26</th> <th>H.27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◆大会参加者(名)</td> <td>4,051</td> <td>4,027</td> <td>3,139</td> <td>3,170</td> <td>2,949</td> </tr> </tbody> </table>						H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	◆大会参加者(名)	4,051	4,027	3,139	3,170
	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27											
◆大会参加者(名)	4,051	4,027	3,139	3,170	2,949											

点 検 及 び 評 価

- トレーニング講習会の開催  
 基本的な講習内容が腰痛予防あるいは肩こり防止など日常生活に密接に関わっている身体の問題であることから受講者の関心も高く、ほぼ予定していた受講人数となっている。  
 今後も継続して進めていく。
  - トレーニング相談会の開催  
 トレーニングルームを日常的に活用している市民を対象としているため、相談依頼者数は少ないものの、一定の時間帯ではあるが、専門トレーナーが常駐していることに対しては利用者から高評価を得ている。  
 これまで4回とも同じであった相談会の実施曜日を、すべて異なる曜日に変えたことにより、幅広い利用者に相談会を実施することができた。
  - ふじいでらノルディックウォーキング講習会の開催  
 昨年度までは、年間を通じて8回の講習会を開催していたが、ノルディックウォーキングの基礎的な歩き方を学ぶ段階においては、ある一定の効果が達成できたと判断し、今年度からは講習会の回数を年4回とした。  
 参加された市民からは、高評価を得ることができた。  
 また、文化財保護課職員の協力を得て、ウォーキングコース途中の古墳や史跡に関する歴史や言い伝えなど、参加者に興味を持っていただけるよう、同職員による説明をコース途中ではさみながらのウォーキングを実施した。  
 平成28年度以降も継続して実施していくにあたり、高齢者等、膝の悪い方にも行っていただけるノルディックウォーキングの特徴を活かして、市民の健康志向に少しでも貢献できるようにウォーキングコース等の内容の更なる充実を図っていく。
  - 市民総合体育大会の開催  
 市民総合体育大会については前年度と比較して参加者数が減少した。  
 平成28年度以降についても継続的に体育協会と協議を図るとともに、参加者数の増加を図るため、各種目の参加部門等の検討を行っていく。
  - 藤井寺市民マラソン大会の開催  
 「2016 藤井寺市民マラソン大会」については、体育協会会員、スポーツ推進委員及び教育委員会各課職員の協力を得て、無事開催することができた。  
 今大会の実施に際し、さまざまな反省点や改善箇所を検証し、実行委員会と協議しながらひとりでも多くの市民が気軽に参加することができるマラソン大会となるよう努めていく。  
 また、この事業については市も主催団体となっていることから、全職員を対象に更なる協力を要請していく。
- 主な反省点・改善必要箇所
- ・参加者の事故事象に対する緊急連絡体制に不備があった。  
 救護体制を再検討し、最善の処置がとれるよう情報を共有する。  
 また、指揮命令系統の混乱が起きないように、マラソン大会用危機管理マニュアルを作成する。
  - ・昨年度に引き続き、教育委員会事務局各課の職員の協力を得たが、全体的に運営スタッフの人数に余裕がなかった。  
 役割内容の再検討を行い、必要に応じて運営スタッフ数の再編成を行う。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
市民総合体育大会参加者（名）	3,170	3,500	2,949

施 策 名	21 スポーツを通じた交流事業
-------	-----------------

総合計画における位置付け	節 名 称	(4) スポーツを通じたコミュニティの活性化	所 管 課	スポーツ振興課
	主要施策	2) 総合型地域スポーツクラブの育成		

平成 27 年度実績	<p>●山添村との交流事業</p> <p>山添村との交流事業として、両市村ゲートボール協会会員による交流ゲートボール大会を藤井寺市で開催した。 (参加者：藤井寺市 23 名・山添村 44 名 計 67 名)</p> <p>少年軟式野球交流事業については、山添村の野球チームの会員が 1 名となっ てしまい、事業中止となった。</p>																													
	<div style="text-align: center;"> <p>山添村交流事業参加者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H.23</th> <th>H.24</th> <th>H.25</th> <th>H.26</th> <th>H.27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流事業参加者 (名)</td> <td>171</td> <td>132</td> <td>130</td> <td>156</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>市・村別参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藤井寺市</td> <td>79</td> <td>66</td> <td>65</td> <td>67</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>山添村</td> <td>92</td> <td>66</td> <td>65</td> <td>89</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>		H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	交流事業参加者 (名)	171	132	130	156	67	年度	H23	H24	H25	H26	H27	藤井寺市	79	66	65	67	23	山添村	92	66	65	89
	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27																									
交流事業参加者 (名)	171	132	130	156	67																									
年度	H23	H24	H25	H26	H27																									
藤井寺市	79	66	65	67	23																									
山添村	92	66	65	89	44																									
	<p>●大阪府体育連合との連携</p> <p>大阪府体育連合との共催事業である大阪府総合体育大会南河内地区大会を各市町 村体育協会の主管により実施した。(南河内地区大会参加者：1,405名)</p>																													

点 検 及 び 評 価	<p>●山添村との交流事業</p> <p>少年軟式野球交流事業に関しては、山添村の参加児童が少なくチームを構成できな くなっているのが現状である。当該事業に関しては、休止もしくは廃止の検討が必要 となる。</p> <p>また、ゲートボール交流大会に関しては逆に本市のチーム数が減少し、両市村のチ ーム数の不均衡状況が続いているものの、両市村ゲートボール協会とも交流事業に対 する継続の意思は強いことから、事業の全体的な見直しも含めて検討していく。(平 成 24 年度～平成 27 年度：藤井寺市 4 チーム 山添村 8 チーム)</p> <p>●大阪府体育連合との連携</p> <p>大阪府総合体育大会で実施される各種目に南河内地区の競技スポーツ団体が参加 することにより、スポーツを通じた広域的な相互交流を図れた。</p>
-------------	--

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
山添村交流事業の参加者 (名)	156	150	67



施 策 名	22 ニューススポーツの普及・振興
-------	-------------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(4) スポーツを通じたコミュニティの活性化	所 管 課	スポーツ振興課
	主要施策	3) ニューススポーツの普及		

平成 27 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民ニューススポーツフェスタの開催 藤井寺市民スポーツフェスティバル実行委員会主催による、「市民ニューススポーツフェスタ」を11月に開催し、そのメイン種目として、「フロアカーリング競技大会」を実施した。 また、多目的室では「吹き矢体験」、プールサイドでは「ノルディックウォーキング体験会」を実施した。(市民ニューススポーツフェスタ参加者：311名)</li> <li>●ニューススポーツの普及 年間を通じてスポーツ推進委員と連携し、市内各地域において各種ニューススポーツの指導と紹介を行った。</li> </ul>											
	<p style="text-align: center;"><b>市民ニューススポーツフェスタ参加者</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H.23</th> <th>H.24</th> <th>H.25</th> <th>H.26</th> <th>H.27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ニューススポーツフェスタ参加者(名)</td> <td>374</td> <td>379</td> <td>304</td> <td>298</td> <td>311</td> </tr> </tbody> </table>		H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	ニューススポーツフェスタ参加者(名)	374	379	304	298
	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27							
ニューススポーツフェスタ参加者(名)	374	379	304	298	311							

点 検 及 び 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民ニューススポーツフェスタの開催 誰もが気軽に参加することができるニューススポーツの事業を開催し、ニューススポーツの普及、振興が図られた。 ノルディックウォーキング体験コーナーに関しては、ふじいでらノルディックウォーキング講習会への参加啓発活動も兼ねて、ノルディックウォーキングの基礎的な歩き方の紹介を行った。 平成22年度から、市民ニューススポーツフェスタのメイン種目として実施しているフロアカーリングについては、小さな子供からお年寄りの方々まで幅広い年齢層の市民が気軽に参加することができる種目であることから、大会への参加チーム数も増加している。 また、地域の子ども会活動や、PTAの実技研修の際の種目としてフロアカーリングが用いられることも多くなり、最近では学校開放事業として、ニューススポーツを中心とした活動団体の登録実績もあることから、今後も継続して普及振興に努める。</li> <li>●ニューススポーツの普及 スポーツ推進委員の役割の中で大きな割合を占めているニューススポーツの普及を図るための地域への指導や紹介活動に関しては、今後も地域からの要望に応じて活動を続けていく。 また、市民の健康増進を図るとともに、高齢化社会に向けたスポーツコミュニティの構築を目指すためのスポーツ施策の一環として、生活に馴染むニューススポーツの導入の検討をしていく。</li> </ul>

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
市民ニューススポーツフェスタ参加者(名)	298	400	311

#### (4) スポーツを通じたコミュニティの活性化【学識経験者の意見】

- 利用者からの要望等に出来るだけ答えるべく、設備の更なる充実化に関しては、特定財源を活用しての機器類の購入に取り組まれたとともに、経年劣化等による老朽化に伴う各施設や設備の維持補修に関しては、日常的な点検作業、破損や故障箇所の改修及び修繕に取り組まれているものと思われる。

財政事情がますます厳しい状況で、その対応に苦慮される点多々ある中、可能な限り引続き利用者からのニーズ等に対して適切な取組みに努めていただきたい。

- 市民マラソン大会に関しては、復活後4回目を迎えられ、参加者数が年々増加していることから考えると市民が気軽に参加できるスポーツイベントとして定着しつつある。

今後の大会開催に際し、その後援団体等と相互協力を図り、参加者の安全を最優先にして、更なる充実を図っていただきたい。

- 多くの市民がスポーツや運動の楽しさを味わい、健康の維持、増進や、生活の充実感につながる事が健康志向の現代社会のめざすところである。そのため施設設備や運営を工夫し、体育施設の利用者の拡大に取り組まれない。

施 策 名		23 青少年指導員会の活性化																													
総合計画 における 位置付け	節 名 称	(5) 生活課題に対応した生涯学習環境の充実	所 管 課	生涯学習課																											
	主要施策	1) 社会教育関係団体の指導・育成																													
平成 27 年度実績	<p>● 青少年指導員会の活動</p> <p>・藤井寺市青少年指導員 35 名（非常勤特別職）が、地域や学校、青少年関係団体等と協力し、青少年の健全な指導育成を図るため諸活動を実施した。</p> <p>① 市内パトロールの実施</p> <p>青少年を非行から守り健全な育成を図るため、羽曳野警察署、富田林少年サポートセンター、教育委員会、小・中・高等学校や関係団体と連携し、木曜日に、放課後の時間帯に合わせ市内のパトロールを実施（年間 6 回）し、喫煙や服装等について、注意、指導を行った。また、7、8 月の夏休み期間中には、夜間パトロール（2 回）及び葛井寺・辛国神社・道明寺天満宮の夏祭等の開催時に巡視パトロールを実施した。その他、少年を守る日には、広報車両により小学校区の巡回と啓発活動を実施した（年間 4 回）。</p> <p>② 「ふじいでらかあにばる」（藤井寺市民文化祭）</p> <p>市内で文化活動を行っている青少年を中心とした団体の方が日頃の文化活動の成果を発表する場として、参加団体自らが運営委員会に参加し、また青少年指導員が企画運営を行う「ふじいでらかあにばる」を 8 月 2 日（日）に開催した。</p> <p style="text-align: center;">ふじいでらかあにばる参加団体</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>ジャンル</th> <th>出演人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>津堂城山太鼓保存会</td> <td>太鼓</td> <td>9 名</td> </tr> <tr> <td>Ks Dance Factory (K・D・F)</td> <td>ダンス</td> <td>68 名</td> </tr> <tr> <td>act☆company</td> <td>ダンス</td> <td>55 名</td> </tr> <tr> <td>藤井寺高等学校 吹奏楽部</td> <td>吹奏楽</td> <td>21 名</td> </tr> <tr> <td>ダンス・スピリッツ</td> <td>ダンス</td> <td>22 名</td> </tr> <tr> <td>対中組 J r</td> <td>ダンス</td> <td>13 名</td> </tr> <tr> <td>女盛 CREW DANCE STUDIO</td> <td>ダンス</td> <td>41 名</td> </tr> <tr> <td>藤井寺南小学校有志合唱団 コーラスアンジェリカ</td> <td>合唱</td> <td>29 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ あい・うおーくの実施</p> <p>10 月 18 日（日）に、青少年指導員会と藤井寺ライオンズクラブの共催で、藤井寺市観光ボランティアの会の協力を得ながら、道明寺小学校児童を対象として、校区内の歴史的遺産を散策する「あい・うおーく道明寺小学校」を実施した。（参加児童・保護者数 26 名）</p>				団体名	ジャンル	出演人数	津堂城山太鼓保存会	太鼓	9 名	Ks Dance Factory (K・D・F)	ダンス	68 名	act☆company	ダンス	55 名	藤井寺高等学校 吹奏楽部	吹奏楽	21 名	ダンス・スピリッツ	ダンス	22 名	対中組 J r	ダンス	13 名	女盛 CREW DANCE STUDIO	ダンス	41 名	藤井寺南小学校有志合唱団 コーラスアンジェリカ	合唱	29 名
	団体名	ジャンル	出演人数																												
	津堂城山太鼓保存会	太鼓	9 名																												
	Ks Dance Factory (K・D・F)	ダンス	68 名																												
	act☆company	ダンス	55 名																												
	藤井寺高等学校 吹奏楽部	吹奏楽	21 名																												
	ダンス・スピリッツ	ダンス	22 名																												
	対中組 J r	ダンス	13 名																												
	女盛 CREW DANCE STUDIO	ダンス	41 名																												
	藤井寺南小学校有志合唱団 コーラスアンジェリカ	合唱	29 名																												

点 検 及 び 評 価

●青少年指導員会の活動

・青少年による深刻な犯罪が発生し、子ども達自身がそうしたことに巻き込まれる事例も生じている社会実態があるなか、地域の大人がどのように子どもたちと関わるかが課題となっている。また、子ども達の地域内コミュニティの変化（地域の単位子ども会の減少、スポーツクラブや学習塾等への参加率の増加）に対応した青少年指導員活動の新しい在り方について、検討していく必要である。

①市内パトロールの実施

羽曳野警察署や富田林少年サポートセンター、関係団体、学校関係者等と協力し、定期的に市内のパトロールや街頭啓発を実施している。こうした取り組みは、青少年の非行への防止や抑止力効果の他、関係機関と情報を共有し、連携を強化する効果があると思われる。平成 27 年度は、実施時間帯や方法について検討を重ね、中学生が部活動をしている日程を避け、各中学校の試験期間に実施した。今後も、パトロール・エリアと活動時間帯について、関係機関・団体の協力を得ながら、活動の在り方を検討していく必要がある。

②「ふじいでらかあにばる」（藤井寺市民文化祭）

平成 26 年度は、荒天により開催することはできなかつたため、1 年ぶりの実施となった。企画・運営段階では、青少年健全育成を図るという本来の趣旨に立ち戻り、参加団体を青少年で構成する団体に限定するなど、これまでの内容に一定の見直しを加えて実施した。また、参加団体の多くがダンスによるものとなっているが、今後は様々な文化活動を行う団体の発表の場となるよう見直しを行っていく必要がある。

③あい・うおーくの実施

一昨年よりより多くの参加者が得られるよう実施時期や内容を変更しているが、平成 27 年度実施分では参加者数が、児童・保護者合わせて 26 名と前年に比べて減少した。しかし、事業を通じて、児童が自らの生活圏内の歴史遺産について学ぶことで、まちの魅力の再発見や郷土への愛着を持ってもらう機会になったと考えられる。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
青少年指導員会主催事業への参加者数	49 名	950 名	926 名

施 策 名	24 生涯学習センター機能の充実
-------	------------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(5) 生活課題に対応した生涯学習環境の充実	所 管 課	生涯学習課
	主要施策	2) 自主学習グループへの支援		

平成 27 年度実績	<p>●市民学習活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生涯学習活動の拠点施設としての役割を果たしていくため、必要な設備や備品等も整備しながら登録グループのニーズに応じた諸室の貸し出しを行った。</li> <li>・文化教室の古典文学教室の卒業生を母体とした「万葉空間」、英語学習基礎教室の卒業生を母体とした「Yellow Club」などがサークル活動を行っており登録グループとして諸室を拠点に活動した。</li> </ul>															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度(平成)</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グループ数</td> <td>77</td> <td>77</td> <td>70</td> <td>63</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table>					年度(平成)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	グループ数	77	77	70	63
年度(平成)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度											
グループ数	77	77	70	63	67											
	<p>●各種事業への後援</p> <p>社会教育団体が行う各種事業のうち、広く門戸が開かれ教育的であると認められる事業に対して後援を行った。(後援数：33 事業)</p>															

点 検 及 び 評 価	<p>●市民学習活動への支援</p> <p>主に各登録グループが生涯学習センター諸室を利用しているが、引き続き諸室の機能充実や屋外庭園などの有効活用に努める。</p> <p>登録グループによる自主的な学習活動が活発に展開できるようセンター内に「ぐるーぷのひろば」と題した掲示板を設置し、グループの PR をおこなっているが、こうした方法以外にもグループを支援することで、学習活動がおこないやすい状況をつくり、施設で学習する魅力を創出する必要がある。</p>				
	<p>●各種事業への後援</p> <p>社会教育団体の各種事業へ後援を行うことで、市民に対しては安心して学べる教育の場の情報提供となっている。</p>				

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
グループ登録団体数	63 団体	80 団体	67 団体

施 策 名	25 地域における成人教育の充実
-------	------------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(5) 生活課題に対応した生涯学習環境の充実	所 管 課	生涯学習課
	主要施策	3) ライフステージに対応した生涯学習事業の充実		

平成 27 年度実績	<p>●成人式の開催 新成人を対象に、式典やその後の催しを、新成人による実行委員会形式で、市民総合会館において実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>641</td> <td>608</td> <td>699</td> <td>681</td> <td>709</td> </tr> <tr> <td>出席者数</td> <td>466</td> <td>436</td> <td>490</td> <td>495</td> <td>487</td> </tr> <tr> <td>出席率(%)</td> <td>72.7</td> <td>71.7</td> <td>70.1</td> <td>72.7</td> <td>68.7</td> </tr> </tbody> </table>					23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	対象者数	641	608	699	681	709	出席者数	466	436	490	495	487	出席率(%)	72.7	71.7	70.1	72.7	68.7														
		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度																																				
	対象者数	641	608	699	681	709																																				
	出席者数	466	436	490	495	487																																				
	出席率(%)	72.7	71.7	70.1	72.7	68.7																																				
	<p>●人権学習の推進 小・中学生の保護者（PTA）を対象とした人権啓発に関する講座を、小・中学校とともに実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>開催日時</th> <th>テーマ</th> <th>講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>藤井寺小学校</td> <td>12月12日</td> <td>親が知る思春期講座 ～親としてどう子どもと接するか～</td> <td>四天王寺 学園中学校 阪中 順子</td> </tr> <tr> <td>藤井寺南小学校</td> <td>10月31日</td> <td>人権啓発映画「地球が動いた日」 鑑賞会</td> <td>(株)大阪教映社 取締役 梅田 暁彦</td> </tr> <tr> <td>藤井寺西小学校</td> <td>2月18日</td> <td>なわとび大好きっ子を増やすため に</td> <td>日本ロープ スキッピング連盟 村尾 さゑ子</td> </tr> <tr> <td>藤井寺北小学校</td> <td>11月15日</td> <td>子どももおとなもお互いを大切に する人間関係づくり</td> <td>NPO法人 えんばわめんと 塚/ES 北野 真由美</td> </tr> <tr> <td>道明寺小学校</td> <td>11月28日</td> <td>青少年非行やスマホ・ネットに 関わる危険から子どもを守る</td> <td>羽曳野警察署 生活安全課 少年係長 木田 博信</td> </tr> <tr> <td>道明寺東小学校</td> <td>2月6日</td> <td>子どもたちによくある消費者トラ ブルと保護者が気をつけておくべ きこと</td> <td>大阪府消費者 センター 消費生活相談室 辻 眞智子</td> </tr> <tr> <td>道明寺南小学校</td> <td>7月8日</td> <td>「いのち」について</td> <td>前連P会長 金剛寺住職 中垣内 臨慎</td> </tr> <tr> <td>藤井寺中学校</td> <td rowspan="3">1月30日</td> <td rowspan="3">思春期の子育てはしんどいけど おもしろい</td> <td rowspan="3">若手教師応援 セミナー 「元気塾PLUS」代表 仲島 正教</td> </tr> <tr> <td>道明寺中学校</td> </tr> <tr> <td>第三中学校</td> </tr> </tbody> </table>				学校名	開催日時	テーマ	講師	藤井寺小学校	12月12日	親が知る思春期講座 ～親としてどう子どもと接するか～	四天王寺 学園中学校 阪中 順子	藤井寺南小学校	10月31日	人権啓発映画「地球が動いた日」 鑑賞会	(株)大阪教映社 取締役 梅田 暁彦	藤井寺西小学校	2月18日	なわとび大好きっ子を増やすため に	日本ロープ スキッピング連盟 村尾 さゑ子	藤井寺北小学校	11月15日	子どももおとなもお互いを大切に する人間関係づくり	NPO法人 えんばわめんと 塚/ES 北野 真由美	道明寺小学校	11月28日	青少年非行やスマホ・ネットに 関わる危険から子どもを守る	羽曳野警察署 生活安全課 少年係長 木田 博信	道明寺東小学校	2月6日	子どもたちによくある消費者トラ ブルと保護者が気をつけておくべ きこと	大阪府消費者 センター 消費生活相談室 辻 眞智子	道明寺南小学校	7月8日	「いのち」について	前連P会長 金剛寺住職 中垣内 臨慎	藤井寺中学校	1月30日	思春期の子育てはしんどいけど おもしろい	若手教師応援 セミナー 「元気塾PLUS」代表 仲島 正教	道明寺中学校	第三中学校
	学校名	開催日時	テーマ	講師																																						
	藤井寺小学校	12月12日	親が知る思春期講座 ～親としてどう子どもと接するか～	四天王寺 学園中学校 阪中 順子																																						
	藤井寺南小学校	10月31日	人権啓発映画「地球が動いた日」 鑑賞会	(株)大阪教映社 取締役 梅田 暁彦																																						
	藤井寺西小学校	2月18日	なわとび大好きっ子を増やすため に	日本ロープ スキッピング連盟 村尾 さゑ子																																						
藤井寺北小学校	11月15日	子どももおとなもお互いを大切に する人間関係づくり	NPO法人 えんばわめんと 塚/ES 北野 真由美																																							
道明寺小学校	11月28日	青少年非行やスマホ・ネットに 関わる危険から子どもを守る	羽曳野警察署 生活安全課 少年係長 木田 博信																																							
道明寺東小学校	2月6日	子どもたちによくある消費者トラ ブルと保護者が気をつけておくべ きこと	大阪府消費者 センター 消費生活相談室 辻 眞智子																																							
道明寺南小学校	7月8日	「いのち」について	前連P会長 金剛寺住職 中垣内 臨慎																																							
藤井寺中学校	1月30日	思春期の子育てはしんどいけど おもしろい	若手教師応援 セミナー 「元気塾PLUS」代表 仲島 正教																																							
道明寺中学校																																										
第三中学校																																										
<p>*場 所 → 小学校・・・会議室・体育館等 中学校・・・パープルホール</p> <p>参加人数 → 小学校・・・計 1,183名 中学校・・・計 83名</p>																																										

点 検 及 び 評 価

●成人式の開催

- ・従来は校区別に受付等を行っていたが、私立中学校出身者等に配慮し、地区別の受付等に変更したところ、これについてのクレームは聞かれなくなった。
- ・新成人の飲酒者の入場を許してしまったが、粘り強く退場を促し、退場させるケースもあった。羽曳野警察とも連携する中で、警察側からは、やむを得ない措置であったと了承いただいた。今後飲酒しているものについて、特に泥酔者は別の場所で休憩させるなど入場させない処置を取りたい。入場した者については、職員が注意深く見るようにする。

●人権学習の推進

P T A主催の人権学習は、保護者自身の人権意識の向上、子どもの人権保護に役立っている。実施前に内容を精査することで、今後高い成果をあげられると期待されるため、今後も全校で実施していきたい。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
成人教育事業参加者数	813 名	1, 200 名	1, 753 名

施 策 名	26 公民館事業の活性化
-------	--------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(5) 生活課題に対応した生涯学習環境の充実	所 管 課	生涯学習課
	主要施策	3) ライフステージに対応した生涯学習事業の充実		

平成 27 年度実績	<p>●文化教室・公民館まつりの開催</p> <p>・多様な学習機会を求める市民に対して、通年にわたり学習できる機会を提供するため、市民ニーズ等に沿った内容を検討し、13 教室の文化教室（188 名登録）を実施した。</p>																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>講 座 名</th> <th>曜 日 等</th> <th>延 受 講 者 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書 道</td> <td>第 2・4 水曜日</td> <td>347 名</td> </tr> <tr> <td>生 け 花（未生流）</td> <td>第 2・3・4 水曜日</td> <td>78 名</td> </tr> <tr> <td>古 代 史</td> <td>第 1・3 木曜日</td> <td>185 名</td> </tr> <tr> <td>古 典 文 学</td> <td>第 1・3 金曜日</td> <td>72 名</td> </tr> <tr> <td>折 り 紙</td> <td>第 1 木曜日</td> <td>173 名</td> </tr> <tr> <td>着 物 着 付（昼）</td> <td>第 2・3・4 火曜日</td> <td>315 名</td> </tr> <tr> <td>ベーシック英語</td> <td>第 2・4 金曜日</td> <td>245 名</td> </tr> <tr> <td>男 の 料 理</td> <td>第 4 土曜日</td> <td>70 名</td> </tr> <tr> <td>家 族 で 料 理</td> <td>第 2 土曜日</td> <td>97 名</td> </tr> <tr> <td>ウィッキー（編む） 手作りのバッグ</td> <td>第 1・3 日曜日 第 4 木曜日</td> <td>193 名</td> </tr> <tr> <td>楽 し い 手 品</td> <td>第 2・4 金曜日</td> <td>142 名</td> </tr> <tr> <td>ハワイアン・フラダンス</td> <td>第 1・2・4 水曜日</td> <td>255 名</td> </tr> <tr> <td>水 彩 画</td> <td>第 2・4 土曜日</td> <td>385 名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>2,557 名</td> </tr> </tbody> </table>			講 座 名	曜 日 等	延 受 講 者 数	書 道	第 2・4 水曜日	347 名	生 け 花（未生流）	第 2・3・4 水曜日	78 名	古 代 史	第 1・3 木曜日	185 名	古 典 文 学	第 1・3 金曜日	72 名	折 り 紙	第 1 木曜日	173 名	着 物 着 付（昼）	第 2・3・4 火曜日	315 名	ベーシック英語	第 2・4 金曜日	245 名	男 の 料 理	第 4 土曜日	70 名	家 族 で 料 理	第 2 土曜日	97 名	ウィッキー（編む） 手作りのバッグ	第 1・3 日曜日 第 4 木曜日	193 名	楽 し い 手 品	第 2・4 金曜日	142 名	ハワイアン・フラダンス	第 1・2・4 水曜日	255 名	水 彩 画	第 2・4 土曜日	385 名	合 計		2,557 名
	講 座 名	曜 日 等	延 受 講 者 数																																													
	書 道	第 2・4 水曜日	347 名																																													
	生 け 花（未生流）	第 2・3・4 水曜日	78 名																																													
	古 代 史	第 1・3 木曜日	185 名																																													
	古 典 文 学	第 1・3 金曜日	72 名																																													
	折 り 紙	第 1 木曜日	173 名																																													
	着 物 着 付（昼）	第 2・3・4 火曜日	315 名																																													
	ベーシック英語	第 2・4 金曜日	245 名																																													
	男 の 料 理	第 4 土曜日	70 名																																													
	家 族 で 料 理	第 2 土曜日	97 名																																													
	ウィッキー（編む） 手作りのバッグ	第 1・3 日曜日 第 4 木曜日	193 名																																													
	楽 し い 手 品	第 2・4 金曜日	142 名																																													
	ハワイアン・フラダンス	第 1・2・4 水曜日	255 名																																													
	水 彩 画	第 2・4 土曜日	385 名																																													
	合 計		2,557 名																																													
	<p>・文化教室で1年間学んだ成果を発表する機会を提供するために、公民館まつり（180 名参加）を実施した。</p>																																															



●継続的な学習会の開催

・成人に対する学級として、子育てのための「はぐくみ学級」(6回：86名受講)、女性のための「かがやき学級」(10回：641名受講)、高齢者のための「いきがい学級」(10回：817名受講)、子どものための学級として、「きらめき学級」(4回：50名受講)を実施した。

●子育て支援事業の開催

- ・幼児親子教室 (5回：347名参加)
- ・子育てママのおしゃべりサロン (11回：168名参加)
- ・親子ふれあい広場

6月30日、9月15日、12月3日、2月4日に、再任用職員(元幼稚園長)を中心に、就学前の子どもと保護者を対象に実施(104名受講)した。

●公民館短期特別講座の開催

藤井寺の歴史に触れる講座を実施した。

- ・「菅原道真公と道明寺」 (67名受講)
- ・「歴史の交差点藤井寺」 (62名受講)

●パソコン教室(前・後期)の開催

・パソコン操作やインターネット活用を始める契機として、初心者を対象としたパソコン教室を実施した。

前期5～6月「はじめてのパソコン」(Word入門) 5回：71名受講  
後期10月「インターネット入門」 5回：68名受講

●小学生親子科学教室の開催

・夏休み中の土曜日に設定した。親子で協力しながら製作、観察を行い、科学への関心・意欲を高めることを目的として3回実施した。公立小学校の教諭等に講師を依頼した。

	望遠鏡を作ろう	化石を見つけよう	手作りスピーカーを作ろう
申込者数	23名	21名	23名
参加者数	23名	25名	23名

●子ども料理教室の開催

・料理を作ることにより食について積極的に考えることを目的として実施した。

	藤井寺小学校 6月13日開催
申込者数	46名
参加者数	20名

●学習機会提供事業

・「吹奏楽の楽しさ」「遺伝子を考える」等藤井寺高校による新春セミナー(4回：163名参加)を実施した。また、1階展示コーナーにおいては、学生による書道・絵画・写真の作品展示も行った。

<p>平成 27 年度実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ファミリーシネマ <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族で楽しめるDVDを上映した。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 30%;">実施日</th> <th style="width: 30%;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アナと雪の女王</td> <td>7月28日</td> <td>142名</td> </tr> <tr> <td>ピーターパンの冒険</td> <td>12月13日</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td>名犬ラッシー</td> <td>3月27日</td> <td>34名</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>●おはなし会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤井寺市ボランティアサークルおはなしころりんが、第3土曜に、2階幼児コーナーにて、就学前の幼児と保護者向けにおはなしや絵本の読み聞かせ、手遊びをし、3階アトリエにて小学生以上対象にした、大人も楽しめる昔話などのお話を語った。(12回：168名参加)</li> </ul> </li> <li>●人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人形劇サークル「ゆめふうせん」と「めだかくらぶ」による人形劇を行った。(4回：121名参加)</li> </ul> </li> </ul>	内容	実施日	人数	アナと雪の女王	7月28日	142名	ピーターパンの冒険	12月13日	27名	名犬ラッシー	3月27日	34名
内容	実施日	人数											
アナと雪の女王	7月28日	142名											
ピーターパンの冒険	12月13日	27名											
名犬ラッシー	3月27日	34名											
<p>点検及び評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化教室・公民館まつりの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の方々の生涯学習ニーズに応えるよう、1年を通じて趣味や教養などに関する様々な講座を開催し、またそれらの成果を発表する場として公民館まつりを開催した。</li> <li>・平成27年度において着物着付(夜)・茶道(表千家)教室は申込者が少なく開講しなかった。また、俳画教室は年度途中で閉講したため、教室数は昨年度までに比べ少なかった。今後も市民のニーズや社会情勢に応じた教室の開講を検討する必要がある。</li> </ul> </li> <li>●継続的な学習会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中の保護者や女性、高齢者の方々や子どもたちにとって、それぞれの学級に応じた講演や実習、社会見学など有意義な講座の開催に努めている。</li> <li>・各ライフステージに応じた内容で好評であり次年度以降も同様に評価していただけるよう努める。</li> </ul> </li> <li>●子育て支援事業の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関する事業について、今後も保護者ニーズに応じた事業内容の充実等に努める。</li> <li>・親子ふれあい広場について参加者からは「親子で体を動かして楽しかった」、「子どもが機嫌をそこねてもあたたかく見守ってくれた」、「テーマを決めて子育ての話ができる場があって良かった」と等、好評であった。また、再任用職員(元幼稚園長)を中心に企画立案し、親子のふれあいに寄与する内容であった</li> </ul> </li> <li>●公民館短期特別講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史に興味があるの方々を中心として、熱心に受講されていた。特に道明寺天満宮の宮司南坊城氏は地元ということもあり詳しい内容が多く、観光ボランティアの方にとってはキャリアアップにもつながった。2回目は巡礼道・東高野街道などプロジェクターで画像等を交えて説明されたので視覚的にも分かりやすく、理解が深まった。</li> </ul> </li> <li>●パソコン講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信技術とコンピューターの飛躍的な発達により大量の情報が生み出されているが、パソコンを利用できる方と出来ない方で得られる情報量に格差(デジタルデバイド)が生じている。幅広い世代の方の情報化社会への適応に少しでも寄与するため、パソコンを始める契機としていただけるよう、開催した。パソコンに初めて触れるような初心者を対象とした講座であったが、わかりやすくパソコンに関心が持てたと好評であった。</li> </ul> </li> </ul>												

点 検 及 び 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学生親子科学教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・望遠鏡作り、化石さがし、スピーカー作りというように、もの作りや体験を通じて科学を学べる教室を3種類設定して実施した。各教室参加者からは、科学に対する関心・意欲が高まったと好評を得た。</li> </ul> </li> <li>●子ども料理教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な食材を使って料理を作った。また、食材の栄養が体にどう作用するかを学ぶという食育の要素も盛り込んだ。子どもたちに分かりやすく講義してから、料理を作った。耐震工事の関係で道明寺小学校では実施できなかったが、その他6小学校で1回実施できた。他の部署で同じような講座をしていること、校区に限定することで会場となる小学校に負担がかかる、講師謝礼がない中、材料の調達が困難であることから、来年度以降は開催しない。</li> </ul> </li> <li>●学習機会提供事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤井寺高等学校による新春セミナーは、学校関係者だけではなく広く市民の方々も受講され、「メッセージソングフェスタ」などは大変盛況であった。</li> </ul> </li> <li>●ファミリーシネマ <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権の関係で上映できるDVDが限られてしまう。限られた中から、家族で楽しめ、情操を養う内容のものを探していきたい。</li> </ul> </li> <li>●おはなし会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなしや絵本の読み聞かせ、手遊びを通して、子どもの豊かな感性が育まれている。</li> </ul> </li> <li>●人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆめふうせん」は冗談や楽しい表現を交えて、参加者を楽しませている。「めだかくらぶ」は昔ばなしをわかりやすい表現にかえて上演し、語り継いでいくことを大切にしている。どちらも、子どもたちに豊かな感性を育む機会となっている。</li> </ul> </li> </ul>
-------------	---

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
全講座の延受講者数	5,371 名	6,000 名	6,008 名

施 策 名	27 大阪女子短期大学との連携強化
-------	-------------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(5) 生活課題に対応した生涯学習環境の充実	所 管 課	学校教育・文化財保護・生涯学
	主要施策	3) ライフステージに対応した生涯学習事業の充実		習・スポーツ振興課・市立図書館

平成 27 年度実績	<p>●大阪女子短期大学との連携</p> <p>〈学校教育課〉</p> <p>①食育 小学校＝藤井寺小学校家庭科クラブ・藤井寺西小学校 3 年生が大阪女子短期大学を訪れ、調理実習の支援を受けた。 中学校＝市内 3 中学校の希望者を対象とした合同調理実習を行った。</p> <p>②職業体験＝藤井寺中学校・第三中学校の生徒が大阪女子短期大学の図書室に出向き、大学の司書体験等を実施した。</p> <p>③3 名の大阪女子短期大学生の栄養教諭実習を受け入れた。</p> <p>④教員養成課程講座の講師として、小学校教頭 2 名・中学校教頭 1 名・指導養護教諭 1 名を派遣した。</p> <p>⑤「藤井寺『ゆめ』セミナー」事業で、小学 5・6 年生と中学 1 年生を対象に、食育講座『クッキングを通して食育や食文化について学ぼう!』を開催した。 24 名の児童・生徒が参加</p> <p>〈文化財保護課〉</p> <p>⑥大阪女子短期大学が主催している生涯学習講座(グリーンセミナー)に文化財保護課職員を講師として派遣している。平成 27 年度の前期のテーマは、「河内の考古学」で、講義 4 回 (5 月 8 日・14 日・20 日・26 日)、野外見学会 1 回 (6 月 1 日) を実施した。後期のテーマは、「河内のむかしを掘ってみよう」で、講義 4 回 (10 月 28 日・11 月 4 日・11 日・18 日)、野外見学会 1 回 (11 月 25 日) を実施した。参加者数は、前期 11 名、後期 7 名であった。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春季</td> <td>20 名</td> <td>20 名</td> <td>20 名</td> <td>20 名</td> <td>11 名</td> </tr> <tr> <td>秋季</td> <td>20 名</td> <td>20 名</td> <td>18 名</td> <td>23 名</td> <td>7 名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40 名</td> <td>40 名</td> <td>38 名</td> <td>43 名</td> <td>18 名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">グリーンセミナー参加者数の推移</p> <p>〈生涯学習課〉</p> <p>⑦大阪女子短期大学高等学校の卒業制作展示を実施した。掛け軸・額・刻字・蒔絵等の作品が展示され、市民の方々にご覧いただいた。</p> <p>〈スポーツ振興課〉</p> <p>⑧「2016 藤井寺市民マラソン大会」開催に際し、昨年度と同様、大学構内にチラシ及びポスターを設置していただき、参加者募集の啓発活動協力をお願いした。 また、大会当日のボランティアスタッフとして大学生に対し運営協力を依頼した。</p> <p>〈市立図書館〉</p> <p>⑨幼児教育科の学生による手作り絵本を「カワイイ手作り絵本展」と銘打って、図書館で 1 ヶ月間展示した。</p> <p>⑩「絵本クラブ」のメンバーによる絵本の読み聞かせを図書館一階幼児コーナーで、2 回 (11 月 21 日・28 日) 行った。参加総数 子ども 15 名 大人 11 名。</p>				年度	H23	H24	H25	H26	H27	春季	20 名	20 名	20 名	20 名	11 名	秋季	20 名	20 名	18 名	23 名	7 名	合計	40 名	40 名	38 名	43 名	18 名
	年度	H23	H24	H25	H26	H27																						
春季	20 名	20 名	20 名	20 名	11 名																							
秋季	20 名	20 名	18 名	23 名	7 名																							
合計	40 名	40 名	38 名	43 名	18 名																							

●大阪女子短期大学との連携

〈学校教育課〉

- ①学生と交流しながらの調理実習や⑤「藤井寺『ゆめ』セミナー」事業では、小・中学生にとって、調理に関する知識を得て、技能を身に付けるだけでなく、「食」への関心の高まりにつながった。また、食育という学問につながるきっかけとすることができた。今後は、食育学習の機会を拡充する新たな方策について検討していく。
- ②職業体験では、大学図書館の司書体験をすることで、新たな職業について理解することができた。継続して実施するとともに、他の職種についての体験が可能であるか検討をしていく。
- ③栄養教諭実習を受け入れ、当該学生の免許取得について協力できた。今後も、受入れ先学校の状況を考慮しながら、対応していく。
- ④小・中学校教頭・指導養護教諭を教員養成課程の講師として派遣し、学校教育・教員の資質・学校現場の状況等について学生に講演し、教員をめざす学生に意欲の向上を促すことができた。教員をめざす学生の育成という観点から、今後も要請に応じて派遣する方向で検討していく。

〈文化財保護課〉

⑥平成 27 年度は、河内地域の歴史にスポットを当て、発掘調査の成果から明らかとなった、地域の身近な歴史を参加者に伝えることができ、参加者にとって有意義な機会となった。しかしながら、講座の対象を河内地域にしぼったため、必然的に受講者も同地域に関心を持つ方が中心となり、結果として前年度と比較してその数が減ることとなった。

〈生涯学習課〉

⑦大阪女子短期大学高等学校の卒業制作展示を実施し、生徒が取り組んでいる掛け軸・額・刻字・蒔絵等の作品について知っていただくことができた。高等学校側も、引き続き展示実施の意向である。  
平成 27 年度は大阪女子短期大学と公民館事業での連携は持てなかったが、平成 28 年度は短期講座等にて連携を図る。

〈スポーツ振興課〉

⑧スポーツ交流事業については、市と大学側とのスケジュール調整がうまくいかず、平成 22 年度に実施したバレーボール連盟との交流事業の実施以降、実現していない。  
同大学の閉校に伴い、交流事業の継続が不可能となった現状を踏まえ、今後は他大学等との連携を視野に、本市が主催するスポーツ事業への参加者募集の啓発活動及び事業運営の協力依頼並びに実施可能な交流事業の検討をしていく。

〈市立図書館〉

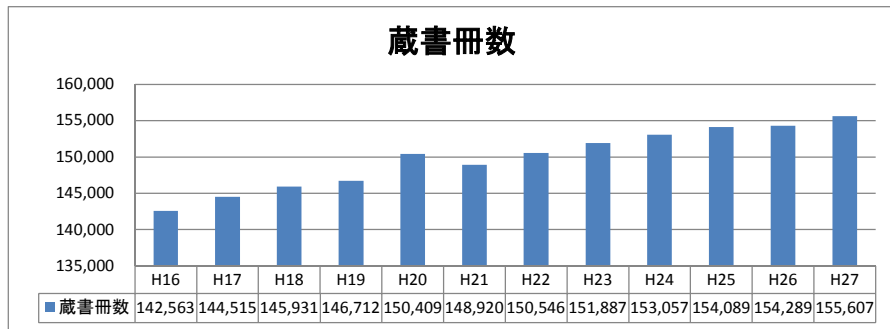
⑨「カワイイ手作り絵本展」は、平成 27 年度は約 90 点を展示した。図書館利用者にも好評であり、また、製作した学生の来館も見受けられることから、平成 28 年度も大阪女子短期大学との連携を図りながら、引き続き開催を行う予定である。  
⑩「絵本クラブ」の学生による読み聞かせを、2 回行うことができた。学生の学業が優先するため、開催回数、開催日時など調整しづらく、広報が難しい状況である。事前の打ち合わせなどの課題はあるが、今後も継続的に絵本クラブに読み聞かせに来ていただけるよう、協力要請を行っていく。また、事前に学生との打ち合わせができる時には、図書館からの要望を伝えるとともにアドバイスを行うなどして行事の充実を図っていく。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
地元大学との連携事業数	11	13	10

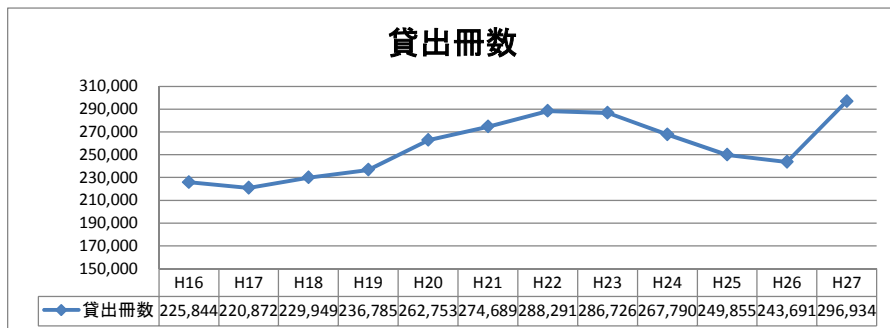
施 策 名 28 図書館資料の整備充実

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(5) 生活課題に対応した生涯学習環境の充実	所 管 課	市立図書館
	主要施策	4) 市立図書館を中心とした読書環境の整備・充実		

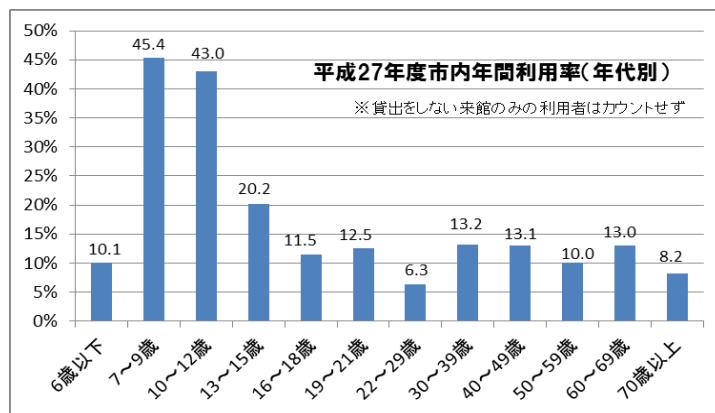
- 図書館資料の充実
  - ① 一般図書 5,302 冊 (決算額:7,999,956 円)
  - ② 子どもの読書推進のための児童書の充実 322 冊 (決算額:499,997 円)
  - ③ 逐次刊行物 (決算額:1,150,976 円)  
(内訳) 雑誌 71 種、新聞 6 種、紙芝居 68 冊
  - ④ 視聴覚資料 (CD) 59 枚 (決算額:176,335 円)
  - ⑤ 郷土資料 83 冊 (購入分は一般図書購入費に含む。寄贈本あり)



- 図書館資料の貸出状況
  - ① 個人貸出 296,934 冊 (78,723 名・実利用登録者 8,540 名)  
内訳 図書 278,327 冊・雑誌 9,642 冊・紙芝居 1,653 冊  
CD 7,098 枚・VHS・DVD 214 点
  - ② 団体貸出 14,751 冊 (158 団体)
  - ③ 語り手派遣事業用図書貸出 1,908 冊



平成 27 年度実績



- 蔵書の適正保管
  - 図書不正持出防止システムにより、蔵書の管理を行った。
  - 平成 27 年 4 月から図書館資料を 30 日以上延滞している利用者に対して、新規の貸出・予約・リクエストを規制し、返却延滞対策を行った。

点 検 及 び 評 価

●図書館資料の充実

子どもの読書推進のため児童書の充実を目指し、通常分に加えて絵本やよみもの、調べ学習に役立つ図書など 322 冊を購入した。郷土資料については、藤井寺にゆかりのある詩人の佐々木幹郎氏より著作をご寄贈いただき、21 冊を蔵書として受け入れた。今後も蔵書の充実に努める。

●図書館資料の貸出状況

団体貸出冊数は増加傾向であるが、個人貸出冊数は、平成 22 年度をピークに減少していた。

今年度より貸出冊数の上限を 15 冊に増加したことにより、個人貸出冊数が 296,934 冊と大幅に増加した。貸出人数が前年度の 79,606 名から 78,723 名と減少しているが、これは貸出冊数の上限が増えたことにより、家族カード利用での貸出が減少したためと考えられる。今後も図書館サービスの向上や利用者ニーズの把握により、貸出冊数の増加に努める。

語り手派遣事業用図書の貸出冊数は、平成 27 年度は 1,908 冊と平成 26 年度の 1,364 冊と比較して貸出冊数が 544 冊の増となっている。ブックトークやおはなし会の内容やテーマによって、一般の蔵書も合わせて活用しており、語り手派遣回数は、この数年、200 回前後で推移しているため、今後、語り手派遣のニーズも踏まえて、図書館資料の収集にも努める。

●蔵書の適正保管

今後も全ての新刊書に不正持出防止処理を施し、蔵書の適正な保管を図る。延滞者に対する措置を行った結果、前年度と比較すると延滞日数が 81 日以上 of 長期間の未返却冊数が前年の 580 冊から 172 冊に減少しており、貸出停止等の措置による効果がみられる。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
図書館の蔵書冊数	154,289 冊	155,000 冊	155,607 冊

施 策 名		29 利用者サービスの向上		
総合計画 における 位置付け	節 名 称	(5) 生活課題に対応した生涯学習環境の充実	所 管 課	市立図書館
	主要施策	4) 市立図書館を中心とした読書環境の整備・充実		
平成 27 年度実績		<p>● 幼児コーナーの充実 寄贈本から幼児向け絵本を 25 冊選書し、追加で設置した。その結果、幼児コーナーの設置冊数は、絵本 225 冊、紙芝居 100 冊となった。子育て中の人に役立つチラシやパンフレット類を設置し、情報提供の場としても活用した。</p> <p>● ゴールデンウィークフルオープンの実施 4 月 29 日～5 月 5 日までのゴールデンウィーク期間中、市民が読書に親しむ機会となるよう、休館日なしでフルオープンを実施した。(期間中利用人数 1,102 名 期間中貸出冊数 4,392 冊)</p> <p>● 夏休みフルオープンの実施 夏休み期間を利用して、多くの市民が読書に親しむ機会とするため、7 月 21 日～8 月 30 日までの間、月曜日も開館した。(期間中利用人数 8,599 名 期間中貸出冊数 34,645 冊)</p> <p>● レファレンスサービスの充実・提供 市民の求める情報提供について調査相談を実施し、資料提供に努めた。(文書による調査 7 件)</p> <p>● 図書館間の連携・協力による情報提供 自館所蔵資料のみならず、市民の求める資料は、全国の図書館から借り受けて提供した。(他の図書館から借り受けて利用者に提供した本は 2,080 冊)</p> <p>● 再構築した電算システムによるサービスの向上 Web (インターネット) サービス利用登録者は、1,502 名、Web (インターネット) 予約件数は 14,180 件であった。</p> <p>● 貸出冊数の制限緩和及びインターネット等による貸出期間の延長を実施 平成 27 年 4 月 1 日より個人貸出点数をひとり 5 点から 15 点に、視聴覚資料はひとり 2 点まで 2 週間、借りられるように貸出規則の改正を行った。また、予約者がいない場合は貸出期限内であれば 1 回に限り、インターネットや電話による貸出期間の延長を可能にした。インターネットによる貸出期間の延長は、6,277 回利用されている。</p>		



点 検 及 び 評 価

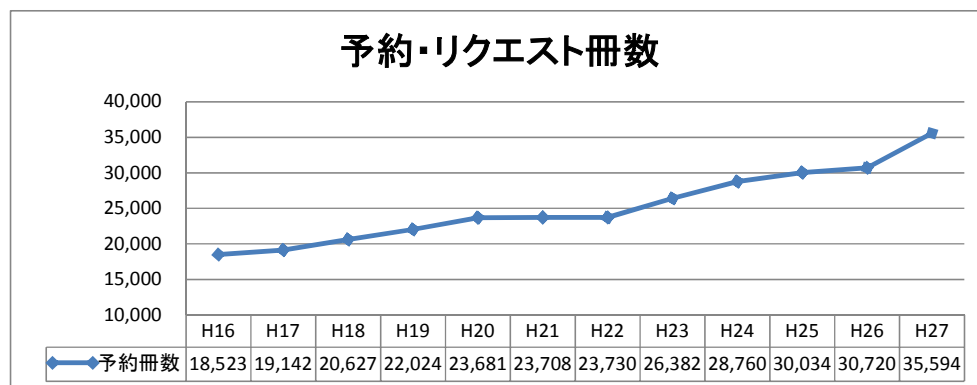
- 幼児コーナーの充実  
 幼児コーナーの更なる利用を目指して、引き続き、絵本や紙芝居、子育てに役立つ情報紙などを設置し、充実に努める。
- ゴールデンウィークフルオープンの実施  
 ゴールデンウィーク中は、親子連れの来館者が多く見られ、新規の登録者は 28 名であった。4 月 29 日子ども向き行事には、子ども 22 名・大人 14 名、5 月 5 日子供向き行事には、こども 15 名・大人 9 名の参加があった。  
 ゴールデンウィーク中ということで、親子で楽しんでもらえるような行事を企画した。
- 夏休みフルオープンの実施  
 夏休みフルオープンは、平成 16 年度より実施しており、市民にも浸透している。7 月 19 日の子ども向け行事には、子ども 49 名・大人 35 名の参加があった。夏休みに行う行事であるため、親子で来館し、楽しんでもらえるような内容のプログラム作りを考える。
- レファレンスサービスの充実提供  
 レファレンスサービスを充実させるため、大阪公共図書館協会や大阪府立図書館主催の研修に職員を派遣した。
- 図書館間の連携・協力による情報提供  
 他の図書館との連携協力は、本市図書館の蔵書整備の限界や、出版流通上入手が不可能な本を提供する上で欠かせない。より緊密に協力を深めたい。
- 再構築した電算システムによるサービスの向上  
 Web（インターネット）サービス利用登録者は前年比 19.78%増、Web（インターネット）予約件数は 33.63%増となった。  
 予約図書連絡方法として、メールを希望する利用者も多く、また、こまめに電話による連絡もしていることから、予約資料の回転が速くなった。  
 今後も図書館だよりやホームページ、ちらしなどにより、Webサービスを市民に周知するとともに、新規登録者には、Webサービスの登録を促すことにより市民サービスの向上を目指す。  
 さらに将来的には学校図書館と市立図書館のネットワーク化も見据え、実現に向けて取り組んでいく。
- 貸出冊数の制限緩和及びインターネット等による貸出期間の延長を実施  
 前年度に比べると、貸出冊数は 22%増加した。また、視聴覚資料（CD）についても貸出数は 27%増加した。一方、貸出人数は 1%減少したが、これはひとり 15 冊までの貸出が可能になり、今まで家族のカードを使用していた利用者が、家族のカードを使用する必要がなくなったためと推測される。特に児童書の貸出冊数が増えており、子どもの読書活動の推進につながった。  
 また、来館することなく貸出期間の延長の手続きを可能にしたことで、利便性の向上が図れた。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
Web サービス利用登録者	1,254 名	1,500 名	1,502 名

施 策 名	30 サービス網の強化
-------	-------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(5) 生活課題に対応した生涯学習環境の充実	所 管 課	市立図書館
	主要施策	4) 市立図書館を中心とした読書環境の整備・充実		

●予約・リクエスト図書の迅速な提供  
市民が求める資料をできるだけ早く提供するため、公共施設循環バスを活用して、日・月を除く週5回、アイセルシュラホール図書コーナーおよび支所図書コーナーへ図書を搬送し、予約・リクエストに応えた。  
平成27年度の予約受付件数は35,594件であり、うちインターネットからの予約件数は14,180件あった。



●定期的な図書の入替  
川北配本所については、月2回の開設の際に図書の入替を行っている。  
アイセルシュラホール図書コーナーについては5月と10月に、支所図書コーナーについては6月と10月に、それぞれ1,000冊程度の入替を行った。また、前述の配送便に空きがある場合、予約図書以外の図書を入れてもらうなどして、少しずつ入替を図っている。

平成27年度実績

●図書館ホームページの情報発信  
図書館のイベント情報やお知らせなどを、写真・イラストを入れてわかりやすく、毎月1回更新している。また、新着図書の紹介や、市民より要望のあった大活字図書のリストなどを引き続き掲載している。  
読書貯金通帳の簡易版を作成し、来館しなくても読書貯金通帳を利用できるようにした。また、わかりやすい簡易版読書貯金通帳の作り方も一緒に公開し、利用者数が向上するように努めた。

●大阪中部9市と大阪市の10市による図書館の広域相互利用  
八尾市・柏原市・羽曳野市・松原市・富田林市・河内長野市・東大阪市・大阪狭山市・大阪市、及び本市の図書館を互いの市民が相互に利用できる広域相互利用を、実施している。

H27年度	利用者の居住市									合計
	松原市	羽曳野市	富田林市	大阪狭山市	河内長野市	八尾市	東大阪市	柏原市	大阪市	
登録者数	14	158	14	1	1	37	4	55	24	308
貸出人数	176	1,538	167	1	2	192	27	555	137	2,795
貸出冊数	535	5,214	630	1	2	724	255	2,519	594	10,474

点 検 及 び 評 価

- 予約・リクエスト図書の迅速な提供  
 予約・リクエストの件数は前年比 15.87%増となっており、うち、インターネットからの予約は予約全体の 39.84%を占める。  
 貸出冊数上限の増や、インターネットサイト上からの貸出延長などのサービスが利用を後押ししたものと考えられる。公共施設循環バスの配送便は今後も活用し、予約・リクエスト図書の迅速な対応を行っていく。
- 定期的な図書の入替  
 アイセルシュラホール図書コーナー、支所図書コーナーおよび川北配本所の図書の入替については、配送便の空きを活用して適宜入替を行っていく。また、春・秋に季節ごとにニーズの高まる本、新規購入本などを入替えし魅力的な本棚作りに努める。
- 図書館ホームページの情報発信  
 図書館のホームページは、毎月 1 回以上の更新を行い、積極的に情報の発信を行っている。読書貯金通帳の簡易版においては若干名の利用があった。
- 大阪中部 9 市と大阪市の 10 市による図書館の広域相互利用  
 藤井寺市立図書館における広域相互利用制度を活用した平成 27 年度の貸出冊数は 10,474 冊であり、平成 26 年度の 9,020 冊と比較して、1,454 冊の増となっている。これは、貸出冊数上限の増などによるものが大きいと考えられる。また、本市も含めて広域相互利用を行っている各市の P R により、広域相互利用制度は広く認知されつつあり、一定の利用があるものと考えている。今後とも関係市と連携を図りながら、広域相互利用制度の P R に努めるとともに、広域全体としての図書館サービスの充実に努める。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
図書の予約・リクエスト件数	30,720 件	32,000 件	35,594 件

施 策 名		3 1 読書推進事業の展開		
総合計画 における 位置付け	節 名 称	(5) 生活課題に対応した生涯学習環境の充実	所 管 課	市立図書館
	主要施策	4) 市立図書館を中心とした読書環境の整備・充実		
平成 27 年度実績		<p>●各種行事の実施 定期行事として水曜日の「紙芝居と絵本の読み聞かせ」、第2・第4土曜日の「えほんとおはなしのへや」行事のほか、夏休み行事、クリスマス会などの季節行事を実施した。「えほんとおはなしのへや」では、子どもの図書館サービスの利用促進につながるよう、月に1度職員が読み聞かせを行なった。 また、毎月テーマを決めた「本の展示・貸出」のほか、「ミニ展示コーナー」では、時宜にあったテーマ展示を行い、本の紹介・貸出に努めた。</p> <p>●団体貸出サービス 市内の学校園・保育所等各種団体に利用登録をしてもらい、貸出冊数200冊を上限として一ヶ月間貸出すサービスを実施した。登録団体158団体に14,751冊を貸出した。9団体に14の大型紙芝居・パネルシアターを貸出した。</p> <p>●語り手派遣事業 市内小中学校・幼稚園など各種団体におはなしの語り手を派遣し、「絵本の読み聞かせ」「おはなし会」「ブックトーク」を実施し、読書活動を推進する取組みを行った。</p> <p>●視覚障がい者への読書支援 朗読ボランティア34名により、13タイトルの録音図書を作成し、ほかに大活字図書60冊購入、録音図書再生機を3台貸出するなど、視覚障がい者への読書支援を実施した。視覚障がい者367名に対して、録音図書414点、点字図書24冊を貸出した。また、平成26年度より視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」に加入している。 広報平成27年7月号において、デイジー図書のPRを行った。</p> <p>●新一年生に図書館利用バッグを配布 図書館という公共施設を知ってもらうとともに、利用を促すことを目的として、市内の小学新一年生が来館した時に、オリジナルの手提げバッグとカードホルダー、子ども向け利用案内の3点セットを配布した。</p> <p>●夏休み一日図書館員体験を実施 実際に図書館の仕事を体験して、より一層、図書館を身近で利用しやすい施設であることをPRすることを目的として、小学4～6年生を対象に、夏休み中の2日間(8月19日・8月22日)各日4名を募集した。</p> <p>●読書貯金通帳を配布 平成27年7月から中学生以下を対象として、通帳型の冊子に、読んだ本のタイトルや感想などの読書の記録を書き込むことのできる「読書貯金通帳」を配布した。 また、乳幼児への読み聞かせの記録帳として活用してもらえよう保護者にも配布した。</p>		

点 検 及 び 評 価

●各種行事の実施

定期行事のほか、4月29日の「子ども読書の日」行事・5月5日の「子ども読書週間」行事、夏休みおたのしみ会、クリスマス会の4つの大きな行事が滞りなく行われた。今後はさらに参加人数が増えるように行事のPRを行っていききたい。毎月の「テーマ展示」と「ミニ展示コーナー」については、引き続き展示を行い、利用者のニーズの把握に努め、貸出につなげていききたい。また、子どもへのサービスを充実させ、読書活動の推進に努める。

●団体貸出サービス

貸出は、平成25年度8,771冊、平成26年度9,852冊と着実に増えているが、平成27年度においては14,751冊と前年度の約1.5倍となっている。学校図書館との連携が取れてきたことや、介護施設等での団体利用が目立つようになってきたためと考えられる。登録団体を増やすと共に、貸出件数も伸ばしたい。さらに藤井寺市立小学校教育研究会・図書館教育部会の会合においても、クラス単位の団体カードが作れることをPRし、学級文庫などでの図書館の蔵書の有効活用を促進していく。

●語り手派遣事業

市内各種団体におはなしの語り手ボランティアを派遣している。読み聞かせだけでなく、ブックトークなど、読書活動推進の手法として多様化するニーズにも対応している。ブックトークは32回52クラスで行った。派遣回数は233回で子どもたちの読書意欲の推進に大いに貢献している。

●視覚障がい者への読書支援

録音図書（カセットテープ図書・デージー図書）点字図書を貸出している。未所蔵のものについては他の公共図書館・点字図書館・NPO法人より借用し、ニーズに応じている。サピエに加入したことにより、デージー図書のダウンロードやオンラインリクエストが可能になり、今までより迅速に利用者へ提供できるようになった。貸出数は録音図書が361名に414点、点字図書が6名に24冊となっている。利用登録者は10名となっており、やや減少しているのが現状である。今後も継続して広報誌でPRを行う必要がある。デージー図書再生機は、3台すべて貸出した。今後もサピエを利用し、データベース化されたデージー図書を利用者に迅速に提供していく。

●新一年生に図書館利用バッグを配布

利用バッグの年間の配布数は217枚であった。図書館利用バッグ受け取り時に、新規で利用登録をする児童も見受けられた。配布後、利用バッグ持参で来館される方も多く、便利に活用してもらっている。受け取りに来たのは新一年生の約40%と昨年より増加している。今後もPRに努めるとともに、引換案内と同時に本の紹介をするなど、より多くの児童に来館してもらえよう働きかけていく。

●夏休み一日図書館員体験を実施

定員8名に対して20名の応募があったため抽選し、8月19日・8月22日の各日4名、全8名の児童を受け入れた。学年や学校が違う児童たちが、調べものの実習では、お互いに協力して課題をやり遂げていた。今後も引き続き実施し、図書館が身近で役立つ施設であるという認識を、多くの子どもたちにもってもらいたい。

●読書貯金通帳を配布

子どもたちが読んだ本を通帳に書き込むことで達成感を味わい、読書を習慣づけることにもつながった。さらに保護者が子どものために、読んだ本の記録を残す冊子としても活用してもらっている。今後も配布を続け、読書意欲の向上や図書館の利用促進を図っていく。

成果指標	平成26年度実績	平成27年度目標値	平成27年度実績
定期行事参加人数	848名	900名	846名

## (5) 生活課題に対応した生涯学習環境の充実【学識経験者の意見】

- これまで年齢層を問わず、市民の文化活動の発表の場として開催してきた「ふじいでらかあにぼる」は、青少年層の活動発表に限定し、青少年指導員会の事業として自己実現を図り自信を持つという点で意義があった。青少年層の多様な文化活動を、多くの市民の前で披露するこの事業の企画意図について、市民にもっと広く認識されるよう啓発する必要がある。
- 「あい・うおーく」について、古市古墳群の世界遺産登録をめざしているなか、学校教育以外でも、子どもたちに郷土の遺産の素晴らしさを伝えることは、郷土を愛し、誇りに思う気持ちを養ううえですることが非常に意義がある。また、多様な団体に関わり、それぞれの団体が持つ特色を生かして、イベントを盛り上げることは、子どもたちに学校で教わったこととは違う視点での学びの機会の提供がなされたことと思われる。
- 成人式について、混乱なく実施できたことは周到な準備の結果だと思われる。これからも、開催を重ねる都度、課題として挙げられる事項をとらえ、適切に対応していくことが必要だと思われる。成人式は、大人となる自覚を持つ節目の儀式であるので、出身学校の教員や地域の大人が、新成人を温かく見守りながらも、社会人としての自覚と責任に気づかせる場であるよう意義を深めたい。
- 人権学習については、一般市民を募る形式で主催してきたが、今後は学校ごとでPTAを対象に、学校行事での集会の機会等に合わせて開催することが、効果的だと考える。人権尊重の理念が市民の間に広く浸透するよう、こうした機会を続けていく必要がある。
- 公民館講座として、実施された「小学生親子科学教室」については、現職の小学校教員らが、学校という場を離れ、子どもたちに科学のしくみを伝えることを目的に開催されている。こうした機会を持つことは、子どもも、教員自身にとっても、貴重な機会であると思われる。これからも本務に支障のない範囲で、教員が社会教育に関わることは継続されたい。
- 身近な歴史を通して郷土への関心を高めるため、大阪女子短期大学の生涯学習講座（グリーンセミナー）へ、講師を派遣している。平成27年度は、発掘調査の成果を通じた河内地域の歴史についての講座を開き、受講者の好評を得た。対象地域をしぼったために前年度と比較して受講者数が減じたとのことであったが、単にその数の増加をめざすだけではなく、藤井寺市全体の豊かな歴史を市民に認知していただく有意義な機会としてとらえ、このような機会を持っていただきたい。

- 大阪女子短期大学との交流においては、市内小中学生が大学を訪れ、食育や職業体験を通して、専門的な知識の習得や学校生活では体験できない経験の機会となっている。また、教育実習生の受け入れや大学に対しての市内教職員の講師派遣等、双方向に好影響を与えている。今後も、連携の内容について、相互に検討を進めていくことが一層必要である。
- 読んだ本のタイトルや感想を書き込める読書貯金通帳の配布を行うことで、子どもたちが読書に興味を持ち、習慣づけ、読書意欲の向上を図ることができる。更に子育て中の保護者にも配布し、子育て支援の面からも素晴らしい。今後も効果的な取組みを考え、読書活動の推進に努めていただきたい。
- 市民のニーズを把握し、貸出点数を見直すことで、貸出冊数が大幅に増加してきた。また、インターネットや電話などによる貸出期間の延長を可能にし、来館することなく手続きが可能となり、インターネットによる延長の件数の多さからも利用者の利便性の向上が図られた。これからも時代に即したサービスを展開していかれることを期待する。
- 市内の学校園や各種団体が登録し利用できる団体貸出サービスによる貸し出しが年々増加しており、学校図書館との緊密な連携が取れてきた成果である。これからも子どもの読書推進のためにも学級文庫などへの働きかけを積極的に行うことで、より一層の図書館蔵書の有効活用に努めていただきたい。
- 延滞者に対する貸出停止等の措置を行ったことで長期間の未返却資料の冊数が減少したとのことだが、市民の財産である図書館資料を、利用者の誰もが気持ちよく利用するためには、今回のような利用制限を設けることも必要であろう。今後も資料の適正な管理・運営に努めていただきたい。

施 策 名		3 2 青少年健全育成環境の整備	
総合計画 における 位置付け	節 名 称	(6) 青少年の健全育成	所 管 課 生涯学習課
	主要施策	1) 指導体制の充実とネットワークの構築	
平成 27 年度実績		<p>●青少年健全育成藤井寺市民会議（ユースフル藤井寺）の取組み</p> <p>青少年の健全育成を図る目的で、平成 10 年度に市内の 34 団体で「青少年健全育成藤井寺市民会議（ユースフル藤井寺）」が組織された（現在 33 団体）。以降、街頭啓発活動や青少年健全育成推進藤井寺市民大会の開催、公開学習「ふじいでら・タイムトラベル」等を実施している。</p> <p>①街頭啓発活動</p> <p>「少年非行・被害防止強調月間、暴走族追放強調月間」に伴い 7 月 4 日（土）、加盟団体のメンバー及び市内中学生 21 名の参加を得て、藤井寺駅周辺及び道明寺中学校前で街頭啓発を実施した。また、11 月 15 日（日）には「子ども・若者育成支援強調月間」に伴い、青少年健全育成推進藤井寺市民大会終了後、藤井寺駅周辺において街頭啓発を実施した。</p> <p>②青少年健全育成に関する啓発作文の募集</p> <p>いまを生きる子ども達の思いを知り、青少年健全育成活動に役立てるために、市立中学 2 年生・小学 6 年生を対象に青少年健全育成に関する啓発作文を『私が一番感動したこと』というテーマで募集した。小学生・中学生合わせて 964 名の応募があり、優秀作文については、青少年健全育成推進藤井寺市民大会で表彰を行った。</p> <p>③青少年健全育成推進藤井寺市民大会の開催</p> <p>11 月 15 日（日）に市民総合会館別館中ホールにおいて実施した。『夢に向かって』を大会テーマに青少年健全育成を呼びかけ、約 220 名が参加した。第一部の式典では、青少年の健全育成を願った大会宣言、優秀作文の表彰、構成団体 3 団体の活動報告を行った。第二部では、トーク&amp;ライブ「感動を歌に！歌を感動に！」と題して、ファミリーユニット「CHAKO・La」さんによる講演と演奏が行われた。</p> <p>④ふじいでら・タイムトラベル（藤井寺ってどんなところ？）の開催</p> <p>豊かな歴史遺産に恵まれた藤井寺をより詳しく知ってもらうことにより、郷土を大切にすることを育むことを目的として、2 月 11 日（祝）に、四天王寺大学非常勤講師 川内眷三氏を講師に招き、古地図に学ぶ藤井寺の歴史と題し、親市 27 名の参加があった。</p> <p>⑤横断幕の活用による啓発活動</p> <p>広く青少年健全育成活動の推進及び理解と協力を求めるため、年間を通じてユースフル藤井寺の横断幕「大人が変われば、子どもも変わる」「声かけて 明るく育てる 地域の子」（3 幕）を活用し、市民まつりをはじめ市民総合体育大会など、市内で行われる各種イベントにおいて啓発活動を実施した。</p> <p>●わくわくチャレンジウォークの実施</p> <p>市青少年リーダー協議会、青少年指導員会、子ども会育成連絡協議会等で実行委員会を構成し、市内の歴史遺産を見つめ直すことで、藤井寺市の良さを再認識してもらい、家族・仲間・地域のふれあいの場、市民の健康増進の場を提供するために、11 月 1 日（日）、道明寺東小学校をスタート・ゴールにわくわくチャレンジウォークを実施した。当日は、48 チームで 173 名の参加があった。（市より事業費補助 136,000 円を交付）</p>	



点 検 及 び 評 価

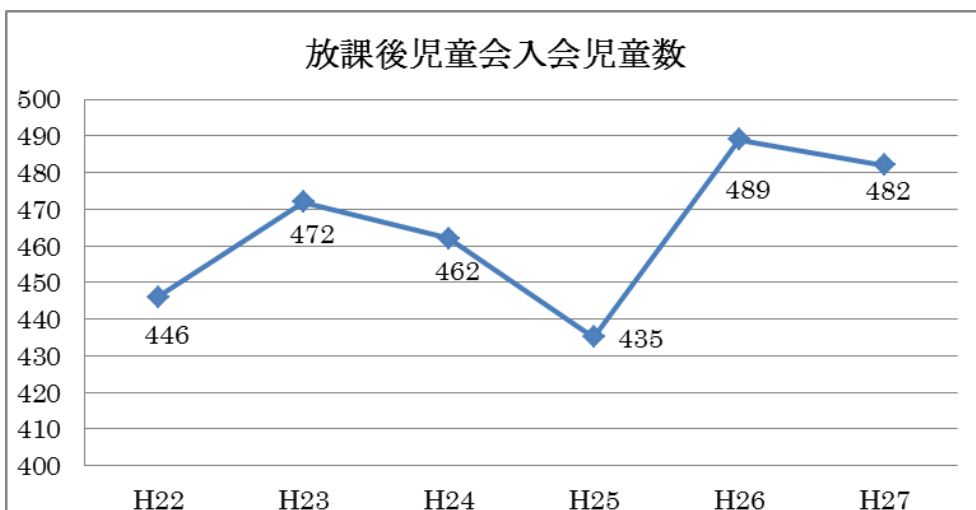
- 青少年健全育成藤井寺市民会議（ユースフル藤井寺）の取組み
  - ・青少年健全育成藤井寺市民会議（ユースフル藤井寺）は、「大人が変われば、子どもも変わる」「声かけて 明るく育てる 地域の子」をスローガンに、地域ぐるみで子ども達の健全な育成に取り組むことを目的に活動している。
  - ・7月の街頭啓発活動には、市立中学校の各生徒も参加し、大人とともに青少年の非行防止を呼び掛けた。また啓発作文では、小・中学生が、これからの自分の歩む姿に思いをはせ、自己肯定感情を育む機会となった。
  - ・青少年健全育成推進藤井寺市民大会では、構成団体の青少年健全育成活動の報告や小・中学生の優秀な啓発作文の表彰、また、講演を通して、青少年の健全育成に対する意識の向上を目指している。
  - ・当該会議は、事業部と総務部で構成され、事業部内に校区育成委員会（啓発委員会を含む）と大会委員会を置いているが、各部会、委員会の活動があまりなされておらず、意思決定機関である幹事会が意見交換、事業発案の場となっている。これにより、活発な意見交換がされにくい傾向にあったが、平成27年度より、会議開催前に事前課題を示すことで、各団体からの意見が活発に発せられるようになっている。
  
- わくわくチャレンジウォークの実施
  - ・本事業は藤井寺市を東西に分けて毎年交互に実施しており、平成27年度は東地区を中心にポイントを置き、コースを設けた。家族や仲間同士でチームとして参加し、参加者の親睦とレクリエーションの機会になった。また、市内を歩いて巡ることにより、市民の健康増進の一助にもなっている。また、市内の歴史遺産等を巡ることにより、市民が藤井寺市の良さを再認識し、郷土愛を育むことに寄与している。
  - ・事業については定着してきているが、参加者が固定化されている傾向にある。また、歴史遺産をめぐるウォーキング事業は、当該事業以外にも実施されている。目標値の達成に及ばなかったことは、こうしたことも影響しているように思われる。よって、同種のウォーキング事業については、将来を見据えて一定の整理が必要であると思われる。

成 果 指 標	平成26年度実績	平成27年度目標値	平成27年度実績
わくわくチャレンジウォーク参加	161名(49チーム)	200名(60チーム)	173名(48チーム)

施策名	33 放課後児童対策の充実
-----	---------------

総合計画における位置付け	節名称	(6) 青少年の健全育成	所管課	生涯学習課
	主要施策	2) 放課後児童の健全育成		

●放課後児童会の運営  
 ・放課後、保護者が不在となる藤井寺市立小学校各校の1年生から3年生まで（平成27年度から、道明寺東小学校の児童については6年生までに拡大）の児童を対象に放課後児童会を運営した。各小学校の空き教室や敷地内のプレハブ教室で、集団生活を通して仲間づくりや生活習慣の確立など、児童に対する健全育成のための事業を行う。



平成27年度実績

・これまでに引き続き、夏季休業中に限定した受入れを実施した。また、一昨年の9月より土曜日開設を実施している。これらの登録児童数は下の表のとおり。

夏季休業中及び土曜日開設の登録児童数

学級名（小学校名）	夏季休業中の受入 ※1	土曜日開設利用 ※2
あおぞら学級（藤井寺小学校）	14名	26名
ふじのこ学級（藤井寺南小学校）	6名	13名
すぎのこ学級（藤井寺西小学校）	9名	5名
なかよし学級（藤井寺北小学校）	10名	6名
たけのこ学級（道明寺小学校）	4名	9名
ひまわり学級（道明寺東小学校）	4名	3名
たんぼぼ学級（道明寺南小学校）	11名	10名

※1 夏季休業中に限り小学4年生までを受け入れ対象としている（道明寺東小学校に関しては小学6年生まで可）。

※2 平成28年3月31日現在の登録児童数。

- ・児童福祉法の改正により、一昨年、当該事業の設備及び運営に関する基準を定めた条例を制定し、平成27年4月1日より施行した。
- ・これに伴い、藤井寺小学校、藤井寺南小学校、道明寺南小学校内に新たに専用教室を設置した。また、これまで「教室」ごとに運営してきたが、児童40人以下で構成する「支援の単位」ごとに運営する形式にあらためた。
- ・平成28年度に実施する道明寺小学校内たけのこ学級の対象学年拡大に向けて、保護者宛に入会意向を問う調査を実施した。

・指導面での充実のため、大阪府等が主催する指導員研修に指導員を派遣した。また、今後は支援の単位ごとに「放課後児童支援員」を配置することが義務付けられていることから、当該資格を取得するための認定研修に指導員9名を参加させた。今後、平成31年度までに全ての支援の単位に放課後児童支援員の有資格者を配置する予定である。また、市による独自研修を下記のとおり実施した。

市が主催した放課後児童会指導員の研修一覧

月 日	テーマ	講師
9月4日	いじめの防止について	市教育委員会指導主事
10月2日	消火器の使用法と災害時の避難方法について	柏原羽曳野藤井寺消防組合 消防本部消防士
1月27日	保護者理解について	大阪大学大学院 小野田正利 教授
3月5日	救急救命について(青少年指導者講習会と合同開催)	柏原羽曳野藤井寺消防組合 消防本部救急救命士

●放課後子ども教室の実施

・市立小学校の児童を対象に、放課後等の児童の居場所づくりと体験活動の充実のために、地域ボランティア(コーディネーター・安全管理員)の方の協力を得て「放課後子ども教室」を実施した。この事業は、「遊び」を中心にしたプログラムと「学び」を中心にしたプログラムで構成されるが、前者は平成19年度から、後者は平成21年度からそれぞれ開始し、現在は市内7校の全てで、遊びと学びの両方もしくはいずれかのプログラムを実施している。  
・平成27年度の実績は、下の表のとおり。

学校名	開設日数	遊び	学び	年間参加児童数
藤井寺小学校	土曜日13日	実施	実施	1,340名
藤井寺南小学校	平日20日	実施	実施	1,035名
藤井寺西小学校	土曜日14日	実施	実施	382名
藤井寺北小学校	平日20日	実施	実施	1,411名
道明寺小学校	平日8日		実施	308名
道明寺東小学校	平日15日	実施	実施	499名
道明寺南小学校	平日17日	実施		208名

・事業運営のためには、ボランティアスタッフの確保が課題となることから市内の広報板や公共施設にボランティア募集のポスターを掲示した。  
・ボランティアスタッフのスキルアップのため、大阪府が主催する研修に参加できるよう旅費の公費負担を開始した。参加した研修は下記のとおり。

- 教育コミュニティづくりに係るコーディネーター研修(1回・2名)
- 地域コーディネーター養成研修(4回・1名)

平成27年度実績

点 検 及 び 評 価

●放課後児童会の運営

- ・当該事業については、児童会が入会できないと保護者の就労が果たせないといった切実なニーズがあるため、待機児童を生じさせることのないよう運営してきた。この結果、平成 17 年度以降は待機児童がない状態を維持できている。
- ・平成 27 年度以降は「設備及び運営に関する基準を定める条例」が規定する各基準を遵守しながら、待機児童のない状態を維持していく必要がある。
- ・放課後児童会整備計画で定めた対象学年の拡大を順次進めていくため、同計画に基づき整備を進めるとともに、調査研究や学校との協議を実施し、対象学年拡大の早期化等、状況に合わせた計画変更等を検討する必要がある。
- ・新しい教室を確保し、児童 40 人以下で構成する「支援の単位」ごとに運営する形式に改めたことで、1 人ひとりの児童に配慮した指導ができるようになった。
- ・大阪府等が主催する研修に指導員が参加、また、市としての独自研修を実施したことで一定の資質向上が図れ、指導員の勤務モチベーションが向上した。今後も研修機会を拡大し、指導員のスキルアップを図る必要がある。

●放課後子ども教室の実施

- ・地域のボランティアの方々の参画・協力を得て、学校や放課後児童会とも連携し、放課後の自由な遊びや学びの場を提供することができた。
- ・地域のなかでこどもの遊び場所が少なくなっている状況を考慮した場合、こども達の放課後等の居場所として、本事業は一定の役割を果たしている。
- ・ボランティアの人材不足などによって回数や対象学年を制限せざるを得ない状況がある。ボランティア参加の呼びかけは常時行っているが、これらを解消するまでには至っていない。PTAや地域教育推進協議会等に対して積極的な参加を呼びかけていく必要がある。
- ・大阪府が主催する研修の旅費を公費負担することにより、ボランティアスタッフが研修に参加しやすくなった。こうした機会を通じて、他自治体のボランティアスタッフとの交流を通じて、事業活性化のヒントが得られる効果もあると考えられるため、今後とも積極的な研修参加を呼びかける。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
放課後児童会待機児童数	0 名	0 名	0 名

## (6) 青少年の健全育成【学識経験者の意見】

- 放課後児童会は、条例に定めた各基準を満たすため、専用教室の確保等、種々努力していただいている。また、これまで、低学年児童を対象に待機児童を生じさせることのないよう運営を続けてこられたが、今後の社会情勢や児童福祉法の改正により、全学年受入が求められるなど、課題が増えると思われる。まずは、待機児童を生じさせないよう状況の維持に向けた取り組みが必要である。
- 放課後児童会の指導員の資質向上のための研修機会を充実させることは極めて重要である。指導員の資質は、児童会運営を左右する要因であるので、今後もより一層研修機会の充実に努められたい。また、放課後児童支援員認定研修に参加した指導員が学んだ成果を他の指導員と共有できるような取り組みも必要と思われるので配慮されたい。
- 放課後児童会の土曜日開設の利用児童数は少ない傾向にある。児童数が少ない状況での開設は、遊ぶ仲間が限られるため、児童自身にとっては寂しく感じられることもあるかも知れないものの、土曜日に就労等が必要な保護者からは必要な取り組みと思われる。児童が一体的に活動できる状況を確保しつつ、夏季休業中の受入も含めて、多様なニーズに応えられるような配慮が必要であると思われる。また、児童の自主的な学習を一層支援するような運営についても検討願う。
- 放課後子ども教室は、小学校ごとに運営方法は異なるものの、実施が定着してきた。児童の放課後の健全育成を考えれば、まだまだ取組みは不十分である。ボランティアの確保については、困難な側面もあると思うが、PTAや地域などに広く理解と協力を求めながら進めていくことが重要である。
- 青少年健全育成藤井寺市民会議の取組みについては、33 団体が参画して市の青少年の健全育成にかかわる課題を共有して進められていることが意義深い。特に啓発作文については、子ども自身が自己を見つめる機会となり地域の大人が子どもたちの気持ちを知る良い機会となっている。こうした機会を通じて子どもたちの自己肯定感情を育むことは大切であり、地域の大人も子どもたちのこうした感情を伸ばしていくよう接していくことが重要である。

施 策 名		3 4 文化財の普及啓発	
総合計画 における 位置付け	節 名 称	(7) 歴史が感じられるまちづくり	所 管 課 文化財保護課
	主要施策	1) 文化財情報の整備と発信	
平成 27 年度実績	<p>●主催の講演会・イベント・展示等の実施</p> <p>①世界遺産学習への講師の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産学習は、学校教育課において、市内の小学校 6 年生を対象に、わがまち藤井寺に誇りを持ち、歴史資産を大切に守ろうとする心を育むことを目的として実施されている。その一環として、当課職員が各クラス一時間ずつ、「ふじいでらの世界遺産学習ノート」を用い、古市古墳群に関する内容を中心に授業を行った。</li> <li>当課職員と藤井寺市観光ボランティアの会の会員が古墳等のガイドスタッフとして、小学校ごとにコースを設定し、子どもたちが市内を巡るフィールドワークを行った。</li> </ul> <p>②文化財発掘調査現場での現地説明会・現地公開の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発掘調査で特に重要なものが発見された場合、多くの方々に実際の発掘現場を見学していただくことを目的として現地説明会・現地公開を実施している。平成 27 年度は赤面山古墳の現地説明会及び津堂遺跡の現地公開を開催した。</li> <li>8 月 30 日、津堂 4 丁目における民間大規模開発に伴う発掘調査現場において、古墳時代から中世にかけての集落跡が見つかり、土器などの多量の遺物が出土したことを公表するため、現地公開を開催した（見学者数：80 名）。</li> <li>2 月 27 日、古室 2 丁目の赤面山古墳発掘調査現場において、赤面山古墳の調査成果を公表するため、現地説明会を開催した（見学者数：233 名）。</li> </ul> <p>③黄金の古墳の製作&lt;稲作&gt;と、小学生児童及び幼稚園児による古代の方法での稲刈り体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6 月 10 日、野中地区で農地を借用し、古市古墳群の世界文化遺産登録をめざす機運醸成の一環として、稲穂を黄金に見立て、田に植えた稲で古墳の形を表現した。作業は文化財保護課職員で行い、平成 27 年度は、仲姫命陵古墳をモデルとした。</li> <li>10 月 9 日、藤井寺南幼稚園、野中分園の園児（49 名）と藤井寺南小学校の児童（6 年生 74 名）が、当課職員、幼稚園教諭、小学校教諭の指導のもと、石包丁を使用する古代の方法で稲刈りを行った。 ※当課職員は、園児並びに児童に対して、古墳について説明を行った。また、古代における石包丁を使った稲刈りの方法や当時の人々の生活様式などについて説明を加えた。</li> </ul> <p>④市民文化財講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>9 月～1 月にかけて、「河内の歴史を語る！」と題して、アイセル シュラ ホール視聴覚室において、市民文化財講座を開催した（全 5 回、受講者数：130 名）。</li> <li>5 回開催のうち 4 回は、河内地域の歴史（「河内の弥生文化」、「河内の群集墳」、「河内の古代氏族」、「河内源氏の活躍」）について、4 名の外部講師から講義をいただいた。残りの 1 回は、当課職員が、市内の発掘調査及びその成果について発表を行った。</li> </ul> <p>⑤文化財施設見学会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>11 月 12・19 日、市民の方々に郷土の古墳から出土した遺物のすばらしさを実感していただくことを目的として、「安土城考古博物館見学バスツアー～倭五王の時代へタイムスリップ！～」と題して、滋賀県立安土城考古博物館（滋賀県近江八幡市）へのバスツアーを実施した（参加者数：50 名）。</li> <li>滋賀県立安土城考古博物館で開催された「平成 27 年度秋季特別展－倭五王海を渡る－」を見学し、郷土の歴史資産に親しんでいただいた。</li> </ul>		

## ⑥発掘速報展の開催

- ・6月22日～26日、市内で行われた発掘調査の成果を展示した「古代のお寺の鐘はどうやってつくったの？～梵鐘鑄造遺構の出土～」と題した速報展を市役所1階ロビーで開催した。平成26年度の調査で発見された国内最古級の梵鐘鑄造遺構の実物を中心に写真パネルや出土遺物を展示公開し、より多くの方々に市内の歴史資産を身近に感じていただいた（見学者数：221名）。

## ●文化財情報の発信

## ①各種資料等の貸出し

- ・市内の豊かな歴史資産を紹介する一環として、発掘調査で出土した遺物を博物館等の依頼に応じて貸出しを行った（8件）。
  - ・大阪府立近つ飛鳥博物館  
「土師の里8号墳出土 U字形鋤先」、「岡ミサンザイ古墳出土 円筒埴輪」、  
「国府遺跡出土 弥生土器」、「狼塚古墳出土 柵形埴輪、楯形土製品」
  - ・滋賀県立安土城考古博物館  
「西墓山古墳出土 鉄製品、滑石製模造品」、「野中古墳出土 滑石製模造品、  
甕（複製品）」
  - ・奈良県立橿原考古学研究所附属博物館  
「野中宮山古墳出土 人物埴輪」
  - ・九州国立博物館  
「岡古墳出土 船形埴輪」
- ・史跡や、発掘調査で出土した遺物の写真資料を出版社や博物館等の依頼に応じて貸出しを行った（37件）。  
NHK大阪放送局、大阪市消防局、株式会社小学館 等

## ②藤井寺市ホームページでの情報の掲載と更新

- ・藤井寺市の歴史資産への理解、イベントの案内等の市民への周知、歴史資産の広報啓発を目的に、藤井寺市ホームページにおいて情報を掲載し、随時更新した。
- ・藤井寺市ホームページトップページ「まちフォト」にてイベントの案内等を写真掲載した（2件）。

## ③文化財関連講演会等への講師の派遣

- ・博物館等の講演や学校・研修等の講師依頼に応じて、当課職員を講師として派遣した（5件）。  
藤井寺市観光ボランティアの会新人研修や学習会、大阪女子短期大学グリーンセミナー 等

## ④「ふじいでら歴史紀行」の連載

- ・「広報ふじいでら」に、藤井寺市に関わるものをはじめとした歴史資産について広く紹介するための記事を連載した。

## ⑤藤井寺市公式 facebook での情報の発信

- ・藤井寺市公式 facebook にてイベントの案内等の情報を発信した（4件）。

## ⑥考古資料調査対応

- ・藤井寺市で保管している考古資料の調査に対応した（6件）。

## ⑦まなリンク協議会主催イベントの協力

- ・まなリンク協議会主催の歴史文化遺産を活かした地域活性化事業「古をリンクするプロジェクト」において、道明寺天満宮（参加者28人）、津堂城山古墳（参加者50人）へ職員を派遣し、「埴輪づくり」や「勾玉づくり」等のイベントに協力した。

## ⑧テレビ番組収録協力

- ・テレビ局の番組制作において、古室山古墳、蕃所山古墳、赤面山古墳での収録に協力した。

●主催の講演会・イベント・展示等の実施

①世界遺産学習への講師の派遣

- ・歴史資産を実際に見て、その場で説明を聞くことで、児童は実感を持ってその重要性を理解することができ、歴史資産を身近なものとして受け止め、地域を大切に思う心を育むことができた。
- ・当課にとっては、藤井寺市観光ボランティアの会とともにフィールドワークを実施できたことは、今後の藤井寺市の文化財保護行政を推進していく上で大変意義のあることであった。

②文化財発掘調査現場での現地説明会・現地公開の開催

- ・津堂遺跡での現地公開においては、調査面積約 10,000 m<sup>2</sup>という広大な範囲で古墳時代から中世にかけての集落跡が見つかり、土器など多くの遺物が出土した。この成果を公表できたことは、地域の歴史の中で育まれた貴重な歴史資産を多くの人々に知らせる良い機会となった。
- ・高速道路の高架橋下に保存されている 4 世紀末から 5 世紀初めに築造された赤面山古墳での現地説明会においては、多くの見学者が訪れ、出土した円筒埴輪列や墳丘の規模が明らかになったという重要な調査成果を公表することができた。

③黄金の古墳の製作<稲作>と小学生児童及び幼稚園児による古代の方法での稲刈り体験

- ・古市古墳群の世界文化遺産登録推進に向けたユニークな広報の一つとなった。(11 月号「広報ふじいでら」表紙、藤井寺市ホームページ、藤井寺市公式 facebook)
- ・園児・児童にとっては、郷土藤井寺の歴史資産を学ぶ素地として、貴重な体験となった。
- ・後日開催された刈った稲を食する「収穫祭」では、園児・児童にとって、「食」の大切さを感じるとともに感謝を表現する場として良い機会となった。

④市民文化財講座の開催

- ・今回の文化財講座では、募集定員の上限である 130 名もの市民の申し込みがあり、また、新規の方の申し込みも非常に多く、テーマや広報手段に一定の手ごたえを得ることができた。来年度からは、参加者アンケートを募り、さらなるニーズの把握に努める。
- ・外部講師による講義の内容は、専門性に富み、かつ、非常に分かりやすい内容になっていた。参加者は、河内地域の歴史を学ぶことで、周りの地域との密接な関係を学ぶことができ、郷土の歴史をより深く理解する良い機会となった。
- ・当課職員が行った発表は、参加者からも新たな知識を得ることができてよかったとの声もあり、市内の豊かな歴史資産を多くの人々に知らせる良い機会となった。

⑤文化財施設見学会の開催

- ・今回の文化財施設見学会では、募集定員の上限である 50 名もの市民が参加され、滋賀県立安土城考古博物館で開催された「平成 27 年度秋季特別展―倭五王海を渡る―」を見学した。市民の方々に郷土の古墳である西墓山古墳から出土した遺物のすばらしさを実感していただくことができ、大変好評であった。
- ・西墓山古墳は、発掘調査によって、墳丘中央からは多量の鉄製品を納めた施設がほぼ完全な状態で確認され、東側の埋納施設からは 200 本以上の刀や剣、槍、矛が出土し、西側の埋納施設には鋤先(すきさき)、鎌、刀子(とうす)、鑿(のみ)、鋸(のこぎり)などの多量の鉄製農・工具とともに斧、鎌の滑石製模造品が納められていたことが確認されている。市民の方々にとって郷土の古墳から出土した遺物が学術的にも非常に貴重な資料であることを学べ、また、全国各地の出土遺物と比較することで、郷土の歴史資産の豊かさを実感する良い機会となった。



点 検 及 び 評 価

⑥発掘速報展の開催

・埴輪などの出土遺物は、普段は展示室の展示ケースの中などでしか見ることができないが、今回、保存処理を施した実物の梵鐘鑄造遺構を直に見る機会を提供することでき、市民の方々に大きな感動を与えたと同時に、藤井寺市の歴史や文化を身近に感じる機会になった。

●文化財情報の発信

①各種資料等の貸出し

・市内に所在する古市古墳群をはじめとする歴史資産は、全国的にもよく知られており重要なものが数多くある。このことから、遺物の実物や写真資料等の貸出し依頼が非常に多く、平成27年度においては、平成26年度より17件増の45件であった。これらの依頼に応じ、貸出しを行ったことは、藤井寺市の豊かな歴史資産を対外的に広く紹介する絶好の機会となった。

②藤井寺市ホームページでの情報の掲載と更新

・市内の歴史資産を対外的に紹介する一助となるとともに、教育委員会主催の講演会・イベント・展示等の実施を広く周知するために大きな役割を果たした。  
・トップページ内「まちフォト」を活用してイベントの案内等を写真掲載したことで、歴史や歴史資産に興味を持たれている方々だけではなく、より多くの方にイベント等を広報することができた。

③文化財関連講演会等への講師の派遣

・依頼に応じ、講師を派遣することは、藤井寺市の豊かな歴史資産を参加者に紹介する良い機会となった。

④「ふじいでら歴史紀行」の連載

・歴史資産についてわかりやすく書かれていると好評であった。市民の方々にとって、歴史資産の多様性を理解する良い機会となった。

⑤藤井寺市公式 facebook での情報の発信

・新たなツールを活用することで、より幅広い層に向けて情報を発信することができた。

⑥考古資料調査対応

・藤井寺市で保管している考古資料には、学術的に重要な資料が数多くあり、研究者がその資料について調査する事が多い。研究者の資料閲覧希望に対応することによって、研究者の論文や調査報告等により、藤井寺市の考古資料を対外的に広く紹介する機会となる。

⑦まなリンク協議会主催イベントの協力

・参加した市民の方々に、古墳や寺社仏閣という藤井寺市が誇る歴史資産をより身近に感じてもらうことができ、「埴輪づくり」や「勾玉づくり」等のイベントを通して、楽しんでもらいながら歴史資産のすばらしさを伝えることができた。

⑧テレビ番組収録協力

・テレビ番組というマスメディアによって、古墳に興味のある方や地域の方々という従来のターゲット以外に向けたより広い広報が可能となった。また、外国人が自身の好きな古墳を紹介するという番組内容は、古墳をより身近な存在として世間一般に知ってもらい良い機会となった。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
市民文化財講座の受講者数	110 名	120 名	130 名 (上限)

施 策 名	35 埋蔵文化財の調査・保全の推進
-------	-------------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(7) 歴史が感じられるまちづくり	所 管 課	文化財保護課
	主要施策	2) 文化財保護の充実		

平成 27 年度実績	<p>●埋蔵文化財の調査</p> <p>①発掘調査（外業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度中に実施した発掘調査件数は 54 件（試掘・確認調査を含む）であった。内容は、個人住宅の建築や宅地造成など民間開発に伴う発掘調査のほか、公共事業として、葛井寺遺跡において、市立藤井寺中学校施設整備工事に伴う発掘調査を実施したほか、林遺跡において、市立道明寺小学校改築工事に伴う発掘調査、市立道明寺こども園施設整備工事に伴う発掘調査を実施した。また、鉢塚古墳や赤面山古墳では、国史跡指定などに向けて範囲確認調査を実施した。</li> </ul> <p>②整理作業（内業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出土した遺物に、洗浄、整理（接合、図面作成等）等を実施した。</li> <li>保存処理では、国府遺跡から出土した埴輪円筒棺に樹脂含浸処理を施し、保存処理を行った。</li> </ul>
------------	--

点 検 及 び 評 価	<p>●埋蔵文化財の調査</p> <p>①発掘調査（外業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間開発に伴う発掘調査では、公益財団法人大阪府文化財センターと共同で津堂遺跡の発掘調査を実施し、4 世紀後半に遡る水路跡や 5 世紀代の大型の建物跡、平安時代から鎌倉時代の集落跡を検出した。特に水路跡や大型の建物跡は、はっきりとしない古市古墳群の造営初期の実態を探る貴重な成果である。</li> <li>市立道明寺小学校改築工事に伴う林遺跡発掘調査では、土師器の羽釜を棺にした奈良時代の墓を発見した。当時の埋葬事例の一端がわかる重要な成果を得た。</li> <li>赤面山古墳の範囲確認調査では、葺石、円筒埴輪列などが検出され、築造時期や墳丘の規模が明らかになり、近接する古室山古墳や大鳥塚古墳をはじめ、古市古墳群を理解する上で、貴重な成果を得た。</li> </ul> <p>②整理作業（内業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出土遺物の洗浄、整理（接合、図面作成等）を行うことで遺物及び調査記録を適切に保存管理することができた。</li> <li>今年度、保存処理を施した大型の埴輪円筒棺は、樹脂含浸処理を施し、瞬間接着剤及び補填材で接合及び復元を行った。このことにより、埴輪円筒棺の自重による接合箇所への剥脱が軽減され、埴輪の表面の強化をすることができた。</li> </ul> <p>今後とも、埋蔵文化財に対する市民の理解をより深めるために、貴重な資料を積極的に公開していく。</p>
-------------	--

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
市内の指定文化財の件数	43 件	44 件	44 件

施 策 名	3 6 文化財用地・施設の適正管理
-------	-------------------

総合計画 における 位置付け	節 名 称	(7) 歴史が感じられるまちづくり	所 管 課	文化財保護課
	主要施策	3) 史跡等の環境整備		
平成 27 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 史跡等文化財用地の管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な歴史資産として、史跡等文化財用地の景観を良好に保ち、市民にとって安全で快適な環境を保持するため、下記の業務を実施し、適切な管理に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財用地除草・清掃</li> <li>文化財用地落葉清掃</li> <li>大鳥塚古墳近隣雨樋清掃</li> <li>城山古墳・鉢塚古墳樹木薬剤散布</li> <li>鍋塚古墳植栽補植</li> <li>古室山古墳・鉢塚古墳樹木伐採</li> <li>古室山古墳梅木剪定</li> <li>史跡国府遺跡花壇等管理</li> </ul> </li> <li>・文化財用地管理のための重作業員賃金を予算化し、史跡等の保全を図った。</li> </ul> </li> <li>● 史跡城山古墳ガイダンス施設の管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・城山古墳見学の拠点などとして多くの方に利用されている。平成 27 年度の利用者数は、14,897 名であった。</li> <li>・施設の管理は業務委託し、見学者の案内や除草・清掃等、施設内外の整備を良好に保つように努めた。(水曜日～日曜日、お手洗いは全日 10 時～17 時)</li> </ul> </li> <li>● 国史跡の追加指定・公有化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度は、平成 28 年 3 月 1 日付けで松川塚古墳 (590.3 m<sup>2</sup>) が国指定史跡となった。</li> <li>・新たに公有化した用地はなかったが、既公有化部分 (城山古墳・唐櫃山古墳) で、国庫補助事業を得て先行取得償還を行った。</li> </ul> </li> <li>● 城山古墳の整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・城山古墳の南西部水路改修・遊歩道設置工事及び、墳丘整備工事を国補助金の交付を受け実施した。水路改修・遊歩道設置工事は水路上部に蓋を施し、遊歩道を設置した (150m)。墳丘整備工事は、くびれ部南側の墳丘及び平坦地に盛土を施した後、野芝を張った。</li> </ul> </li> </ul>			

点 検 及 び 評 価

- 史跡等文化財用地の管理
  - ・ いずれの業務も適切に実施され、史跡等の文化財用地を歴史資産にふさわしい良好な環境に保ち、管理することができた。
  - ・ 重作業員による維持管理業務により、迅速かつよりきめ細かに文化財用地を管理することができ、従来必要であった樹木伐採等の経費を削減できた。
- 史跡城山古墳ガイダンス施設の管理
  - ・ 管理人が常駐することで、見学者への適切な対応ができ、好評である。
  - ・ 展示室にはパネルと埴輪等の実物、敷地内には明治末年に見つかった竪穴式石槨の天井石を展示しており、見学者に城山古墳の重要性を伝えることができた。
  - ・ 城山古墳見学の際に、多くの方に利用されているが、平成 26 年度よりやや減少傾向にある。よって、新たな来訪者を確保するために、平成 27 年度には、それまで開館当時の状況であったパネルの改修を行い、新しい情報を発信するなど、市民や来訪者に配慮した。なお、老朽化した施設の改善を検討し、実施する必要がある。
- 史跡の追加指定・公有化
  - ・ 史跡古市古墳群の追加指定により、貴重な歴史資産である古墳のうち未指定古墳を保全することができた。今後も史跡古市古墳群及び史跡国府遺跡の公有化を進め、さらなる保全を図る。
- 城山古墳の整備
  - ・ 老朽化していた水路を改修し上部に遊歩道を設置したことによって、外周から城山古墳を望める新しいスポットとなった。また墳丘部は長年の風雨などによって盛土が流出していたが、土盛りの後野芝を張ることで、墳丘を保護することができた。平坦地については張芝を実施することによって、市民や来訪者に憩いの場を提供できた。

成 果 指 標	平成 26 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 27 年度実績
史跡の指定面積	137, 333. 18 m <sup>2</sup>	137, 923. 48 m <sup>2</sup>	136, 852. 96 m <sup>2</sup>

## (7) 歴史が感じられるまちづくり【学識経験者の意見】

- 藤井寺市内には様々な埋蔵文化財が包蔵されているが、重要な箇所が発掘調査や新たな知見を得た発掘調査については現地説明会や現地公開する必要がある。平成27年度は赤面山古墳、津堂遺跡で重要な遺構遺物が発見され、市民の方を中心に公開する機会を持てた。今後も、このような機会により市民の文化財に関する認識を深め、文化財の保護に対する意識が高まることを期待する。
- 「黄金の古墳」の制作<稲作>と小学生児童及び幼稚園児による古代の方法での稲刈りなど、子どもたちが古代の生活を体験する機会が得られ、歴史への興味が広がったと思われる。一部の幼稚園と小学校での実施であったが、今後もこのような取組みをさらに広げていくことを期待する。
- 発掘調査で発見された貴重な遺物は、適切な状態で保存管理する必要がある。今年度、大型の埴輪円筒棺に樹脂含浸処理を施し、埴輪の表面の強化ができたことは、埋蔵文化財を恒久的に保存管理するという観点から必要なことであったと思われる。今後、これらの埋蔵文化財を市民の方に、作業過程も含め積極的に公開していくことを願う。
- 平成27年度は、史跡古市古墳群において未指定の古墳1基が追加指定となった。今後も未指定地を国史跡に追加指定すること、及び史跡の公有化により貴重な歴史資産が適切に保全されることが望まれる。
- 城山古墳の整備事業は、古墳の保全という観点と、市民や来訪者に憩いの場を提供できたという観点から一つの望ましい整備、保全のあり方と思われる。今後も古墳の整備事業を計画的に継続されることを期待する。  
また、保全にあたっては、市民の文化財に対する理解と愛着感を育むためにも、市民協働の考え方を取り入れることを検討されたい。

## 4. 学識経験者の総括意見

平成 27 年度の施策を対象とした教育委員会の点検・評価に関する報告書を第三者の視点で検討した。その結果、藤井寺市教育委員会の諸活動は、誠実に処理され、藤井寺市の教育行政に大きく寄与されている。

さて、藤井寺市においても、平成 27 年 4 月 1 日の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正を受けて総合教育会議が開催され、その中で、教育大綱について協議が行われた。そして、市の第五次藤井寺市総合計画の策定に合わせて、平成 28 年 5 月には教育大綱が策定されるとともに、教育委員会においても、総合計画と整合する内容で藤井寺市教育振興基本計画を策定されている。これにより、今年度からは藤井寺市教育振興基本計画に基づく形で点検評価していくこととなり、第四次藤井寺市総合計画に基づき、教育委員会で実施した各施策を分類し、評価点検しているこの報告書が、来年度からは、よりわかりやすい形で教育委員会の施策を評価することができることとなった。

戦後、教育委員会制度は、首長から独立した合議制の執行機関として、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、教育行政に多様な民意を反映する仕組みとして大きな役割を果たしてきたが、一方で、閉鎖的体質、危機管理能力の低さなどの問題が指摘されることもあった。そうした問題点を是正する方策の一つとして、教育委員会の施策について、点検・評価に関する報告書という形で自ら振り返り、その結果を公にするという制度が設けられた。また、平成 27 年 4 月 1 日の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、首長がこれまで以上に前面に出て、教育に対する責任を果たすという形になり、これまで以上に教育委員会と市長の連携が必要となったものである。点検評価を通して教育施策を振り返り、施策の改善に努めるとともに、総合教育会議などの場で、市長と藤井寺市の教育の充実について活発な議論を重ねながら、今後も様々な施策を展開し、魅力ある教育行政を押し進めて行かれることを切に願う。